

西郷村
子ども・子育て支援施策に関する
アンケート調査報告書（概要版）

令和6年3月

目 次

1. 調査概要.....	1
(1)調査の目的	1
(2)実施要領.....	1
(3)回答状況.....	1
(4)備考	1
2. 子育て家庭・保護者調査.....	2
(1)子ども・家族の状況	2
(2)保護者の就労状況や職場の両立支援など	6
(3)家計・生活状況に関する事.....	10
(4)家庭でのこと・子どものこと.....	14
(5)就学前児童の定期的な教育・保育の利用	22
(6)不定期な教育・保育の利用(就学前児童保護者).....	24
(7)地域子ども・子育て支援事業の利用(就学前児童保護者).....	25
(8)病気の際の対応	25
(9)放課後の過ごし方(小学生保護者).....	27
(10)家庭生活・保護者の状況等	30
(11)子育て支援施策・子育て環境.....	38
3. 子ども生活状況調査.....	46
(1)子どもの状況	46
(2)将来のこと・夢.....	47
(3)ふだんの生活	50
(4)学校生活や勉強のこと.....	55
(5)自分の思いや悩み.....	60

1. 調査概要

(1)調査の目的

本調査は、子ども・子育て支援法に基づく子ども・子育て支援事業のニーズを把握するとともに、「第1期西郷村こども計画（令和7～11年度）」の策定を進めるにあたり、西郷村の子どもたちの状況や子育て家庭の実態・要望などを把握し、子ども・子育て支援策を検討するための基礎調査として実施した。本報告書は調査結果の概要版である。

(2)実施要領

基準日：令和6年2月1日

対象者：児童・生徒の保護者（就学前児童、小学生、中学生、高校1・2年生）

子ども本人（小学4・5・6年生、中学1・2年生、高校1・2年生）

調査方法：直接配布の小・中学生は授業中に原則Web入力。欠席者のみ紙配布。小・中学生の子ども本人と保護者数が異なるのは、村内学校に通学しているが住所が村外の場合、そして兄弟で重複を除いたため。

調査期間：令和6年2月28日～3月15日

(3)回答状況

	対象数	回答数	回答率
就学前児童保護者	600 件	258 件	43.0%
小学生保護者	559 件	250 件	44.7%
中学生保護者	232 件	108 件	46.6%
高校生保護者	250 件	76 件	30.4%
小学生本人	562 件	510 件	90.7%
中学生本人	259 件	221 件	85.3%
高校生本人	250 件	73 件	29.2%

(4)備考

1. 集計結果の合計値は、小数点2位以下四捨五入により100%とならないことがある。
2. 調査票の設問及び回答選択肢は省略している場合がある。

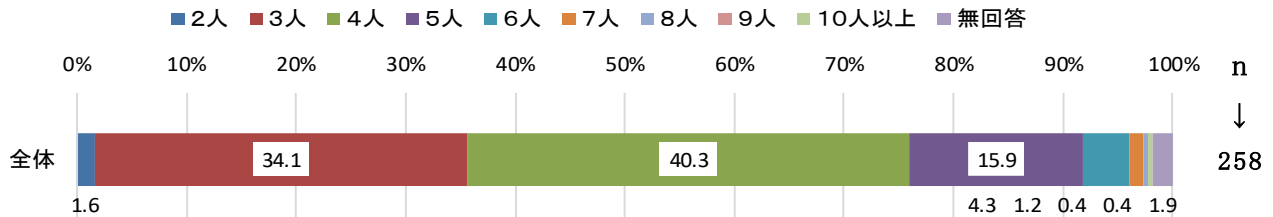
2. 子育て家庭・保護者調査

(1) 子ども・家族の状況

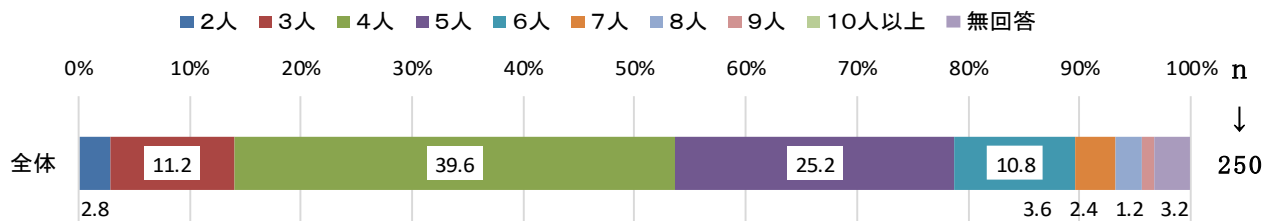
問 お子さんと同居し、生計を同一にしているご家族の構成と人数をお答えください。単身赴任中の方や学業のために世帯を離れているお子さんがいらっしゃる場合には、家族の人数に含めてください。

【世帯人数】

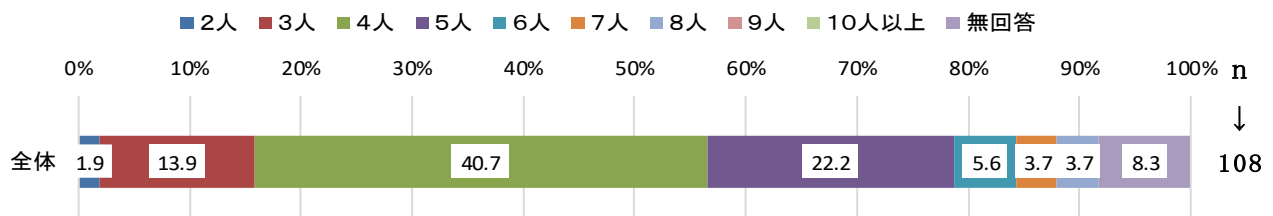
○就学前児童保護者：「4人」が40.3%と最も多く、「3人」が34.1%、「5人」が15.9%となっている。



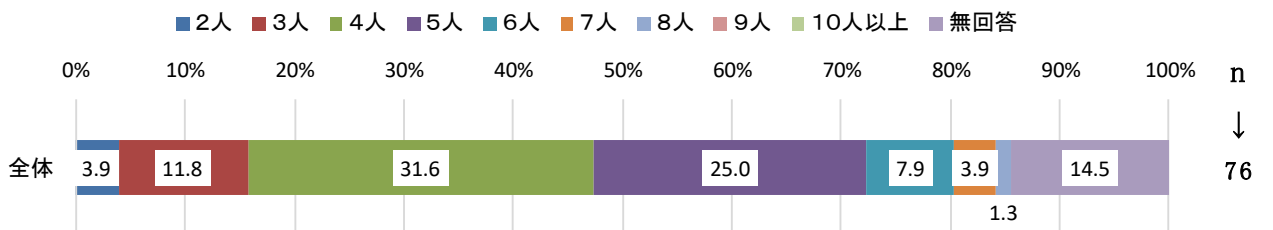
○小学生保護者：「4人」が39.6%と最も多く、「5人」が25.2%、「3人」が11.2%となっている。



○中学生保護者：「4人」が40.7%と最も多く、「5人」が22.2%、「3人」が13.9%となっている。



○高校生保護者：「4人」が31.6%と最も多く、「5人」が25.0%、「3人」が11.8%となっている。



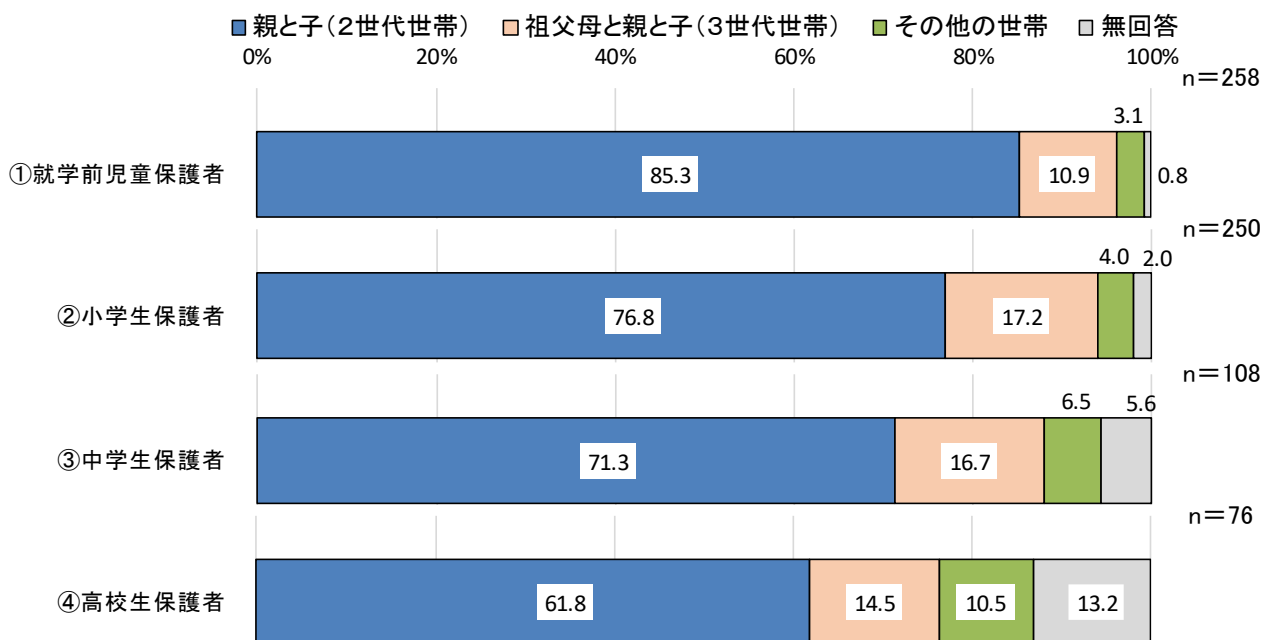
【世態構成】

○就学前児童保護者：「親と子（2世代世帯）」が 85.3%、「祖父母と親と子（3世代世帯）」が 10.9%となっている。

○小学生保護者：「親と子（2世代世帯）」が 76.8%、「祖父母と親と子（3世代世帯）」が 17.2%となっている。

○中学生保護者：「親と子（2世代世帯）」が 71.3%、「祖父母と親と子（3世代世帯）」が 16.7%となっている。

○高校生保護者：「親と子（2世代世帯）」が 61.8%、「祖父母と親と子（3世代世帯）」が 14.5%となっている。



問 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。

○就学前児童保護者：「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 62.0%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 32.6%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 6.2%となっている。「いずれもない」は 12.8%である。

	件数	%
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	160	62.0
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	84	32.6
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	16	6.2
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	2	0.8
いずれもない	33	12.8
無回答	4	1.6

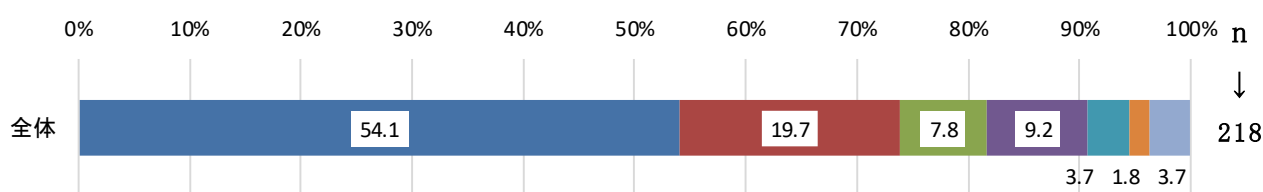
○小学生保護者：「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が 54.0%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が 34.0%、「緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」が 10.8%となっている。

	件数	%
緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	135	54.0
日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	85	34.0
緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	27	10.8
日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	5	2.0
いずれもない	44	17.6
無回答	2	0.8

問 前問で「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」を選んだ方にうかがいます。親族にみてもらえる状況をどのように考えていますか。

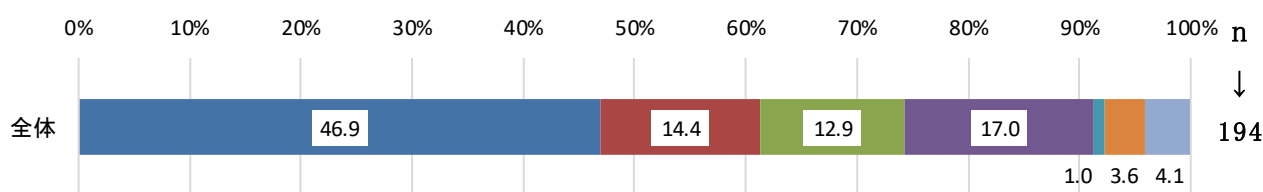
○就学前児童保護者：「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 54.1%と最も多く、次いで「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が 19.7%、「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 9.2%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 7.8%となっている。

- 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
- 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- その他
- 無回答



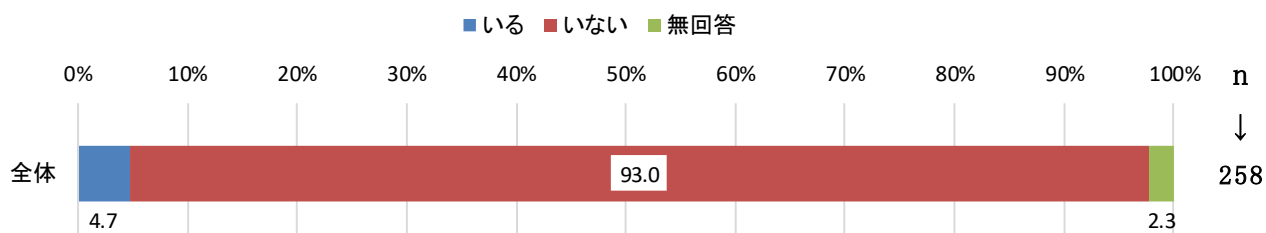
○小学生保護者：「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が 46.9%と最も多く、次いで「自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が 17.0%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」が 14.4%、「祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である」が 12.9%となっている。

- 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる
- 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
- 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
- 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
- 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある
- その他
- 無回答

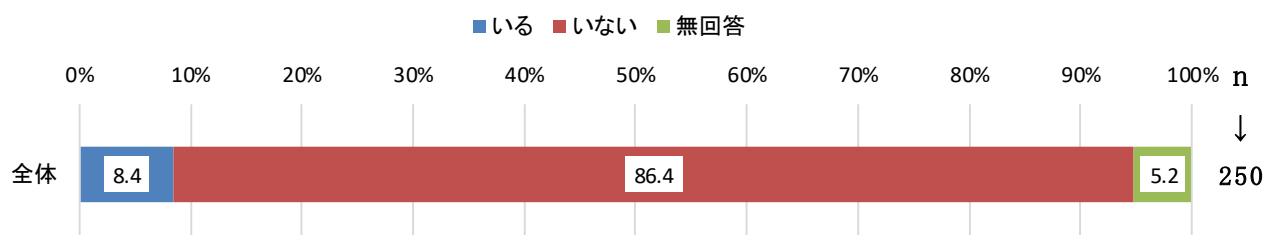


問 お子さんと同居しているご家族の中に、高齢であったり障がいがあったりするなど、介護が必要な方はいますか。

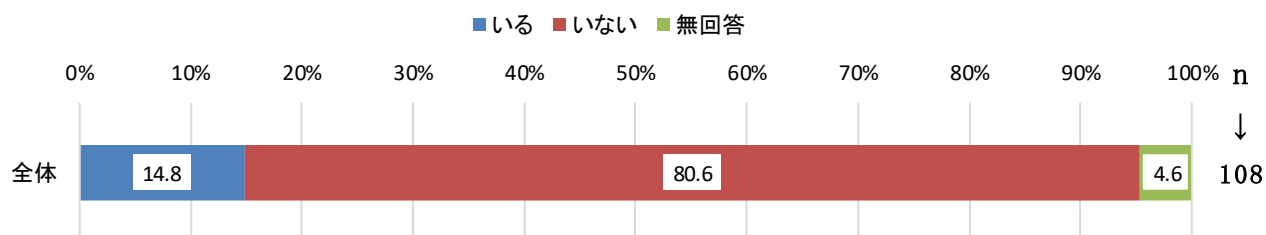
○就学前児童保護者：「いない」が93.0%となっている。



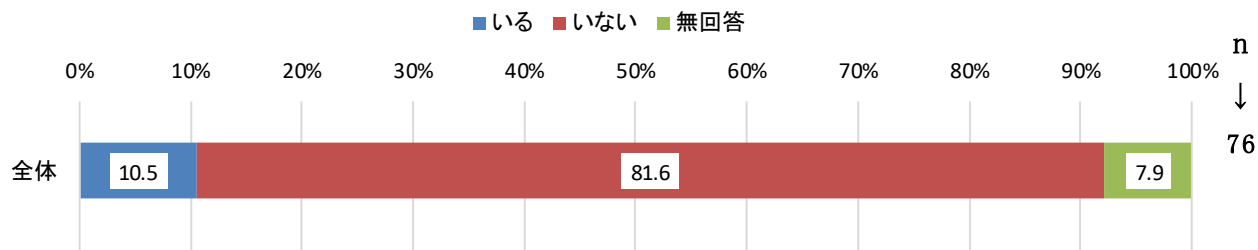
○小学生保護者：「いない」が86.4%となっている。



○中学生保護者：「いない」が80.6%となっている。



○高校生保護者：「いない」が81.6%となっている。

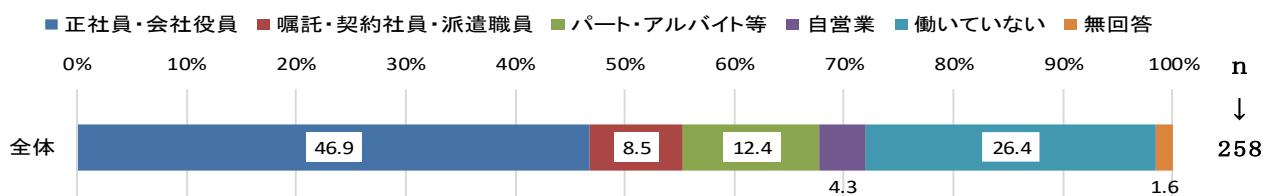


(2)保護者の就労状況や職場の両立支援など

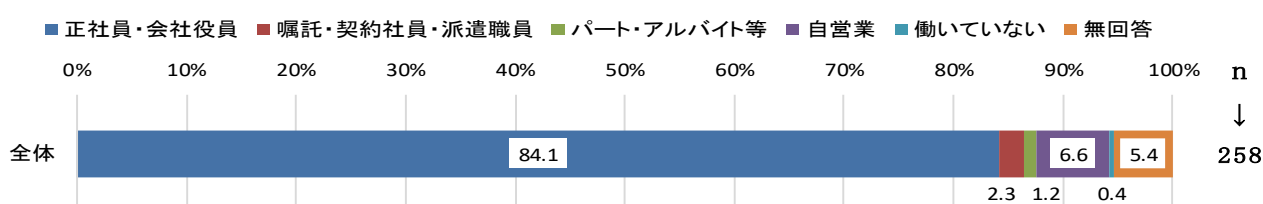
問 お子さんの保護者の方の就労状況について、あてはまるものを回答してください。

【就学前児童保護者】

○母親は「正社員・会社役員」が46.9%と最も多く、「働いていない」が26.4%、「パート・アルバイト等」が12.4%と続く。

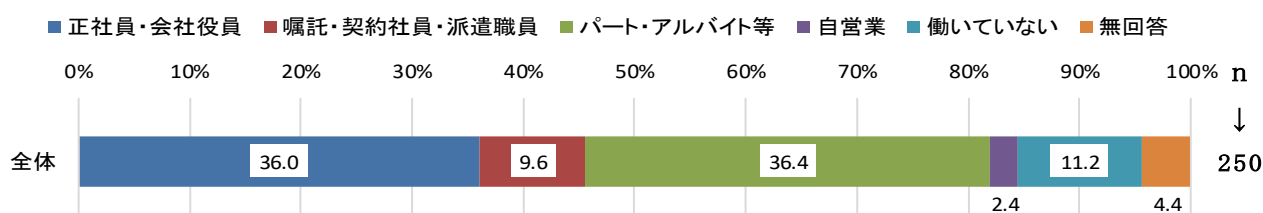


○父親は「正社員・会社役員」が84.1%と最も多く、「自営業」が6.6%、「嘱託・契約社員・派遣職員」が2.3%と続く。

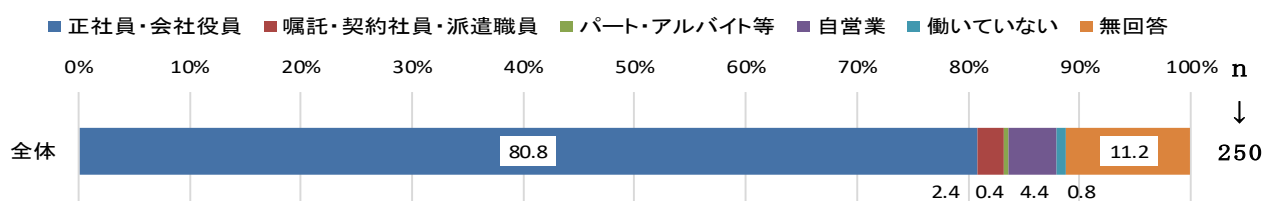


【小学生保護者】

○母親は「パート・アルバイト等」が36.4%と最も多く、「正社員・会社役員」が36.0%となっている。

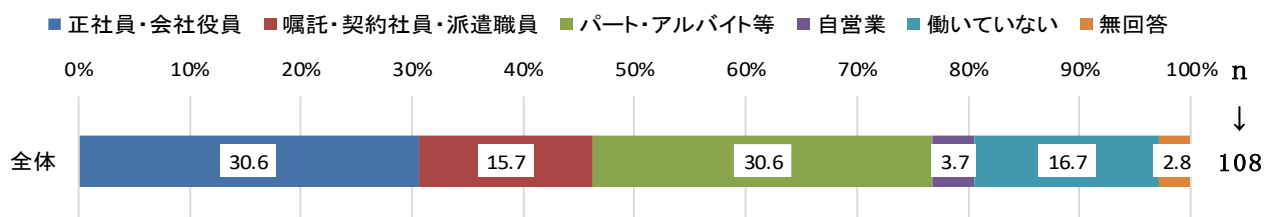


○父親は「正社員・会社役員」が80.8%と最も多く、「自営業」が4.4%、「嘱託・契約社員・派遣職員」が2.4%と続く。

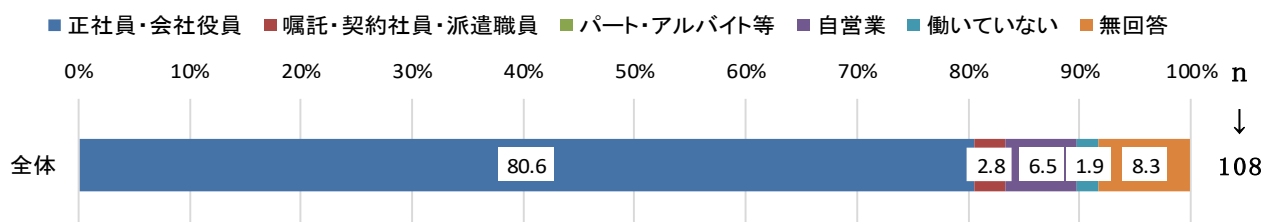


【中学生保護者】

○母親は「正社員・会社役員」と「パート・アルバイト等」がともに 30.6%と最も多く、「働いていない」が 16.7%となっている。

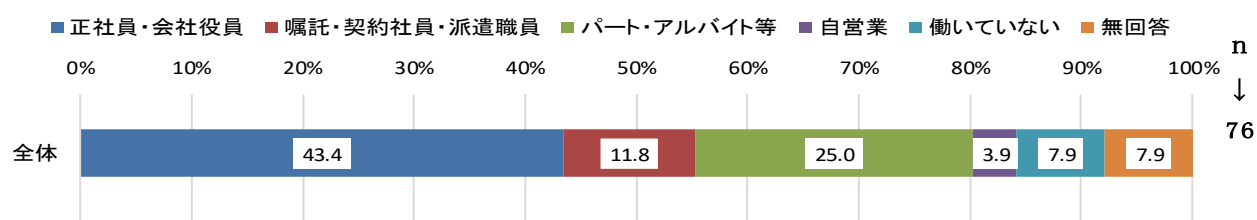


○父親は「正社員・会社役員」が 80.6%と最も多く、「自営業」が 6.5%、「嘱託・契約社員・派遣職員」が 2.8%と続く。

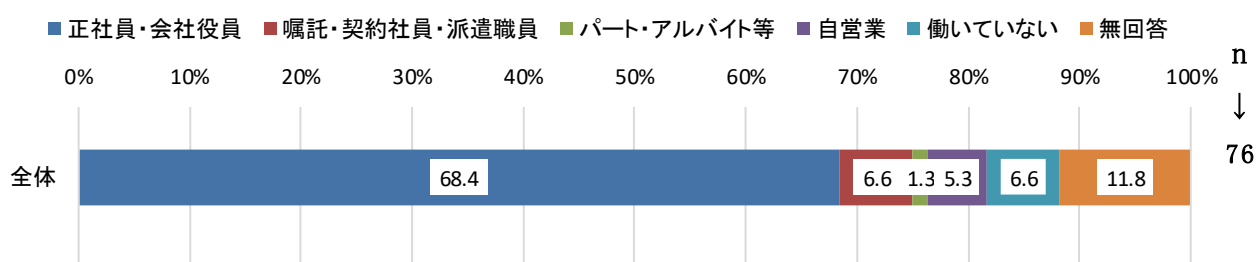


【高校生保護者】

○母親は「正社員・会社役員」が 43.4%と最も多く、「パート・アルバイト等」が 25.0%となっている。



○父親は「正社員・会社役員」が 68.4%と最も多く、「嘱託・契約社員・派遣職員」と「働いていない」がともに 6.6%となっている。



問（前問で「働いていない」を選んだ方）働いていない主な理由を教えてください。

○就学前児童保護者：母親は「子育てを優先したいため」が61.8%、「その他の理由」が22.1%、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が10.3%となっている。父親は「自分の病気や障害のため」が100%である。

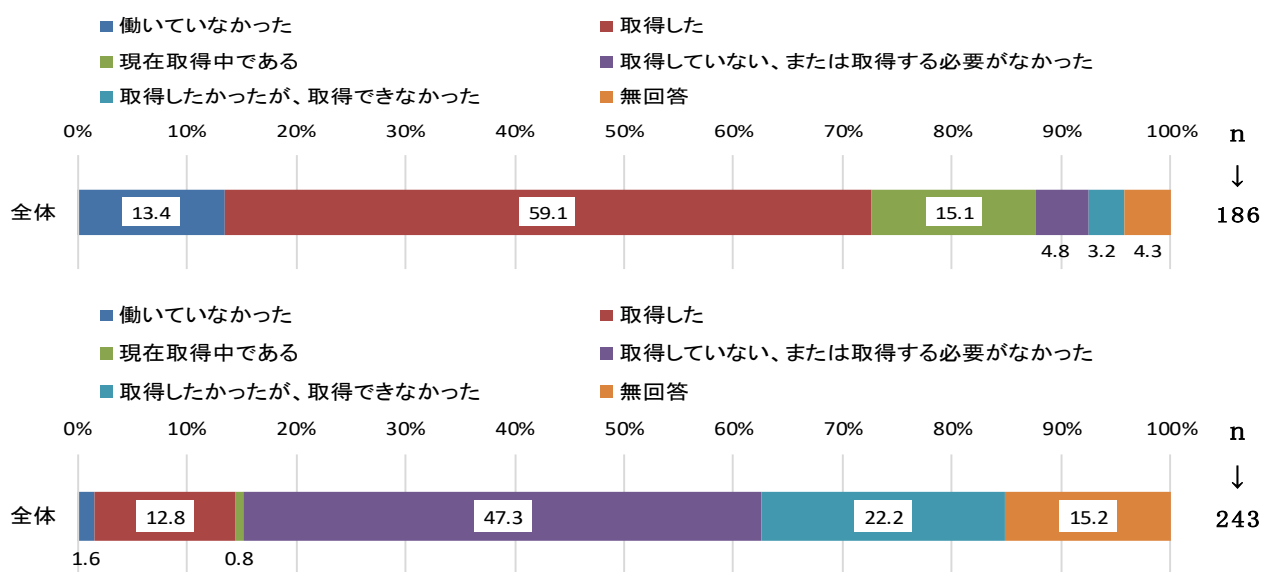
○小学生保護者：母親は「子育てを優先したいため」が46.4%、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が32.1%、「自分の病気や障害のため」が17.9%となっている。父親は、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」と「その他」が多い。

○中学生保護者：母親は「子育てを優先したいため」が44.4%、「自分の病気や障害のため」が22.2%、「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」が16.7%となっている。父親は「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」と「自分の病気や障害のため」が多い。

○高校生保護者：母親は「自分の病気や障害のため」と「その他の理由」がいずれも33.3%、「子育てを優先したいため」と「家族の介護・介助のため」がともに16.7%となっている。父親は「働きたいが、希望する条件の仕事がないため」と「自分の病気や障害のため」が多い。

問（「正社員・会社役員」「嘱託・契約社員・派遣職員」「パート・アルバイト・日雇い・非常勤職員」「自営業」を選んだ方）③宛名のお子さんが生まれたとき、育児休業を取得しましたか。

○就学前児童保護者：母親は「取得した」が59.1%で最も多く、「現在取得中である」が15.1%、「働いていなかった」が13.4%と続く。父親は「取得していない、または取得する必要がなかった」が47.3%と最も多く、「取得したかったが、取得できなかった」が22.2%と続く。



○小学生保護者：母親は「働いていなかった」が47.4%と最も多く、「取得した」が36.5%と続く。父親は「取得していない、または取得する必要がなかった」が70.5%と最も多く、「取得したかったが、取得できなかった」が12.7%と続く。

問 仕事と子育ての両立を図るため、どのような制度や支援策を企業などに取り組んでほしいと思いますか。

○就学前児童保護者：「子どもが病気やけがの時などに安心して看護のための休暇がとれる制度」が75.6%と最も多くなっている。また「子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めていくこと」が62.4%、「妊娠中や育児期間中の勤務軽減」が60.1%と続く。

	件数	%
子どもが病気やけがの時などに安心して看護のための休暇がとれる制度	195	75.6
子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めていくこと	161	62.4
妊娠中や育児期間中の勤務軽減	155	60.1
女性の就労継続に対する企業の理解や支援	128	49.6
男性も育児休業制度が利用できるなど、子育てに男性も参加できる環境づくり	122	47.3
育児休業制度や再雇用制度の普及促進と、それを円滑に利用できる環境づくり	106	41.1
勤務先に保育施設を設置する	68	26.4
その他	21	8.1
無回答	8	3.1

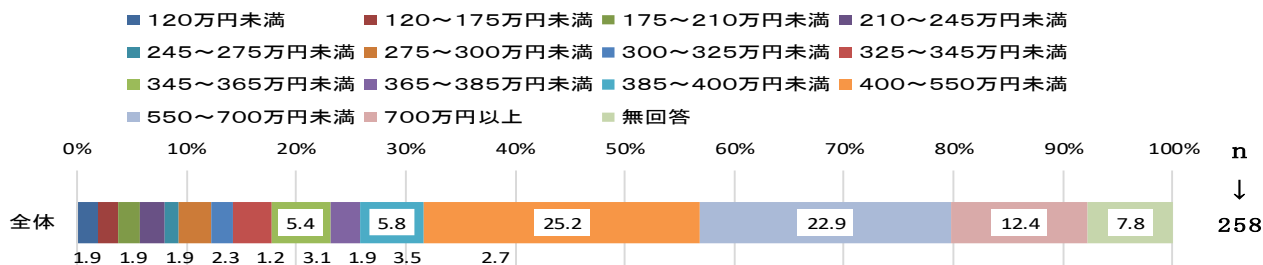
○小学生保護者：「子どもが病気やけがの時などに安心して看護のための休暇がとれる制度」が78.8%と最も多く、次いで「子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めていくこと」が64.8%、「女性の就労継続に対する企業の理解や支援」が56.4%である。

	件数	%
子どもが病気やけがの時などに安心して看護のための休暇がとれる制度	197	78.8
子育てと仕事の両立に向け、職場内の理解を深めていくこと	162	64.8
女性の就労継続に対する企業の理解や支援	141	56.4
妊娠中や育児期間中の勤務軽減	116	46.4
育児休業制度や再雇用制度の普及促進と、それを円滑に利用できる環境づくり	101	40.4
男性も育児休業制度が利用できるなど、子育てに男性も参加できる環境づくり	98	39.2
勤務先に保育施設を設置する	42	16.8
その他	13	5.2
無回答	7	2.8

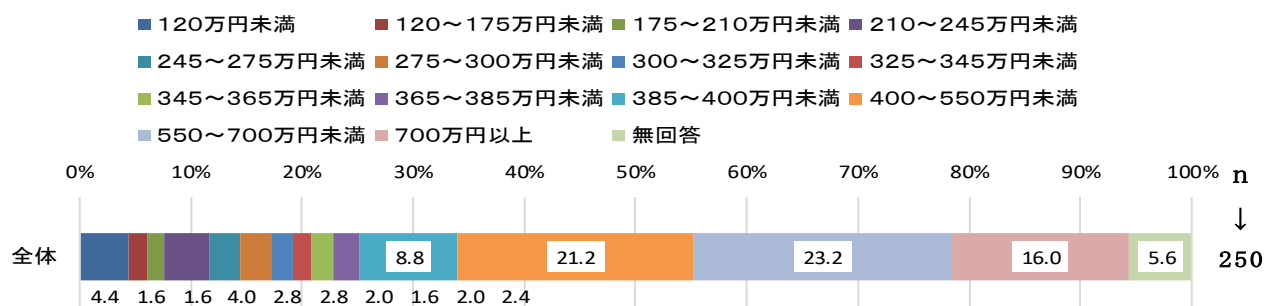
(3)家計・生活状況に関すること

問 令和5年(2023年1月～12月)のあなたの世帯全体の可処分所得(手取り)総額は、合計でおよそいくらですか。

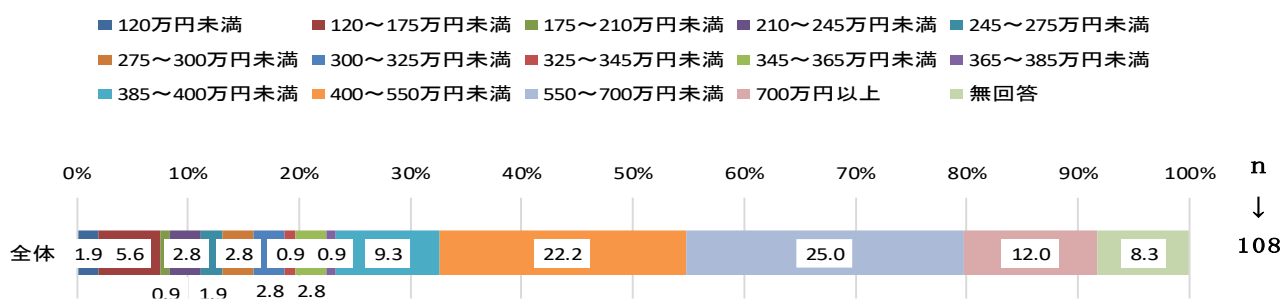
○就学前児童保護者：「400～550万円未満」が25.2%と最も多く、次いで「550～700万円未満」が22.9%、「700万円以上」が12.4%である。



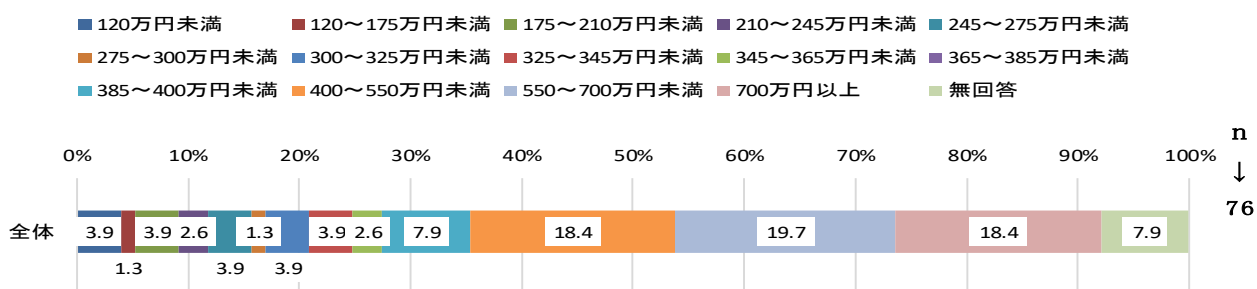
○小学生保護者：「550～700万円未満」が23.2%と最も多く、次いで「400～550万円未満」が21.2%、「700万円以上」が16.0%である。



○中学生保護者：「550～700万円未満」が25.0%と最も多く、次いで「400～550万円未満」が22.2%、「700万円以上」が12.0%である。

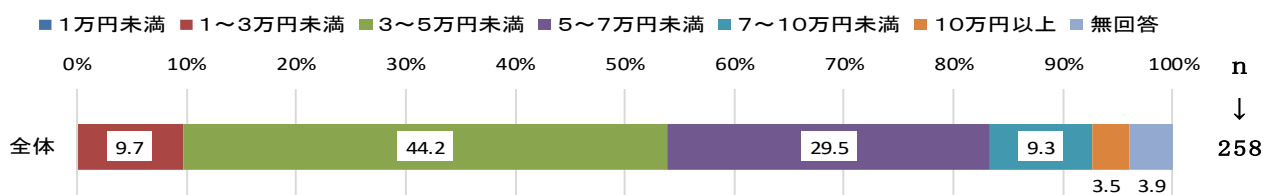


○高校生保護者：「550～700万円未満」が19.7%と最も多く、次いで「400～550万円未満」と「700万円以上」がともに18.4%である。

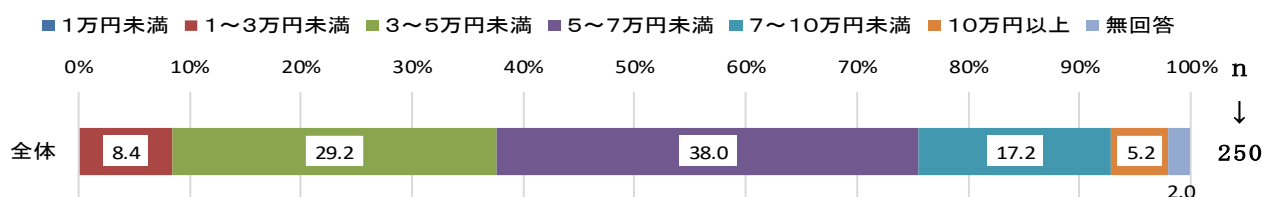


問 1ヶ月の食費(ここ半年の平均)についてお答えください。

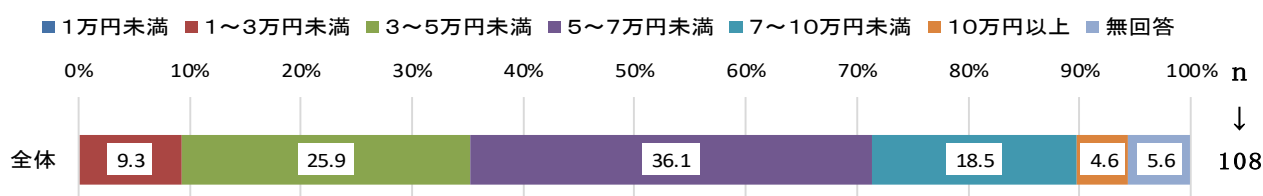
○就学前児童保護者：「3～5万円未満」が44.2%と最も多く、次いで「5～7万円未満」が29.5%、「1～3万円未満」が9.7%となっている。



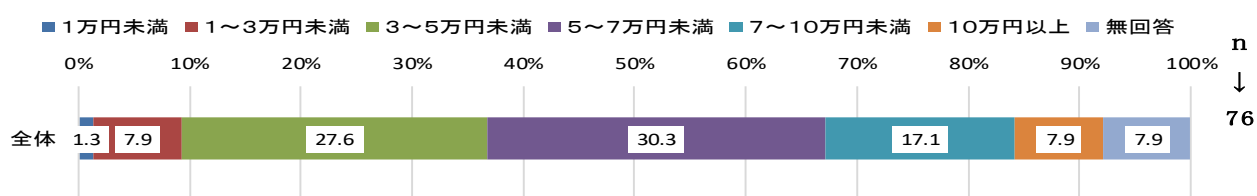
○小学生保護者：「5～7万円未満」が38.0%と最も多く、次いで「3～5万円未満」が29.2%、「7～10万円未満」が17.2%となっている。



○中学生保護者：「5～7万円未満」が36.1%と最も多く、次いで「3～5万円未満」が25.9%、「7～10万円未満」が18.5%となっている。



○高校生保護者「5～7万円未満」が30.3%と最も多く、次いで「3～5万円未満」が27.6%、「7～10万円未満」が17.1%となっている。



問 あなたの世帯では、過去1年の間に、経済的な理由で次のような経験をしたことがありますか。

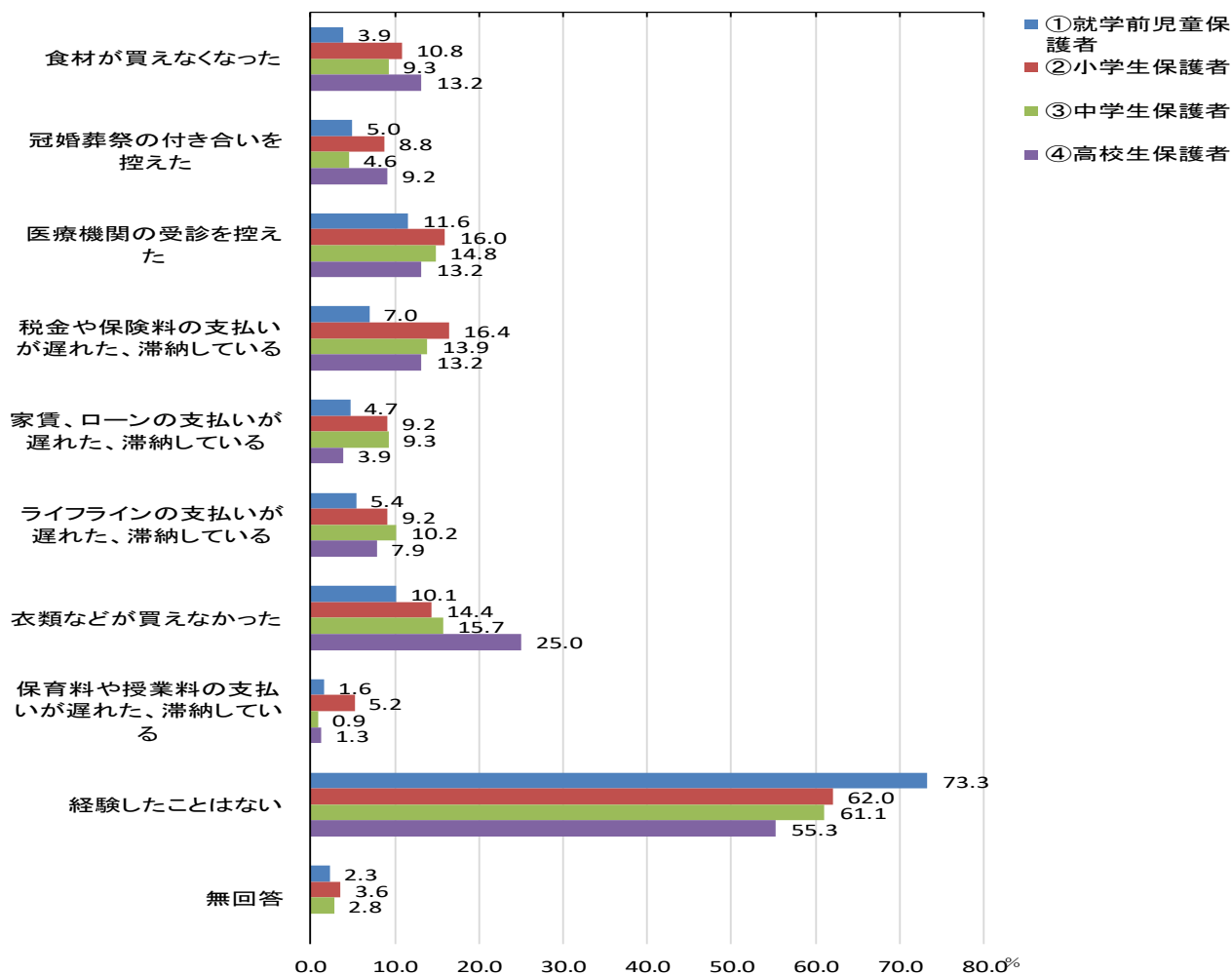
○就学前児童保護者：「経験したことはない」が73.3%と最も多く、次いで「医療機関の受診を控えた」が11.6%、「衣料などが買えなかった」が10.1%となっている。

○小学生保護者：「経験したことはない」が62.0%と最も多く、次いで「税金や保険料の支払いが遅れた、滞納している」が16.4%、「医療機関の受診を控えた」が16.0%となっている。

○中学生保護者：「経験したことはない」が61.1%と最も多く、次いで「衣料などが買えなかった」が15.7%、「医療機関の受診を控えた」が14.8%となっている。

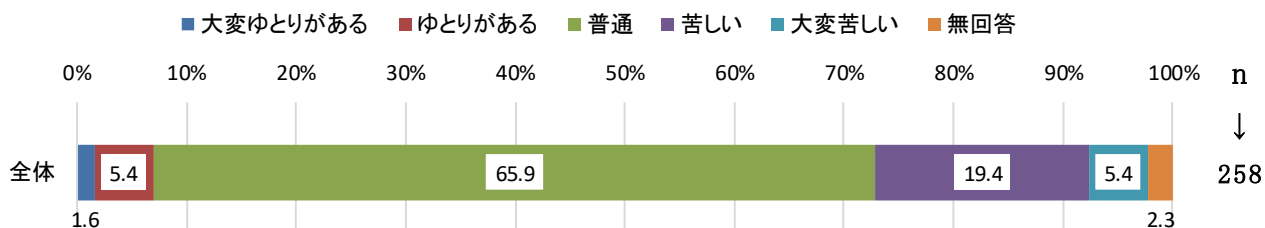
○高校生保護者：「経験したことはない」が55.3%と最も多く、次いで「衣料などが買えなかった」が25.0%、「食材が買えなくなった」「医療機関の受診を控えた」「税金や保険料の支払いが遅れた、滞納している」がいずれも13.2%となっている。

■ 経済的理由

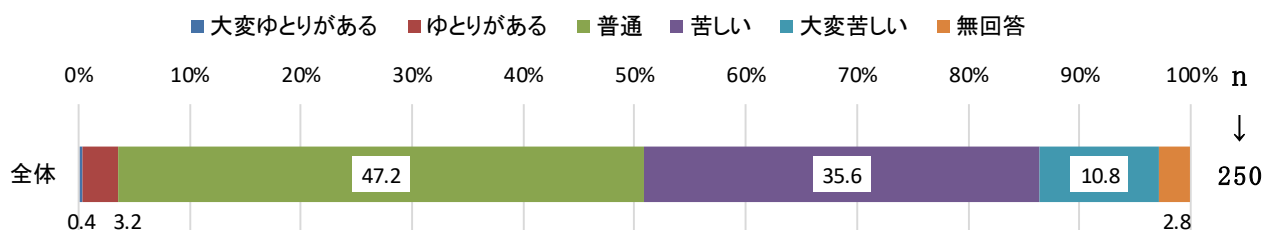


問 あなたは、現在の暮らしの状況をどのように感じていますか。

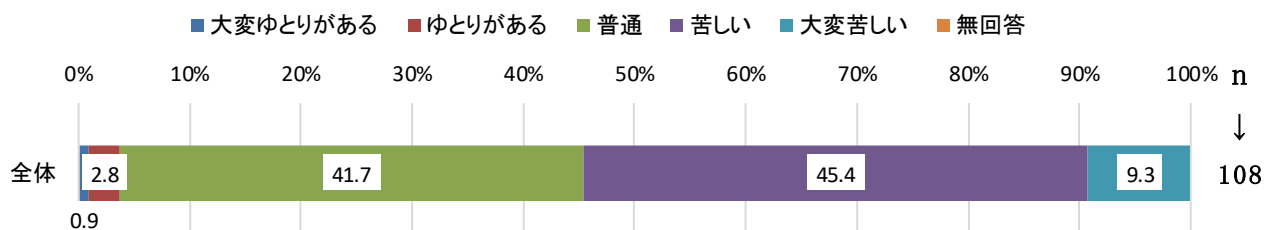
○就学前児童保護者：「普通」が65.9%と最も多く、次いで「苦しい」が19.4%、「ゆとりがある」と「大変苦しい」がともに5.4%となっている。



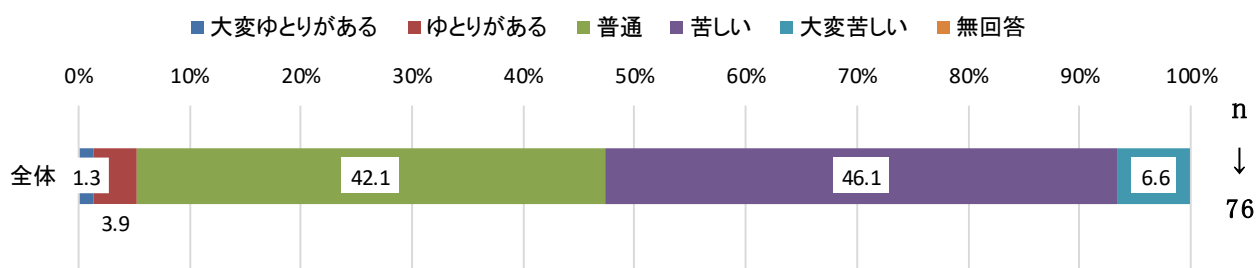
○小学生保護者：「普通」が47.2%と最も多く、次いで「苦しい」が35.6%、「大変苦しい」が10.8%となっている。



○中学生保護者：「苦しい」が45.4%、次いで「普通」が41.7%、「大変苦しい」が9.3%となっている。



○高校生保護者：「苦しい」が46.1%、次いで「普通」が42.1%、「大変苦しい」が6.6%となっている。

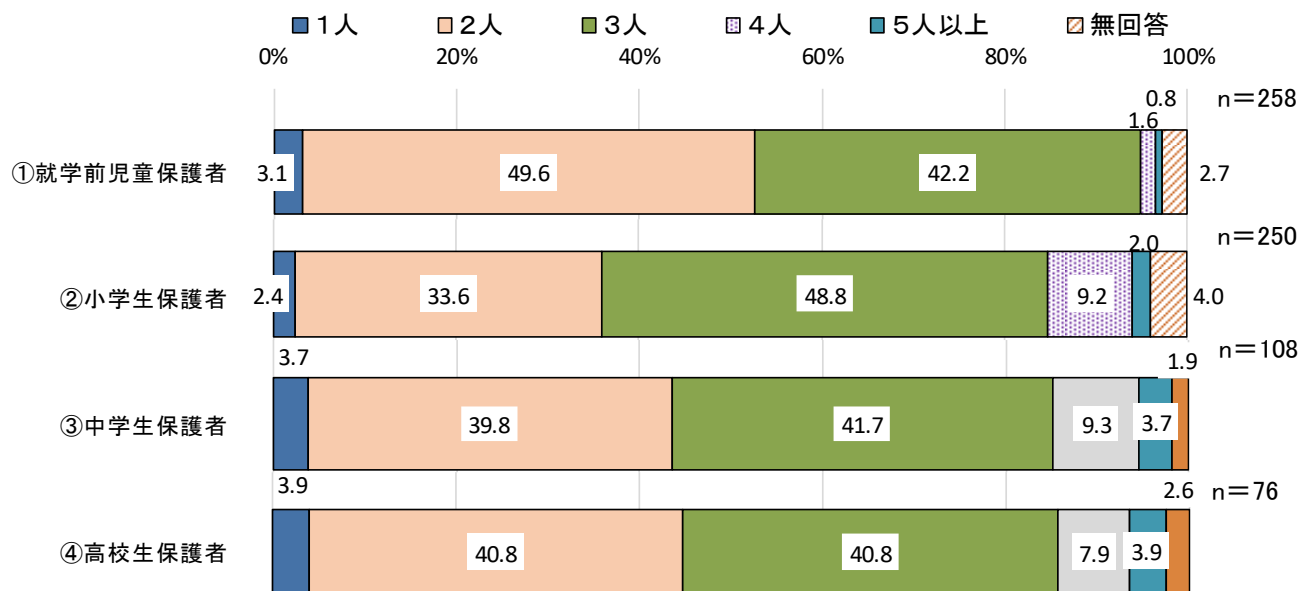


(4)家庭でのこと・子どものこと

問 あなたが思う理想の子どもの人数と実際の子どもの人数を記入してください。

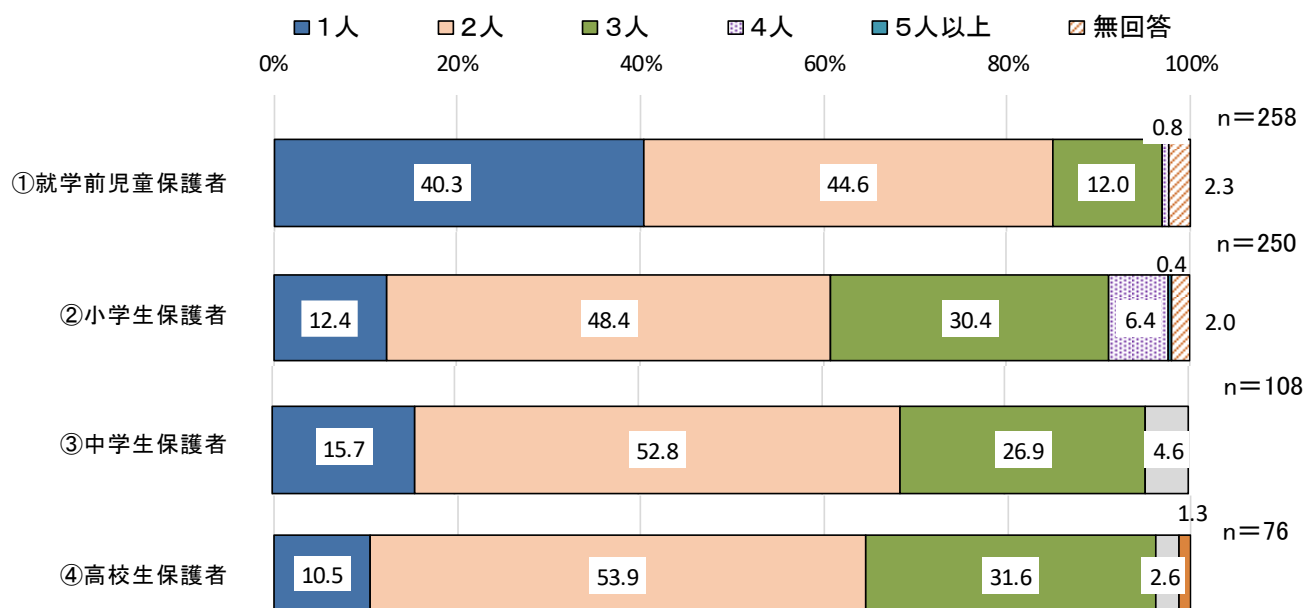
(a) 理想

- 就学前児童保護者：「2人」が49.6%と最も多く、「3人」が42.2%となっている。
- 小学生保護者：「3人」が48.8%と最も多く、「2人」が33.6%となっている。
- 中学生保護者：「3人」が41.7%と最も多く、「2人」が39.8%となっている。
- 高校生保護者：「2人」と「3人」がともに40.8%と最も多くなっている。



(b) 実際

- 就学前児童保護者：「2人」が44.6%と最も多く、「1人」が40.3%となっている。
- 小学生保護者：「2人」が48.4%と最も多く、「3人」が30.4%となっている。
- 中学生保護者：「2人」が52.8%と最も多く、「3人」が26.9%となっている。
- 高校生保護者：「2人」が53.9%と最も多く、「3人」が31.6%となっている。



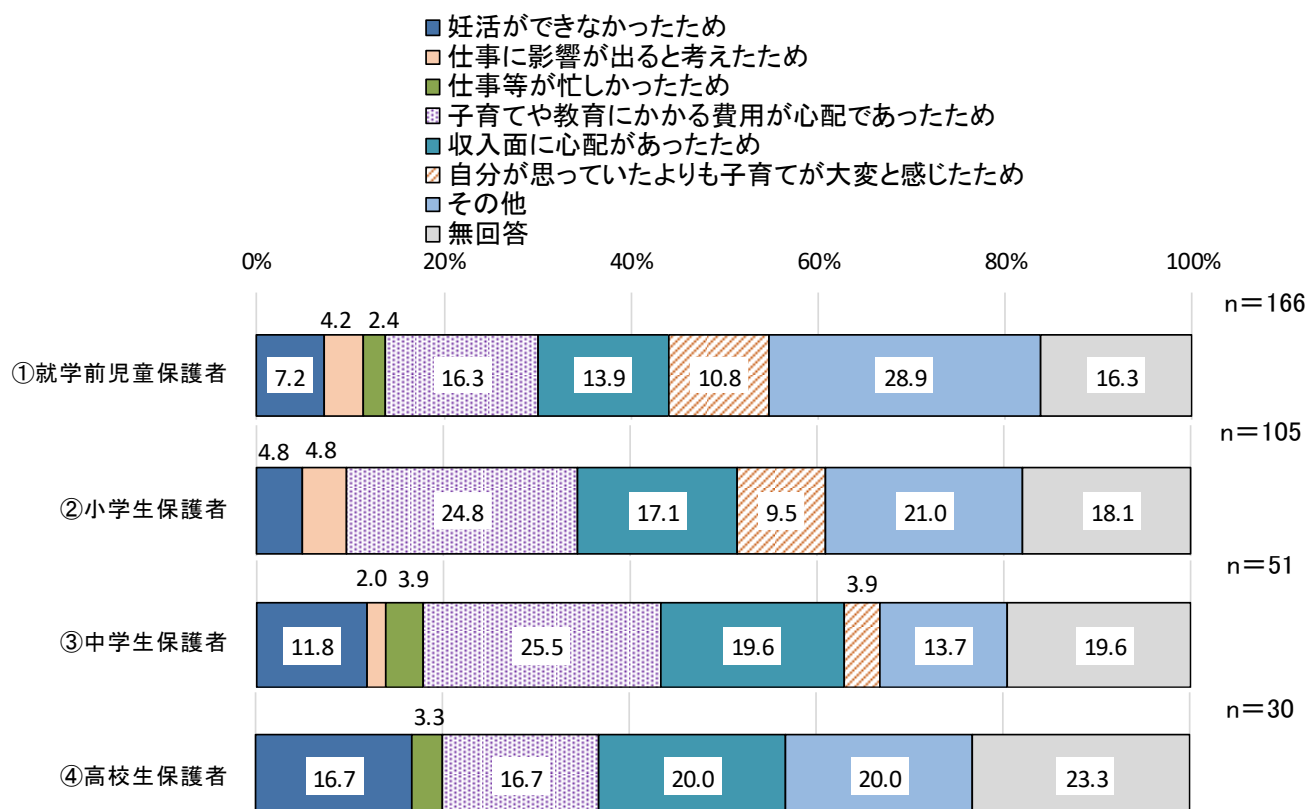
問 前問で実際の子どもの人数が理想の子どもの人数に満たない方にお伺いします。理由はどのようなことですか。

○就学前児童保護者：「その他」が29.1%と最も多く、次いで「子育てや教育にかかる費用が心配であったため」が16.4%、「収入面に心配があったため」が13.9%となっている。

○小学生保護者：「子育てや教育にかかる費用が心配であったため」が24.5%と最も多く、次いで「その他」が20.8%、「収入面に心配があったため」が17.0%となっている。

○中学生保護者：「子育てや教育にかかる費用が心配であったため」が27.7%と最も多く、次いで「収入面に心配があったため」が21.3%、「その他」が14.9%となっている。

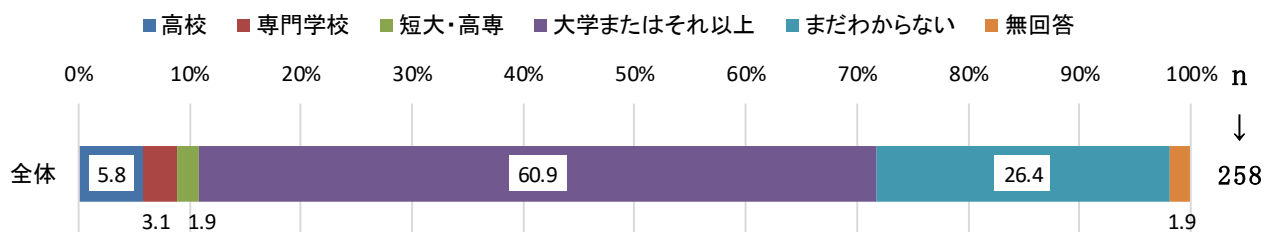
○高校生保護者：「収入面に心配があったため」と「その他」がともに20.0%と最も多く、次いで「妊活ができなかったため」と「子育てや教育にかかる費用が心配であったため」がそれぞれ16.7%と続く。



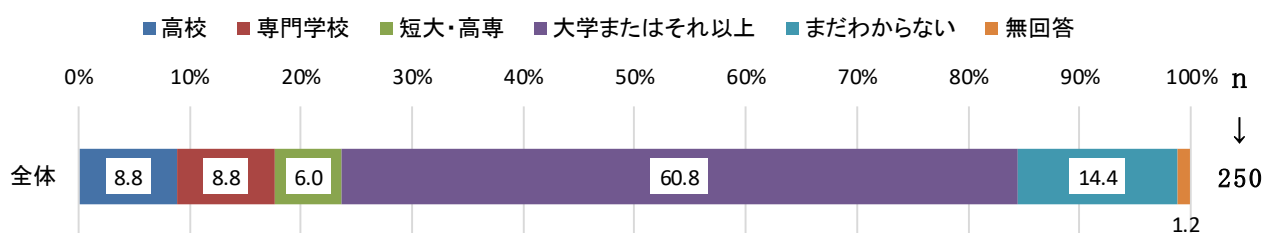
問 お子さんに、どの程度までの教育を受けさせたいと考えていますか。あなたのお考えに最も近いものを選んでください。

①理想

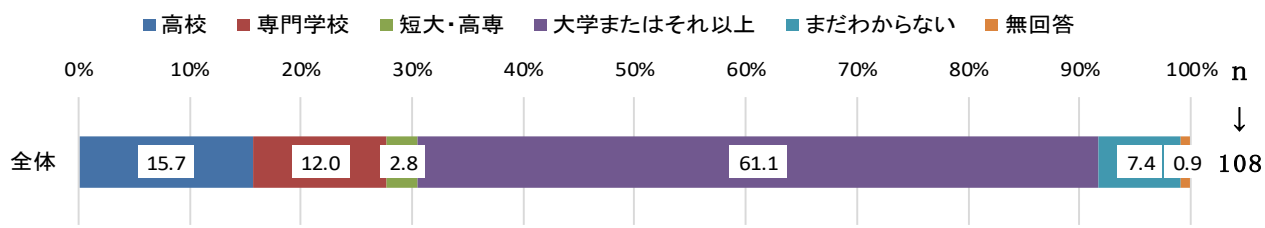
○就学前児童保護者：「大学またはそれ以上」が 60.9%と最も多く、「まだわからない」が 26.4%である。



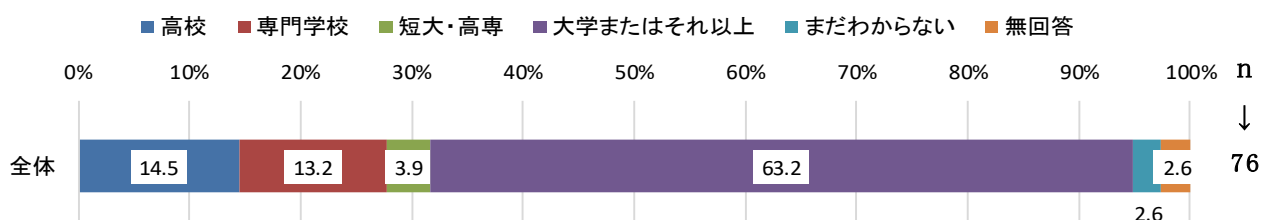
○小学生保護者「大学またはそれ以上」が 60.8%と最も多く、「まだわからない」が 14.4%である。



○中学生保護者：「大学またはそれ以上」が 61.1%と最も多く、「高校」が 15.7%、「専門学校」が 12.0%となっている。

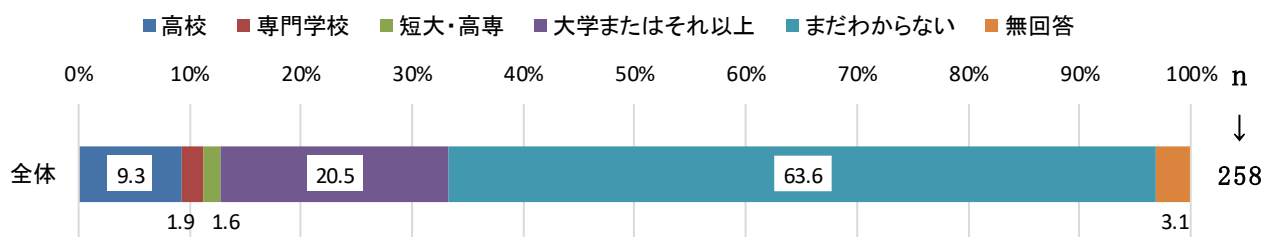


○高校生保護者「大学またはそれ以上」が 63.2%と最も多く、「高校」が 14.5%、「専門学校」が 13.2%となっている。

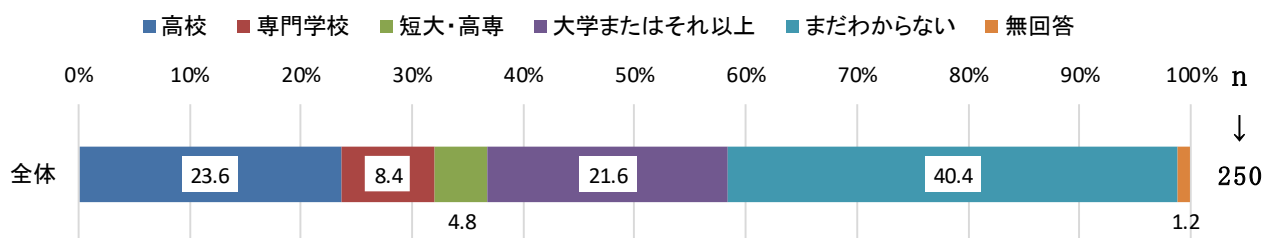


②現実

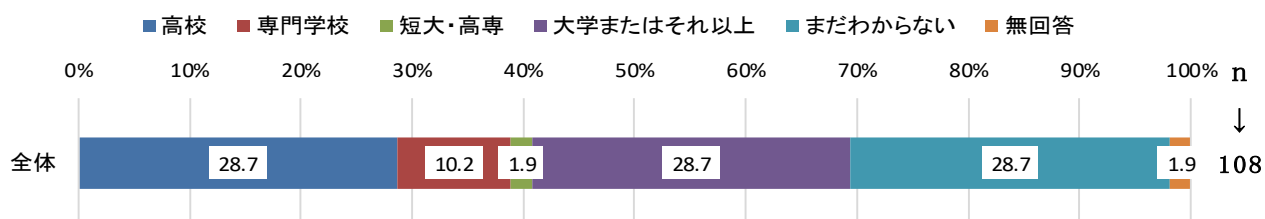
○就学前児童保護者：「まだわからない」が 63.6%と最も多く、「大学またはそれ以上」が 20.5%である。



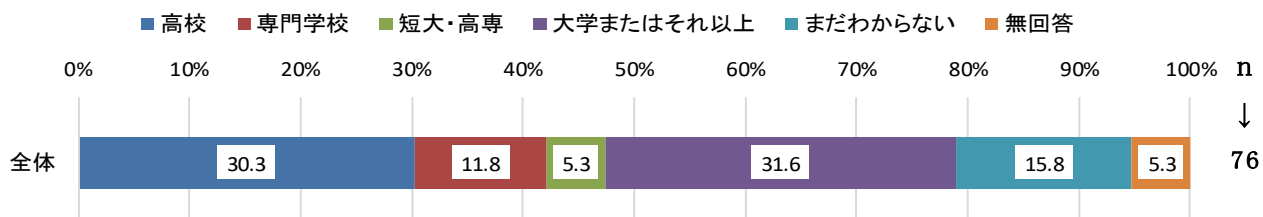
○小学生保護者：「まだわからない」が 40.4%と最も多く、「高校」が 23.6%、「大学またはそれ以上」が 21.6%である。



○中学生保護者「高校」「大学またはそれ以上」「まだわからない」がいずれも 28.7%となっている。



○高校生保護者「大学またはそれ以上」が 31.6%、「高校」が 30.3%と多く、「まだわからない」が 15.8%となっている。



問 教育にかかる費用で、負担が大きいと感じるものはありますか。

○就学前児童保護者：「制服、かばんなど園指定用品」が41.5%と最も多く、次いで「習い事の費用」が40.3%、「保育料」が38.4%となっている。

	件数	%
制服、かばんなど園指定用品	107	41.5
習い事の費用	104	40.3
保育料	99	38.4
園以外の教育費	54	20.9
給食費	31	12.0
遠足費	8	3.1
その他	10	3.9
あてはまるものがない	49	19.0
無回答	9	3.5

○小学生保護者：「習い事の費用」が47.2%と多く、次いで「学校以外の教育費」が44.0%、「学用品費」が42.8%となっている。

	件数	%
習い事の費用	118	47.2
学校以外の教育費	110	44.0
学用品費	107	42.8
修学旅行費	75	30.0
授業料	67	26.8
給食費	28	11.2
クラブ活動費	28	11.2
その他	12	4.8
あてはまるものがない	27	10.8
無回答	6	2.4

○中学生保護者：「学校以外の教育費」が46.3%と多く、次いで「修学旅行費」が41.7%、「授業料」が31.5%となっている。

	件数	%
学校以外の教育費	50	46.3
修学旅行費	45	41.7
授業料	34	31.5
学用品費	33	30.6
習い事の費用	33	30.6
クラブ活動費	20	18.5
給食費	14	13.0
その他	3	2.8
あてはまるものがない	11	10.2
無回答	2	1.9

○高校生保護者：「修学旅行費」が43.4%と最も多く、次いで「授業料」が34.2%、「学用品費」が32.9%となっている。

	件数	%
修学旅行費	33	43.4
授業料	26	34.2
学用品費	25	32.9
学校以外の教育費	22	28.9
クラブ活動費	13	17.1
習い事の費用	11	14.5
給食費	1	1.3
その他	7	9.2
あてはまるものがない	9	11.8
無回答	3	3.9

問 将来お子さんを進学させるために、心配なことは何ですか。

○就学前児童保護者：「金銭的負担」が80.2%と最も多く、次いで「進学先の選択」が31.8%、「学力」が30.2%である。

	件数	%
金銭的負担	207	80.2
進学先の選択	82	31.8
学力	78	30.2
その他	5	1.9
特にない	12	4.7
無回答	7	2.7

○小学生保護者：「金銭的負担」が86.8%と最も多く、次いで「学力」が47.6%、「進学先の選択」が37.6%である。

	件数	%
金銭的負担	217	86.8
学力	119	47.6
進学先の選択	94	37.6
その他	2	0.8
特にない	5	2.0
無回答	2	0.8

○中学生保護者：「金銭的負担」が85.2%と最も多く、次いで「学力」が46.3%、「進学先の選択」が38.0%である。

	件数	%
金銭的負担	92	85.2
学力	50	46.3
進学先の選択	41	38.0
その他	3	2.8
特にない	2	1.9
無回答	1	0.9

○高校生保護者：「金銭的負担」が78.9%と最も多く、次いで「進学先の選択」が38.2%、「学力」が35.5%である。

	件数	%
金銭的負担	60	78.9
進学先の選択	29	38.2
学力	27	35.5
その他	2	2.6
特にない	4	5.3
無回答	3	3.9

問 子育てをする上で、あなたが大変と感じていること、悩んでいることを選んでください。

○就学前児童保護者：「子どもの健康管理・食生活」が51.2%と最も多く、次いで「仕事と子育ての両立」が45.7%、「子どもと過ごす時間の確保」が35.3%となっている。

	件数	%
子どもの健康管理・食生活	132	51.2
仕事と子育ての両立	118	45.7
子どもと過ごす時間の確保	91	35.3
教育費の確保	86	33.3
子どものしつけが難しいこと	80	31.0
生活費の確保	72	27.9
子どもの発達	69	26.7
生活習慣や勉強を教えること	57	22.1
子どもの友人関係	52	20.2
学習習慣の定着・学力の向上	50	19.4
子どもの学習意欲の維持・向上	49	19.0
自分がほっとする時間がない	48	18.6
子どもの将来の就職	39	15.1
子どもの受験・進学	33	12.8
一人で子育てをしている孤立感	22	8.5
修学旅行・部活の遠征費等の確保	15	5.8
職場の理解が少ない	11	4.3
配偶者の無関心・非協力	9	3.5
相談相手・相談先がない	6	2.3
地域の理解が少ない	3	1.2
その他	9	3.5
特になし	14	5.4
無回答	6	2.3

○小学生保護者：「子どもの受験・進学」が49.6%と最も多く、次いで「教育費の確保」が45.2%、「生活費の確保」が42.8%となっている。

	件数	%
子どもの受験・進学	124	49.6
教育費の確保	113	45.2
生活費の確保	107	42.8
学習習慣の定着・学力の向上	106	42.4
子どもの学習意欲の維持・向上	101	40.4
生活習慣や勉強を教えること	91	36.4
子どもの将来の就職	90	36.0
子どもの健康管理・食生活	87	34.8
子どもの友人関係	87	34.8
仕事と子育ての両立	87	34.8
子どものしつけが難しいこと	68	27.2
修学旅行・部活の遠征費等の確保	62	24.8
子どもと過ごす時間の確保	61	24.4
子どもの発達	44	17.6
自分がほっとする時間がない	43	17.2
配偶者の無関心・非協力	24	9.6
一人で子育てしている孤立感	16	6.4
職場の理解が少ない	13	5.2
相談相手・相談先がない	10	4.0
地域の理解が少ない	4	1.6
その他	8	3.2
特になし	14	5.6
無回答	4	1.6

○中学生保護者：「子どもの受験・進学」が53.7%と最も多く、次いで「子どもの学習意欲の維持・向上」が43.5%、「学習習慣の定着・学力の向上」と「生活費の確保」がともに40.7%となっている。

	件数	%
子どもの受験・進学	58	53.7
子どもの学習意欲の維持・向上	47	43.5
学習習慣の定着・学力の向上	44	40.7
生活費の確保	44	40.7
教育費の確保	43	39.8
子どもの将来の就職	39	36.1
子どもの健康管理・食生活	29	26.9
生活習慣や勉強を教えること	25	23.1
子どもの友人関係	24	22.2
仕事の子育ての両立	20	18.5
修学旅行・部活の遠征費等の確保	19	17.6
子どもと過ごす時間の確保	18	16.7
自分がほっとする時間がない	18	16.7
子どもの発達	15	13.9
子どものしつけが難しいこと	14	13.0
一人で子育てしている孤立感	7	6.5
配偶者の無関心・非協力	7	6.5
職場の理解が少ない	4	3.7
相談相手・相談先がない	4	3.7
地域の理解が少ない	3	2.8
その他	5	4.6
特になし	5	4.6
無回答	1	0.9

○高校生保護者：「子どもの受験・進学」が50.0%、次いで「教育費の確保」が47.4%、「子どもの将来の就職」が44.7%となっている。

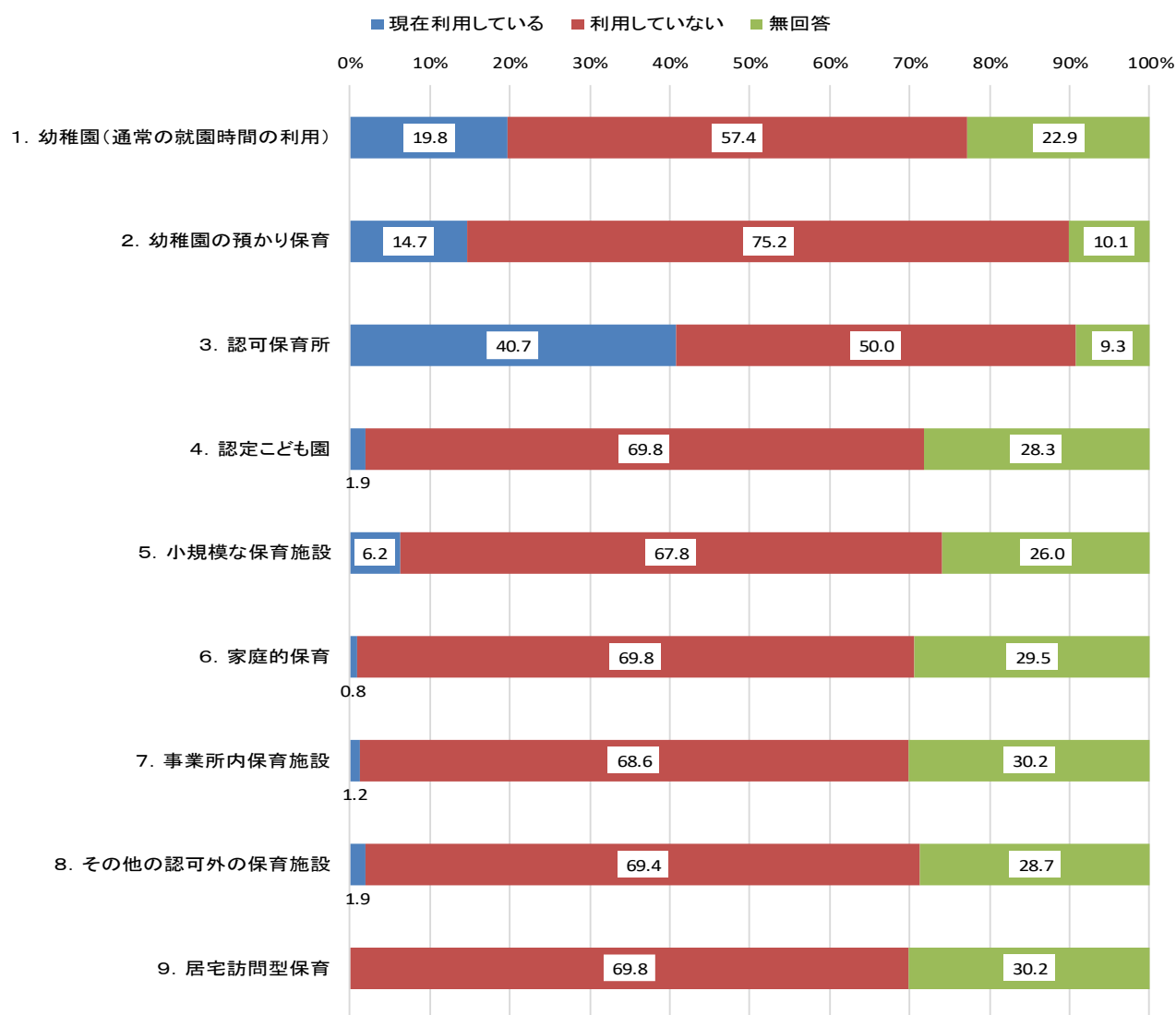
	件数	%
子どもの受験・進学	38	50.0
教育費の確保	36	47.4
子どもの将来の就職	34	44.7
生活費の確保	26	34.2
子どもの学習意欲の維持・向上	24	31.6
学習習慣の定着・学力の向上	21	27.6
子どもの健康管理・食生活	20	26.3
修学旅行・部活の遠征費等の確保	18	23.7
仕事の子育ての両立	16	21.1
子どもの友人関係	14	18.4
子どもと過ごす時間の確保	13	17.1
生活習慣や勉強を教えること	12	15.8
子どもの発達	8	10.5
子どものしつけが難しいこと	7	9.2
自分がほっとする時間がない	7	9.2
配偶者の無関心・非協力	5	6.6
一人で子育てしている孤立感	4	5.3
相談相手・相談先がない	4	5.3
地域の理解が少ない	1	1.3
職場の理解が少ない	1	1.3
その他	3	3.9
特になし	1	1.3
無回答	2	2.6

(5)就学前児童の定期的な教育・保育の利用

問 宛名のお子さんは、現在、以下の事業を利用していますか。また、今後はいつ利用したいですか。

【利用している教育・保育サービス】

「認可保育所」が 40.7%と最も多く、「幼稚園」が 19.8%、「幼稚園の預かり保育」が 14.7%となっており、「小規模な保育施設」が 6.2%回答されている。



nは全て258

【今後の利用希望】

平日の利用希望では、「認可保育所」が 38.4%と最も多く、「幼稚園」が 23.3%となっている。

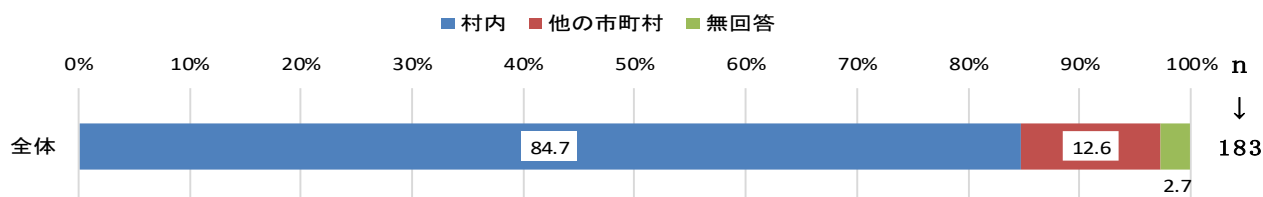
長期休暇期間中の利用希望では、「幼稚園の預かり保育」が 5.8%、「幼稚園」が 5.4%となっている。

土曜日の利用希望では、「認可保育所」が 8.1%、「幼稚園」と「幼稚園の預かり保育」がともに 2.3%みられる。

日曜・祝日の利用希望では、「認可保育所」が 1.2%みられる。

問 前問で「①現在利用している」を選んだ方にうかがいます。現在、利用している幼稚園、保育所等の実施場所はどこですか。

「村内」が84.7%と最も多く、「他の市町村」が12.6%となっている。

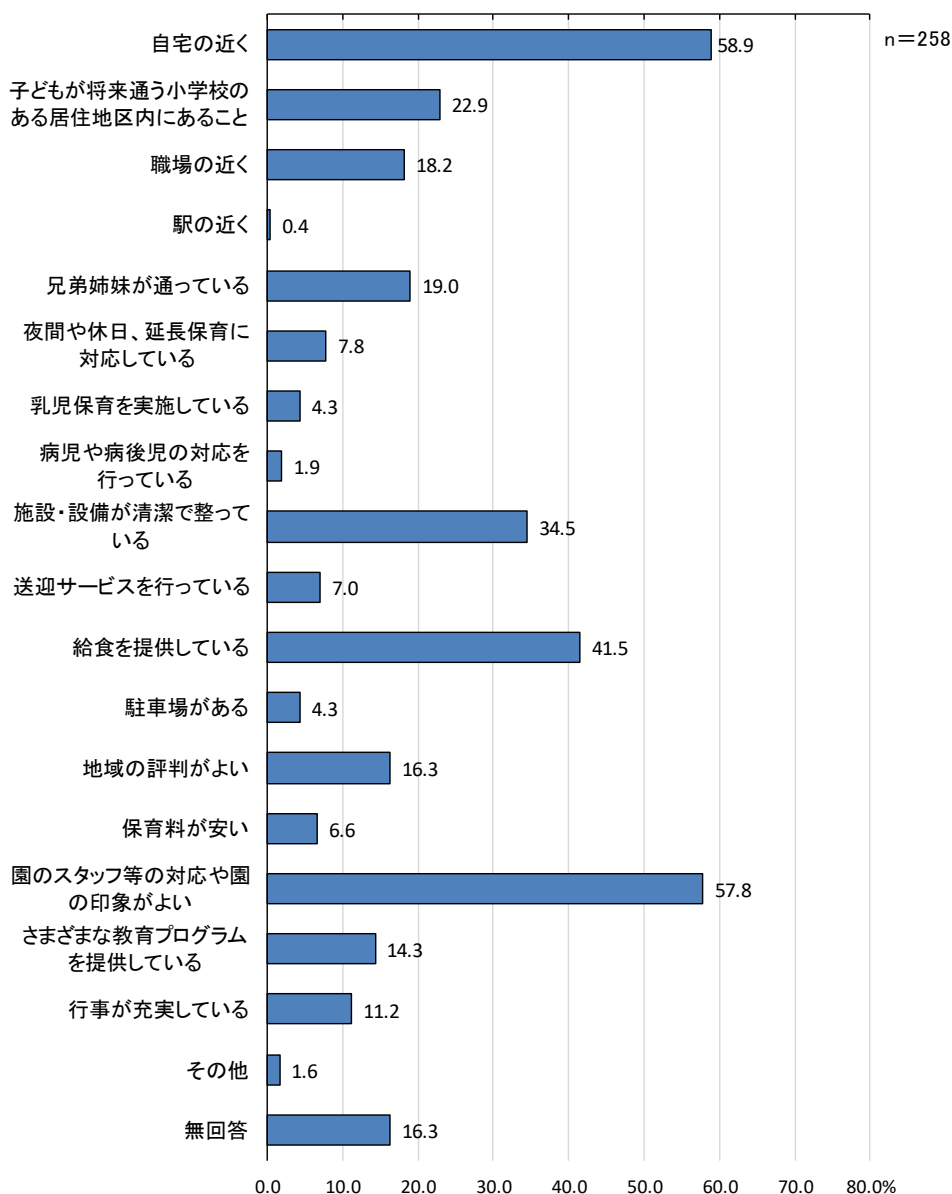


問 前問で「②利用していない」を選んだ方にうかがいます。教育・保育事業を利用していない理由は何ですか。

「子どもがまだ小さいため、成長したら利用したい」が19.7%、「利用する必要がない」が13.1%、「利用したいが、保育・教育の定員に空きがない」が9.8%となっている。

問 現在利用している、していないにかかわらず、対象のお子さんの平日の教育・保育の事業を選ぶ際に、重視する点はどのようなことですか。

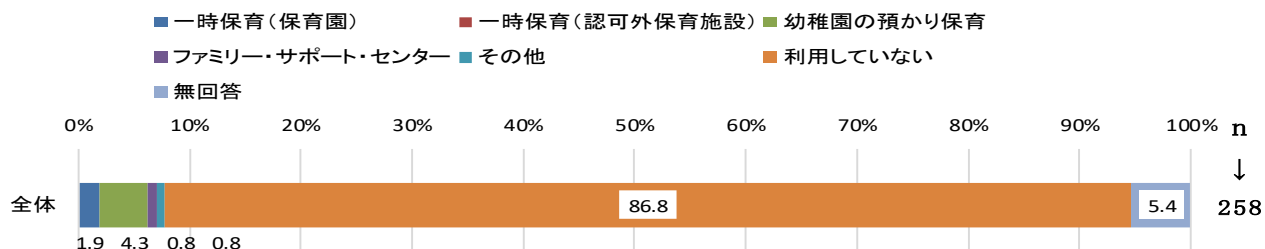
「自宅の近く」が58.9%と最も多く、次いで「園のスタッフ等の対応や園の印象がよい」が58.1%、「給食を提供している」が41.5%となっている。



(6) 不規則な教育・保育の利用(就学前児童保護者)

問 宛名のお子さんについて病気のため以外に、私用、親の通院、短期間の就労等の目的で不規則に利用している事業はありますか。(おおよその利用日数をご記入ください。)

「利用していない」が86.8%と最も多く、「幼稚園の預かり保育」が4.3%、「一時保育(保育園)」が1.9%となっている。

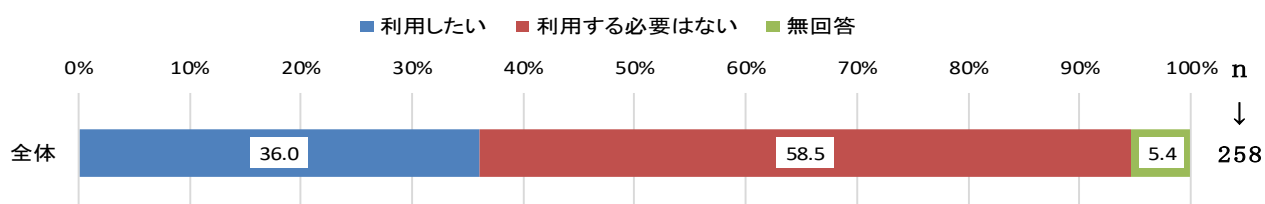


問 前問で「利用していない」を選んだ方にうかがいます。現在利用していない理由は何ですか。

「特に利用する必要が生じない」が77.7%と最も多い。また、「事業の利用方法がわからない」が14.3%、「自分が事業の対象者になるのかわからない」が11.2%、「利用料がかかる・高い」が7.6%となっている。

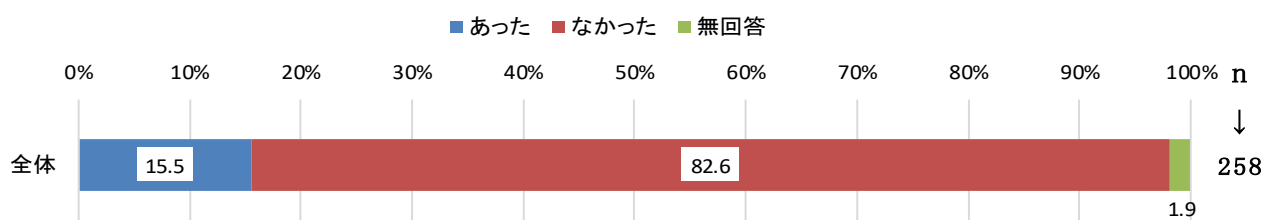
問 宛名のお子さんについて、私用、親の通院、不規則の就労等の目的で、年間何日くらい一時預かり等の事業を利用する必要があると思われますか。(おおよその日数をご記入ください。)

「利用する必要はない」が58.5%と多く、「利用したい」は36.0%である。



問 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気など)により、宛名のお子さんを泊まりがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含みます)。(おおよその日数をご記入ください。)

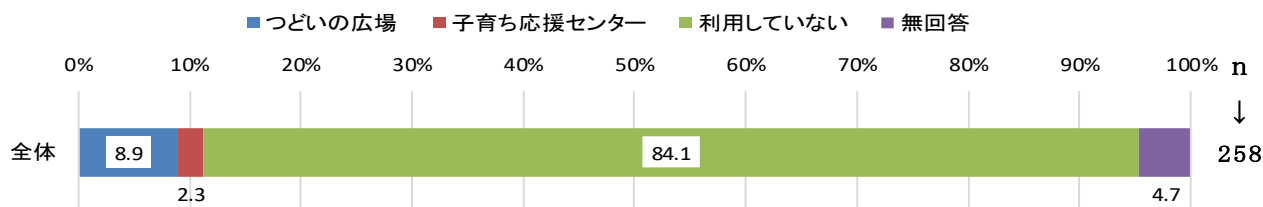
「なかった」が82.6%と多く、「あった」は15.5%である。



(7)地域子ども・子育て支援事業の利用(就学前児童保護者)

問 地域子ども・子育て支援事業の一つとして地域子育て支援拠点事業があります。現在、この事業を利用していますか。

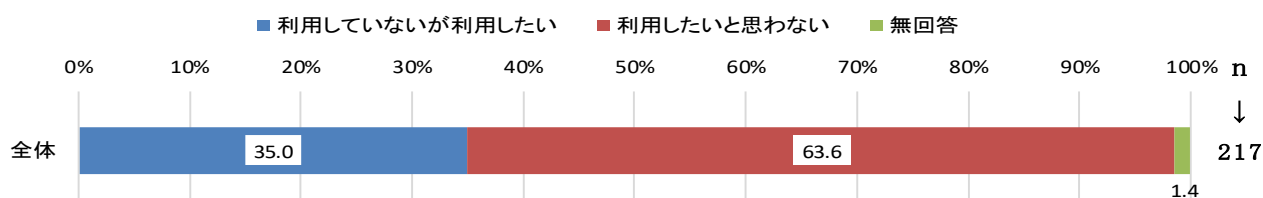
「利用していない」が84.1%と最も多い。利用している事業は、8.9%が「つどいの広場」、2.3%が「子育て応援センター」となっている。



問 前問で「利用していない」を選んだ方にうかがいます。今は利用していないが、今後できれば利用したいと思いますか。(「利用していないが利用したい」場合は回数をご記入ください。)

(a) 利用意向

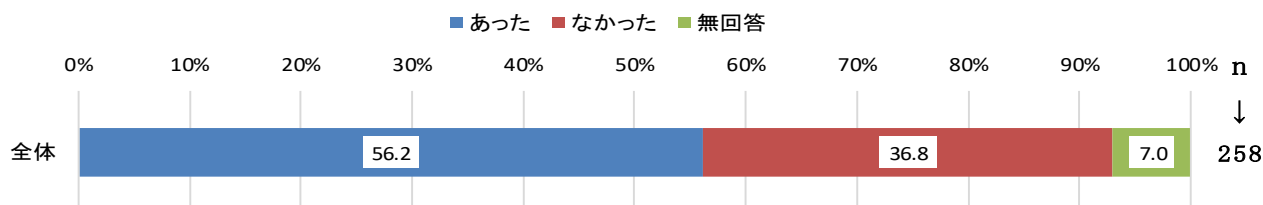
「利用したいと思わない」が63.6%と最も多く、「利用していないが利用したい」が35.0%となっている。



(8)病気の際の対応

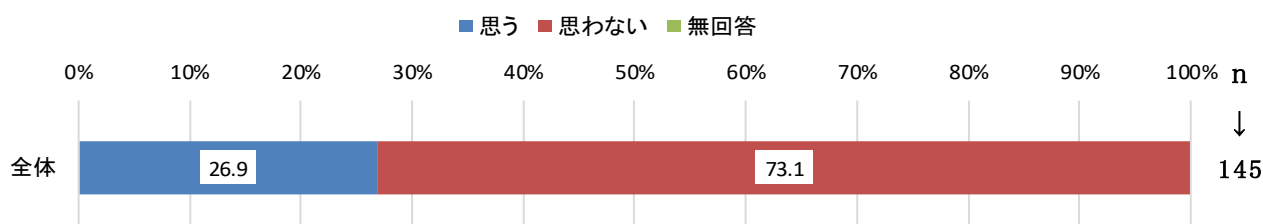
問 この1年間に病気などで、幼稚園・保育園などを利用できなかったことがありますか。(就学前児童保護者)

「あった」が56.2%、「なかった」が36.8%となっている。



問 前問で「あった」を選んだ方にうかがいます。お子さんが病気などで幼稚園・保育園などを利用できない場合に、病児・病後児の預かりができる施設を利用したいと思いますか。(就学前児童保護者)

「思わない」が73.1%と多く、「思う」が26.9%となっている。

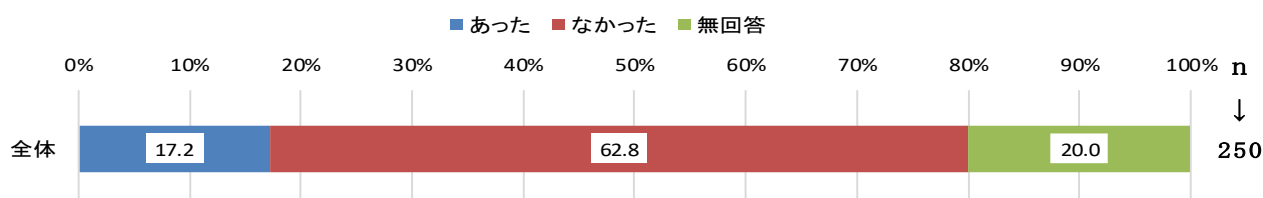


問 前問で「思わない」を選んだ方に伺います。利用したいと思わない理由は何ですか。(就学前児童保護者)

「親が仕事を休んで対応する」が56.6%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が43.4%、「利用料がかかる・高い」が34.0%、「地域の事業の利便性がよくない」が13.2%となっている。

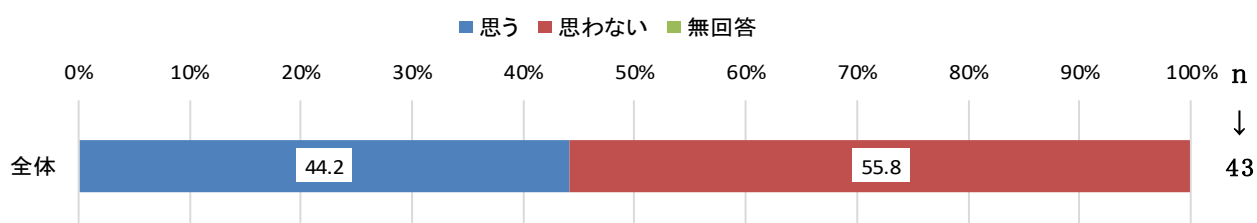
問 この1年間に病気などで、放課後児童クラブを利用できなかったことがありますか。(小学生保護者)

小学生保護者：「なかった」が62.8%と多く、「あった」は17.2%である。



問 前問で「あった」を選んだ方にうかがいます。お子さんが病気などで放課後児童クラブを利用できない場合に、病児・病後児の預かりができる施設を利用したいと思いますか。(小学生保護者)

「思わない」が55.8%と多く、「思う」は44.2%である。



問 理由は何ですか。

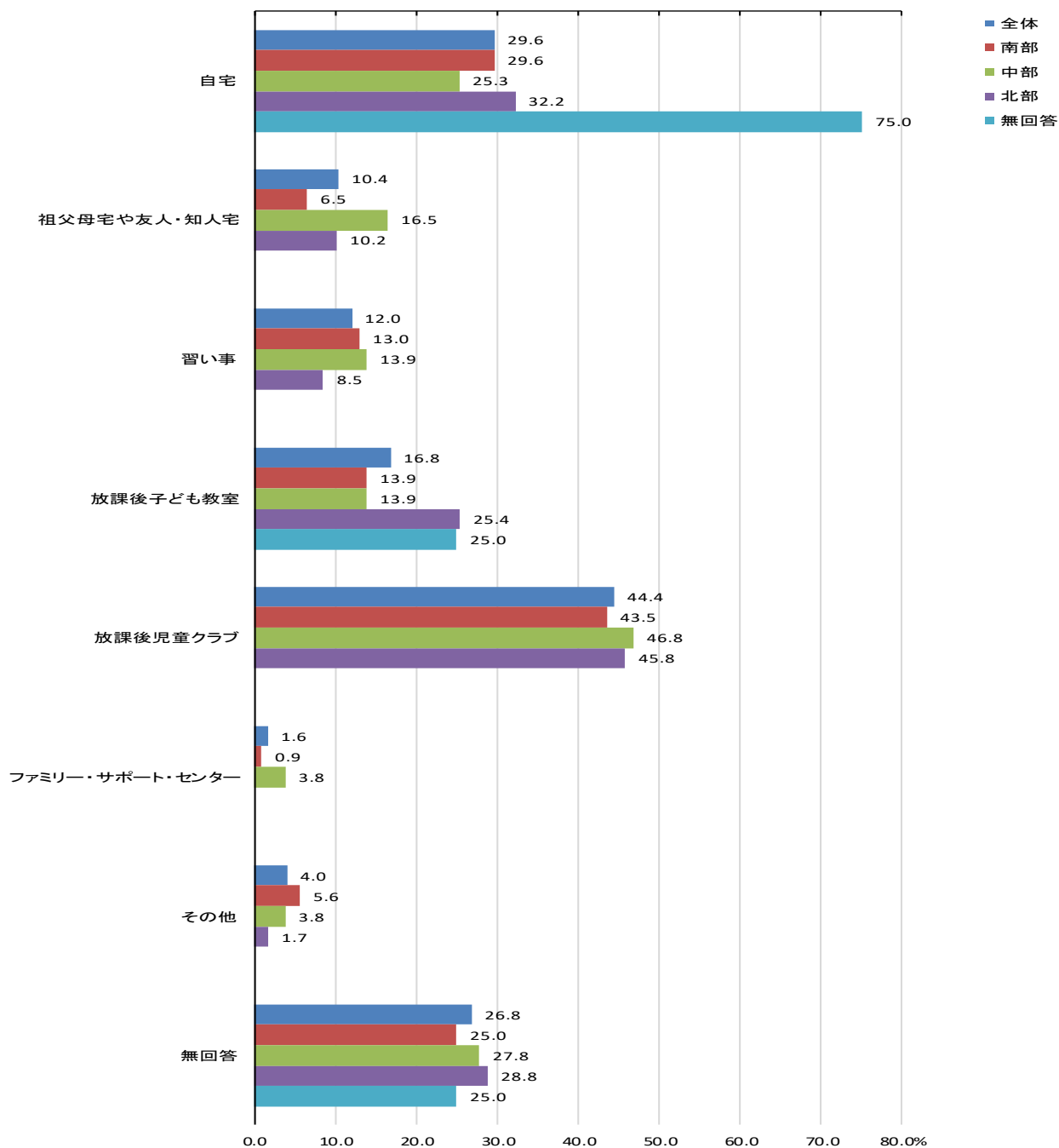
「親が仕事を休んで対応する」が54.2%と最も多く、「病児・病後児を他人に看てもらうのは不安」が29.2%、「利用料がかかる・高い」が16.7%、「地域の事業の利便性がよくない」と「利用料がわからない」がともに12.5%となっている。

(9)放課後の過ごし方(小学生保護者)

問 宛名のお子さんの放課後の過ごし方で、小学校低学年(1～3年生)と高学年(4～6年生)では、どのような場所で過ごさせたいと思いますか。

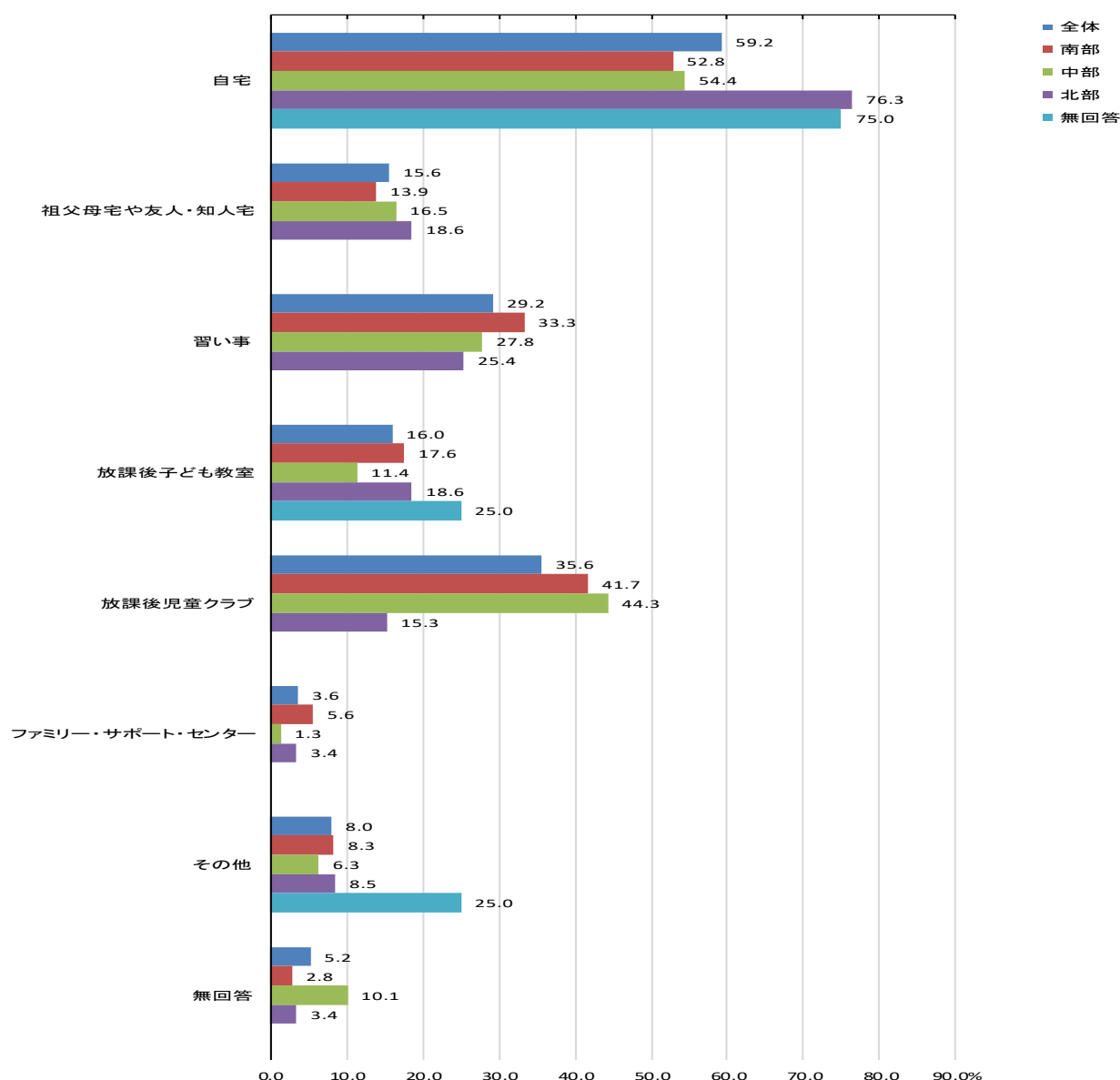
【小学1～3年生】

「放課後児童クラブ」が44.4%と最も多く、「自宅」が29.6%、「放課後子ども教室」が16.8%と続く。



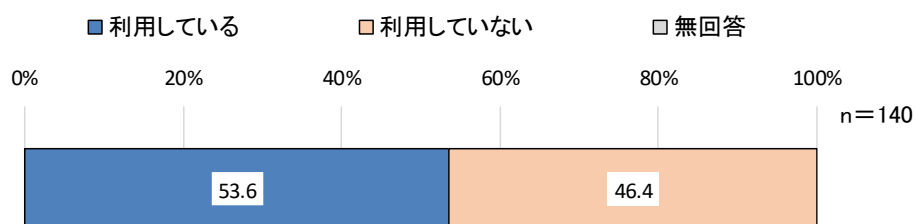
【小学4～6年生】

「自宅」が59.2%と最も多く、「放課後児童クラブ」が35.6%、「習い事」が29.2%と続く。



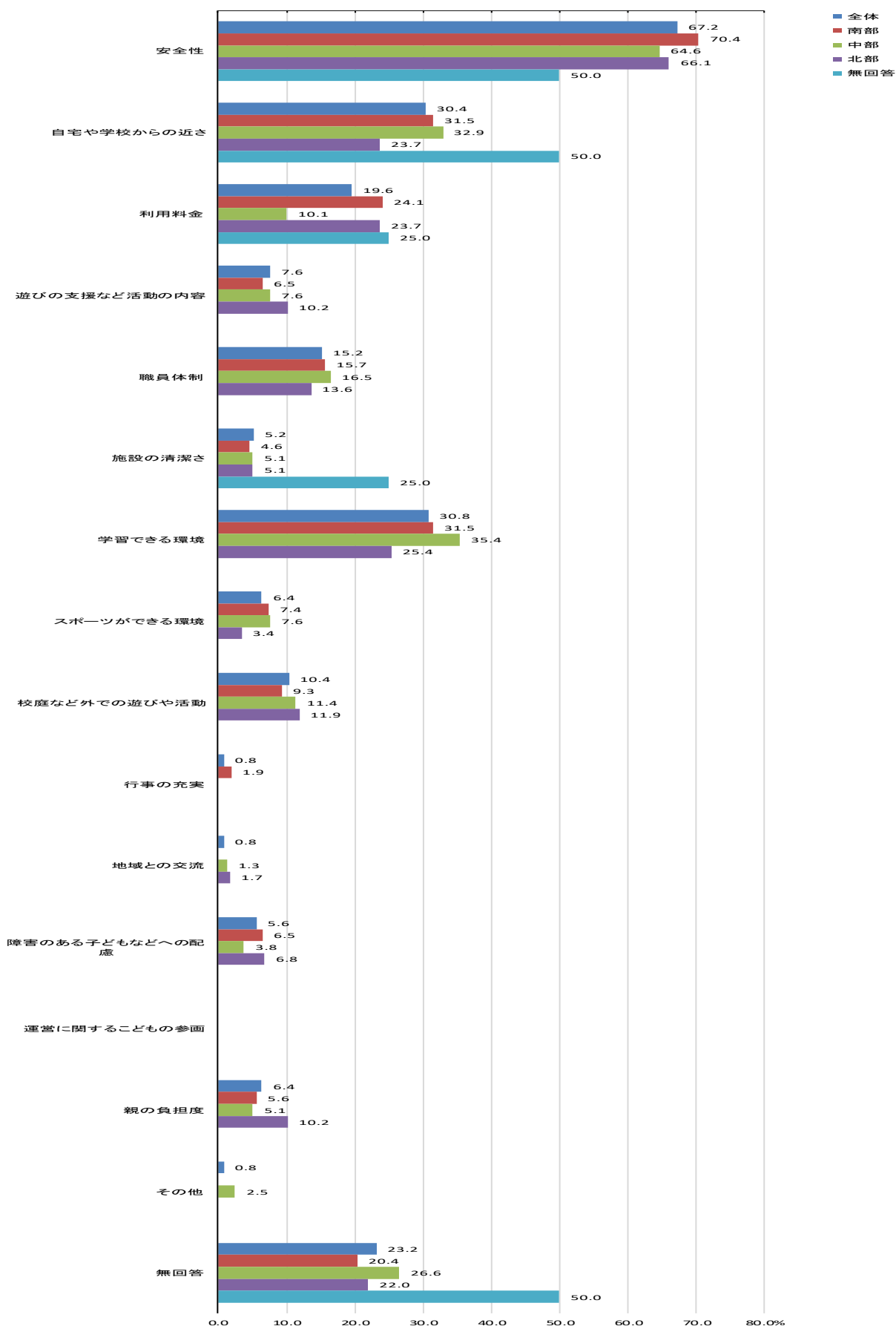
問 前問で「放課後児童クラブ」を選んだ方にうかがいます。現在、放課後児童クラブを利用していますか。

「利用している」が53.6%、「利用していない」が46.4%となっている。



問 子どもが放課後を過ごす場所として、どのような点を重視しますか。

「安全性」が67.2%と最も多く、次いで「学習できる環境」が30.8%、「自宅や学校からの近さ」が30.4%となっている。



(10)家庭生活・保護者の状況等

問 経済的理由のためにあなたの世帯にないものは何ですか。

○就学前児童保護者：「あてはまるものはない」が64.3%で、「インターネットにつながるパソコン」が13.2%、「急な出費のための貯金」が12.4%となっている。

	件数	%
インターネットにつながるパソコン	34	13.2
急な出費のための貯金	32	12.4
子どもが自宅で宿題をできる場所	6	2.3
人数分の布団またはベッド	5	1.9
電話	4	1.6
自家用車	2	0.8
子どもの年齢に合った本	2	0.8
テレビ	1	0.4
世帯専用のお風呂	1	0.4
子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	1	0.4
冷蔵庫	0	0.0
電子レンジ	0	0.0
洗濯機	0	0.0
炊飯器	0	0.0
掃除機	0	0.0
暖房機器	0	0.0
冷房機器	0	0.0
あてはまるものはない	166	64.3
無回答	29	11.2

○小学生保護者：「あてはまるものはない」が57.6%で、「急な出費のための貯金」が22.0%、「インターネットにつながるパソコン」が14.4%となっている。

	件数	%
急な出費のための貯金	55	22.0
インターネットにつながるパソコン	36	14.4
子どもの年齢に合った本	14	5.6
人数分の布団またはベッド	10	4.0
子どもが自宅で宿題をできる場所	7	2.8
冷房機器	6	2.4
子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	5	2.0
テレビ	1	0.4
電話	1	0.4
自家用車	0	0.0
冷蔵庫	0	0.0
電子レンジ	0	0.0
洗濯機	0	0.0
炊飯器	0	0.0
掃除機	0	0.0
暖房機器	0	0.0
世帯専用のお風呂	0	0.0
あてはまるものはない	144	57.6
無回答	27	10.8

○中学生保護者:「あてはまるものはない」が 63.0%で、「急な出費のための貯金」が 22.2%、
「インターネットにつながるパソコン」が 10.2%となっている。

	件数	%
急な出費のための貯金	24	22.2
インターネットにつながるパソコン	11	10.2
人数分の布団またはベッド	5	4.6
子どもの年齢に合った本	5	4.6
子どもが自宅で宿題をできる場所	4	3.7
自家用車	3	2.8
冷房機器	2	1.9
子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	2	1.9
掃除機	1	0.9
電話	1	0.9
テレビ	0	0.0
冷蔵庫	0	0.0
電子レンジ	0	0.0
洗濯機	0	0.0
炊飯器	0	0.0
暖房機器	0	0.0
世帯専用のお風呂	0	0.0
あてはまるものはない	68	63.0
無回答	8	7.4

○高校生保護者:「あてはまるものはない」が 63.2%で、「急な出費のための貯金」が 18.4%、
「インターネットにつながるパソコン」が 7.9%となっている。

	件数	%
急な出費のための貯金	14	18.4
インターネットにつながるパソコン	6	7.9
子どもの年齢に合った本	4	5.3
子ども用のスポーツ用品・おもちゃ	3	3.9
冷房機器	2	2.6
洗濯機	1	1.3
掃除機	1	1.3
人数分の布団またはベッド	1	1.3
テレビ	0	0.0
自家用車	0	0.0
冷蔵庫	0	0.0
電子レンジ	0	0.0
炊飯器	0	0.0
暖房機器	0	0.0
電話	0	0.0
世帯専用のお風呂	0	0.0
子どもが自宅で宿題をできる場所	0	0.0
あてはまるものはない	48	63.2
無回答	10	13.2

問 下記の質問について、この1ヶ月間のあなたの気持ちはどのようなでしたか。

①神経過敏に感じた

- 就学前児童保護者：「まったくない」が 50.0%と最も多く、「ときどき」が 22.9%と続く。
- 小学生保護者：「まったくない」が 35.2%と多く、「ときどき」が 23.2%、「少しだけ」が 22.8%と続く。
- 中学生保護者：「まったくない」が 41.7%と最も多く、「ときどき」が 25.0%と続く。
- 高校生保護者：「まったくない」が 36.8%と最も多く、「少しだけ」が 26.3%と続く。

②絶望的だと感じた

- 就学前児童保護者：「まったくない」が 75.2%と最も多く、「少しだけ」が 10.1%と続く。
- 小学生保護者：「まったくない」が 64.8%と最も多く、「ときどき」が 14.4%、「少しだけ」が 12.0%と続く。
- 中学生保護者：「まったくない」が 60.2%と最も多く、「少しだけ」が 17.6%と続く。
- 高校生保護者：「まったくない」が 52.6%と最も多く、「少しだけ」が 19.7%と続く。

③そろそろ、落ち着かなく感じた

- 就学前児童保護者：「まったくない」が 60.9%と最も多く、「少しだけ」が 17.8%と続く。
- 小学生保護者：「まったくない」が 53.2%と最も多く、「少しだけ」が 23.6%と続く。
- 中学生保護者：「まったくない」が 49.1%と最も多く、「少しだけ」が 26.9%と続く。
- 高校生保護者：「まったくない」が 46.1%と最も多く、「ときどき」が 19.7%と続く。

④気分が沈み込んで、何が起こっても気が晴れないように感じた

- 就学前児童保護者：「まったくない」が 57.4%と最も多く、「少しだけ」が 20.9%と続く。
- 小学生保護者：「まったくない」が 47.2%と最も多く、「少しだけ」が 22.4%と続く。
- 中学生保護者：「まったくない」が 41.7%と多く、「少しだけ」が 32.4%と続く。
- 高校生保護者：「まったくない」が 35.5%と多く、「少しだけ」が 27.6%と続く。

⑤何をするのも面倒だと感じた

- 就学前児童保護者：「まったくない」が 43.8%と最も多く、「少しだけ」が 22.9%、「ときどき」が 22.1%と続く。
- 小学生保護者：「まったくない」が 32.4%と多く、「少しだけ」が 25.2%、「ときどき」が 22.4%と続く。
- 中学生保護者：「少しだけ」が 33.3%と多く、「ときどき」が 28.7%、「まったくない」が 26.9%と続く。
- 高校生保護者：「まったくない」が 30.3%と多く、「少しだけ」が 26.3%と続く。

⑥自分は価値のない人間だと感じた

- 就学前児童保護者：「まったくない」が 73.6%と最も多く、「少しだけ」が 13.2%と続く。
- 小学生保護者：「まったくない」が 60.0%と最も多く、「少しだけ」が 16.4%と続く。
- 中学生保護者：「まったくない」が 63.0%と最も多く、「少しだけ」が 17.6%と続く。
- 高校生保護者：「まったくない」が 64.5%と最も多く、「少しだけ」が 11.8%と続く。

問 あなたは「子育てに関する相談」「いざという時のお金の相談」「その他、重要な事柄の相談」で頼れる人はいますか。また、「頼れる人がいる」場合、それはだれですか。

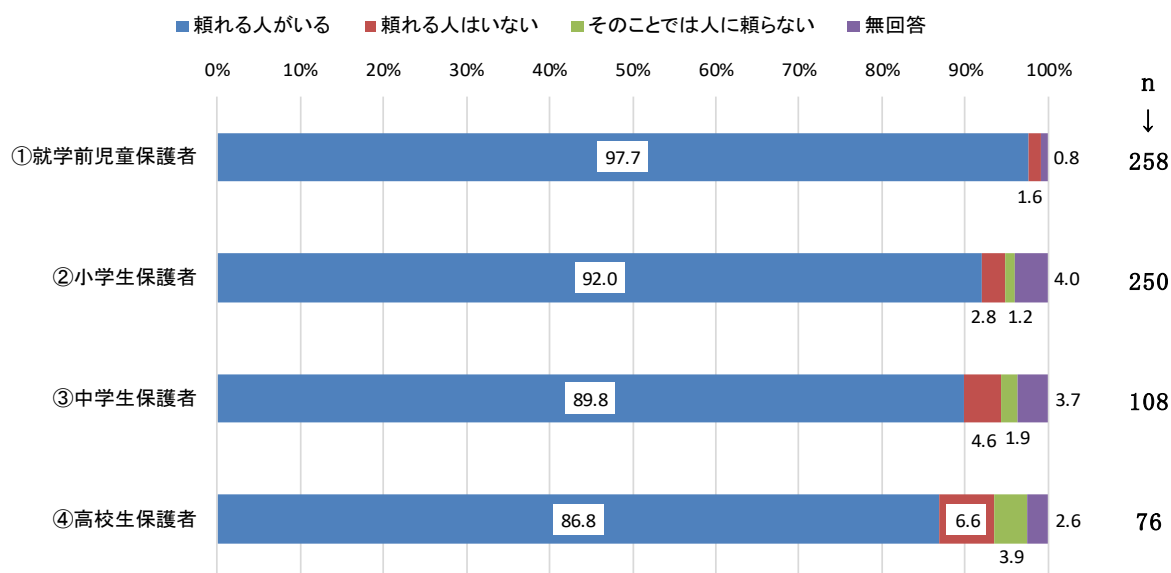
a) 子育てに関する相談

○就学前児童保護者：「頼れる人がいる」が97.7%であるが、「いない」が1.6%みられる。頼れる人は、「家族・親族」が93.3%と最も多く、「友人・知人」が64.7%、「保育士」が46.4%と続く。

○小学生保護者：「頼れる人がいる」が92.0%であるが、「いない」が2.8%みられる。頼れる人は、「家族・親族」が91.3%と最も多く、「友人・知人」が57.4%、「職場の人」が35.2%と続く。

○中学生保護者：「頼れる人がいる」が89.8%であるが、「いない」が4.6%みられる。頼れる人は「家族・親族」が92.8%と最も多く、「友人・知人」が46.4%、「職場の人」が26.8%と続く。

○高校生保護者：「頼れる人がいる」が86.8%であるが、「いない」が6.6%みられる。頼れる人は、「家族・親族」が83.3%と最も多く、「友人・知人」が54.5%、「職場の人」が28.8%と続く。



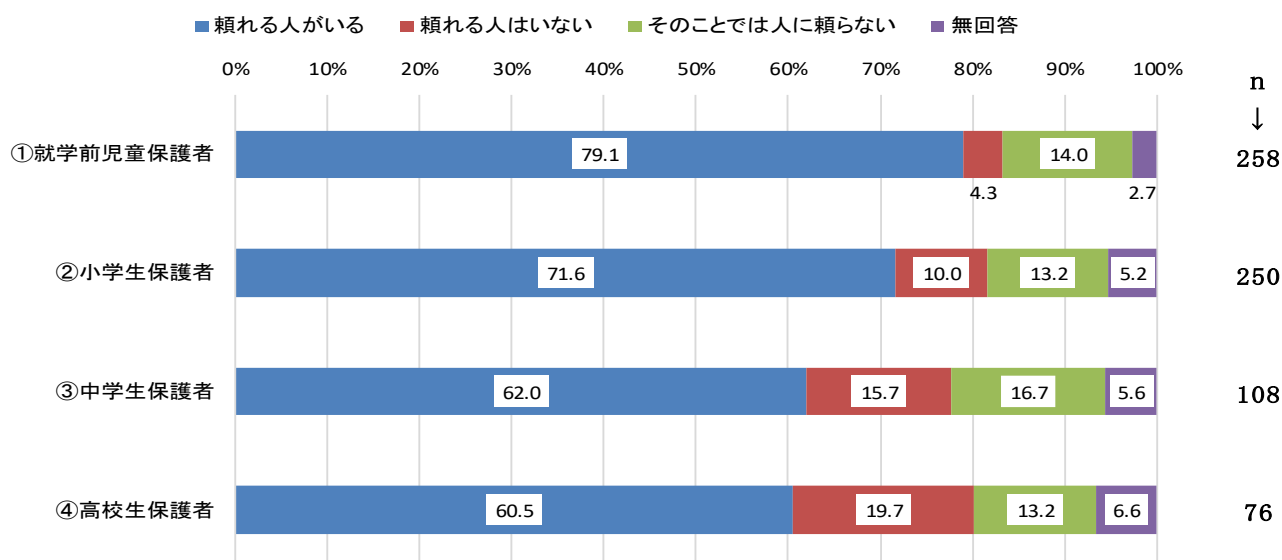
b) いざという時のお金の相談

○就学前児童保護者：「頼れる人がいる」が79.1%で、「そのことでは人に頼らない」が14.0%となっている。頼れる人は「家族・親族」が99.0%と大半を占める。

○小学生保護者：「頼れる人がいる」が71.6%、「そのことでは人に頼らない」が13.2%となっている。頼れる人は「家族・親族」が97.2%と大半を占める。

○中学生保護者：「頼れる人がいる」が62.0%、「そのことでは人に頼らない」が16.7%、「頼れる人はいない」が15.7%となっている。頼れる人は、「家族・親族」が95.5%と大半を占める。

○高校生保護者：「頼れる人がいる」が60.5%、「頼れる人はいない」が19.7%、「そのことでは人に頼らない」が13.2%となっている。頼れる人は「家族・親族」が93.5%と大半を占める。



問 あなたは、これまでに困った時に公的機関に相談したことがありますか。相談したことがない場合は、その理由に最も近いものを選んでください。

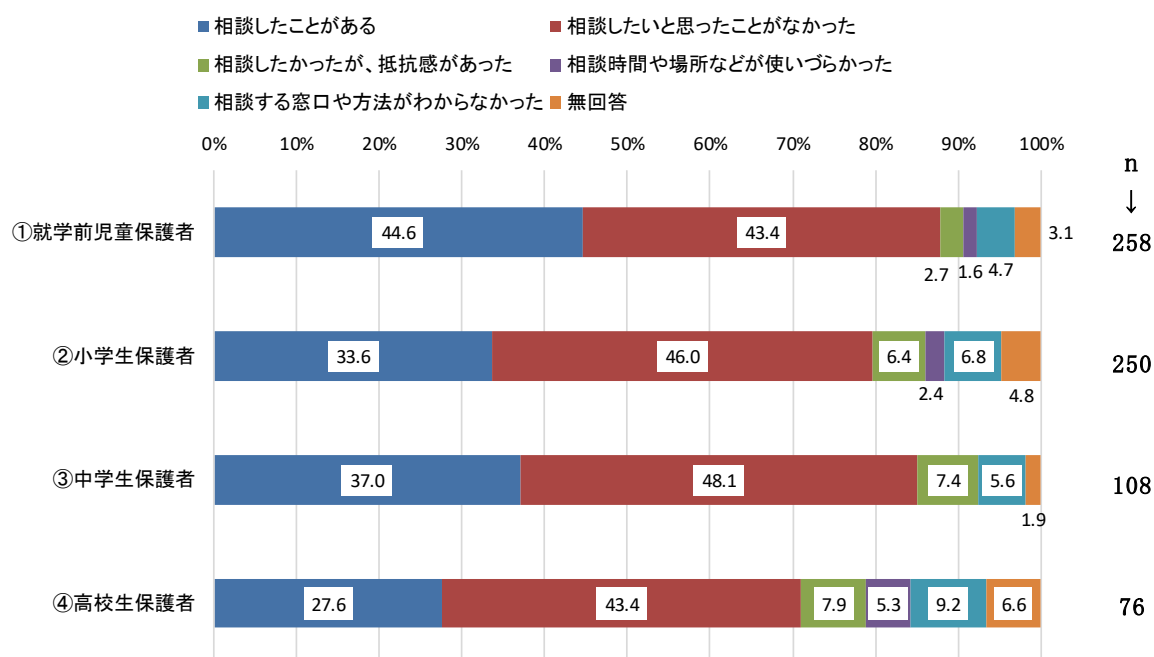
【村役場の窓口】

○就学前児童保護者：「相談したことがある」が 44.6%と多く、「相談したいと思ったことがなかった」が 43.4%と続く。

○小学生保護者：「相談したいと思ったことがなかった」が 46.0%と最も多く、「相談したことがある」が 33.6%と続く。

○中学生保護者：「相談したいと思ったことがなかった」が 48.1%と最も多く、「相談したことがある」が 37.0%と続く。

○高校生保護者：「相談したいと思ったことがなかった」が 43.4%と最も多く、「相談したことがある」が 27.6%と続く。



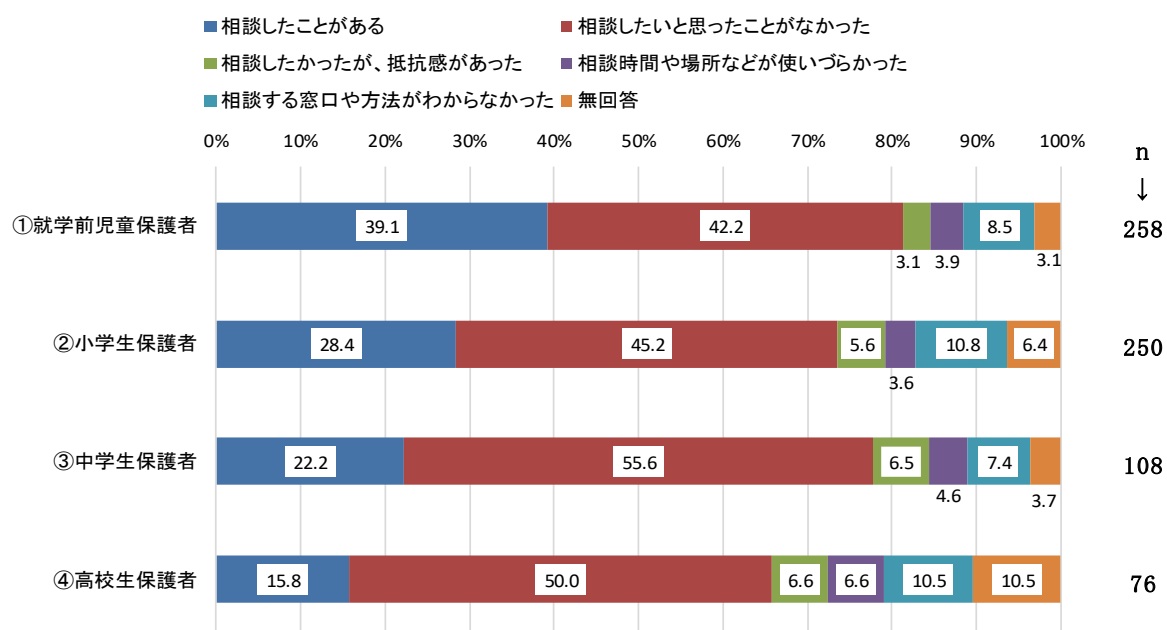
【子育て支援センター・つどいの広場・子ども子育て応援センター】

○就学前児童保護者：「相談したいと思ったことがなかった」が 42.2%と最も多く、「相談したことがある」が 39.1%と続く。

○小学生保護者：「相談したいと思ったことがなかった」が 45.2%と最も多く、「相談したことがある」が 28.4%と続く。

○中学生保護者：「相談したいと思ったことがなかった」が 55.6%と最も多く、「相談したことがある」が 22.2%と続く。

○高校生保護者：「相談したいと思ったことがなかった」が 50.0%と最も多く、「相談したことがある」が 15.8%と続く。



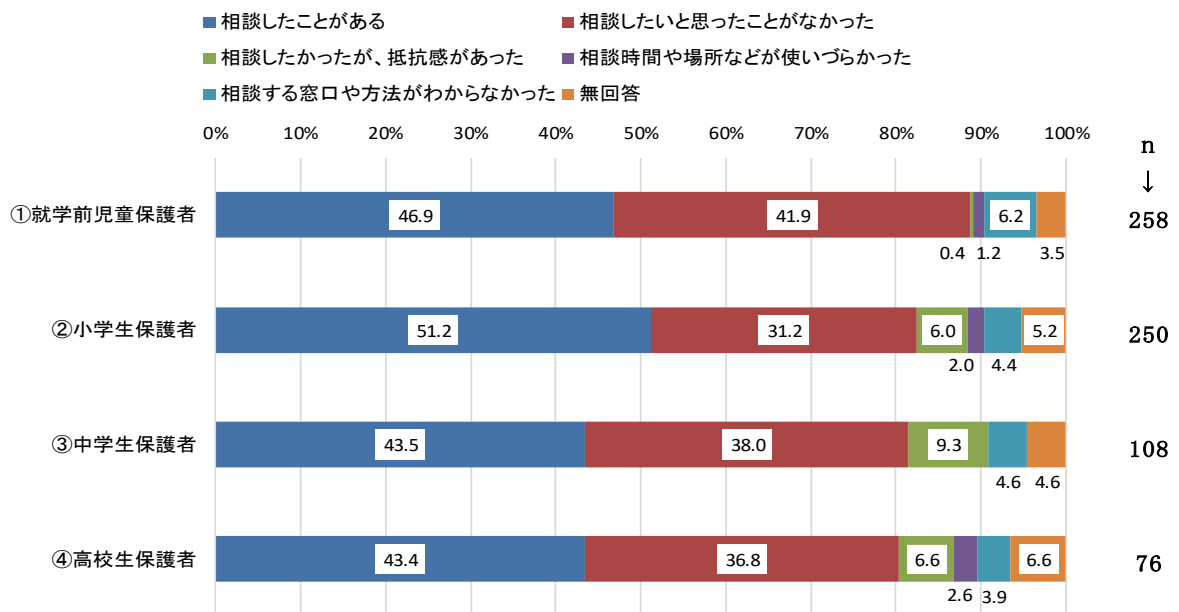
【学校・保育所・幼稚園の先生、スクールカウンセラーなど】

○就学前児童保護者：「相談したことがある」が 46.9%と多く、「相談したいと思ったことがなかった」が 41.9%と続く。

○小学生保護者：「相談したことがある」が 51.2%と多く、「相談したいと思ったことがなかった」が 31.2%と続く。

○中学生保護者：「相談したことがある」が 43.5%と多く、「相談したいと思ったことがなかった」が 38.0%と続く。

○高校生保護者：「相談したことがある」が 43.4%と多く、「相談したいと思ったことがなかった」が 36.8%と続く。



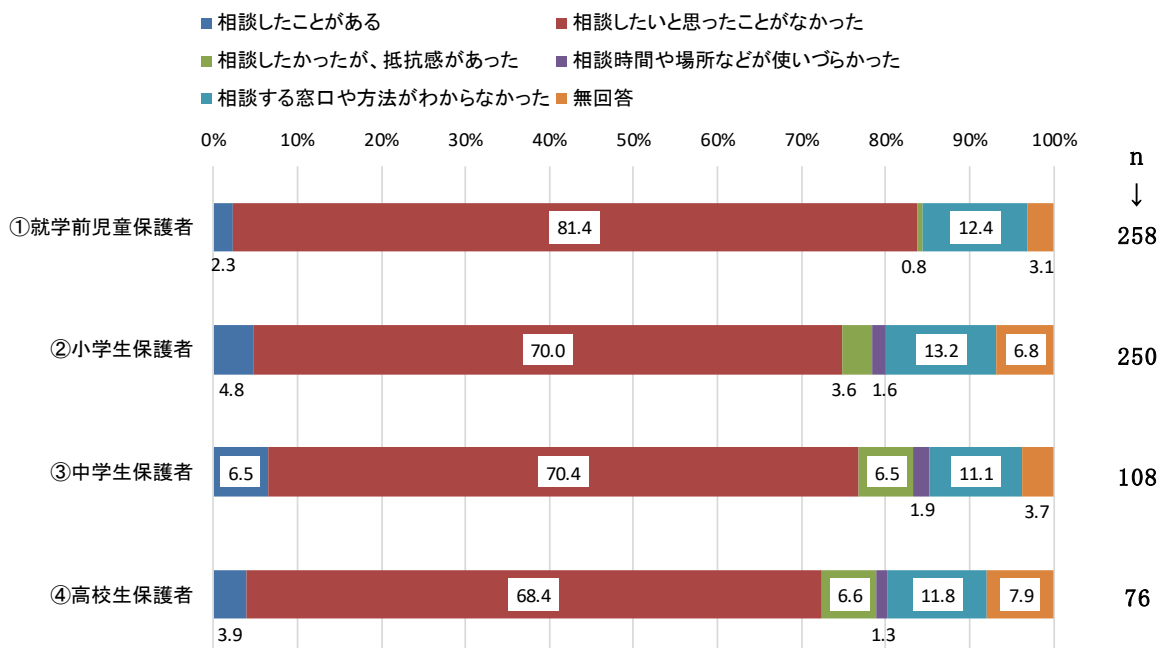
【民生委員・児童委員】

○就学前児童保護者：「相談したいと思ったことがなかった」が 81.4%と最も多く、「相談する窓口や方法がわからなかった」が 12.4%と続く。

○小学生保護者：「相談したいと思ったことがなかった」が 70.0%と最も多く、「相談する窓口や方法がわからなかった」が 13.2%と続く。

○中学生保護者：「相談したいと思ったことがなかった」が 70.4%と最も多く、「相談する窓口や方法がわからなかった」が 11.1%と続く。

○高校生保護者：「相談したいと思ったことがなかった」が 68.4%と最も多く、「相談する窓口や方法がわからなかった」が 11.8%と続く。



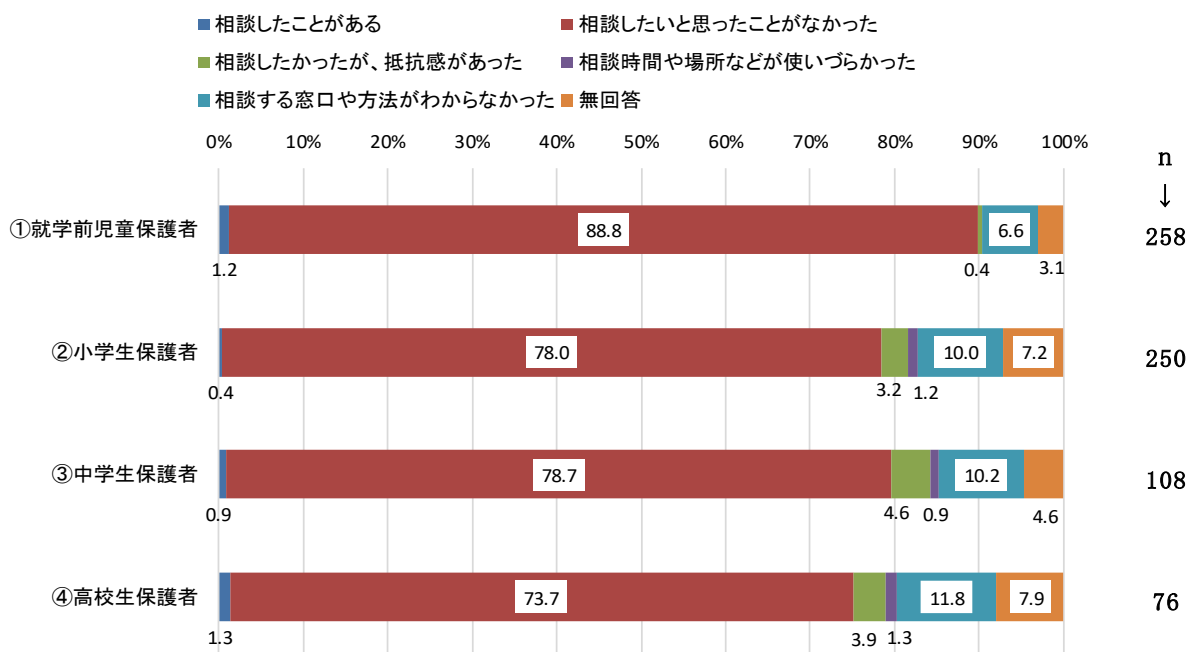
【母子家庭等就業・自立支援センター】

○就学前児童保護者：「相談したいと思ったことがなかった」が88.8%と最も多く、「相談する窓口や方法がわからなかった」が6.6%と続く。

○小学生保護者：「相談したいと思ったことがなかった」が78.0%と最も多く、「相談する窓口や方法がわからなかった」が10.0%と続く。

○中学生保護者：「相談したいと思ったことがなかった」が78.7%と最も多く、「相談する窓口や方法がわからなかった」が10.2%と続く。

○高校生保護者：「相談したいと思ったことがなかった」が73.7%と最も多く、「相談する窓口や方法がわからなかった」が11.8%と続く。



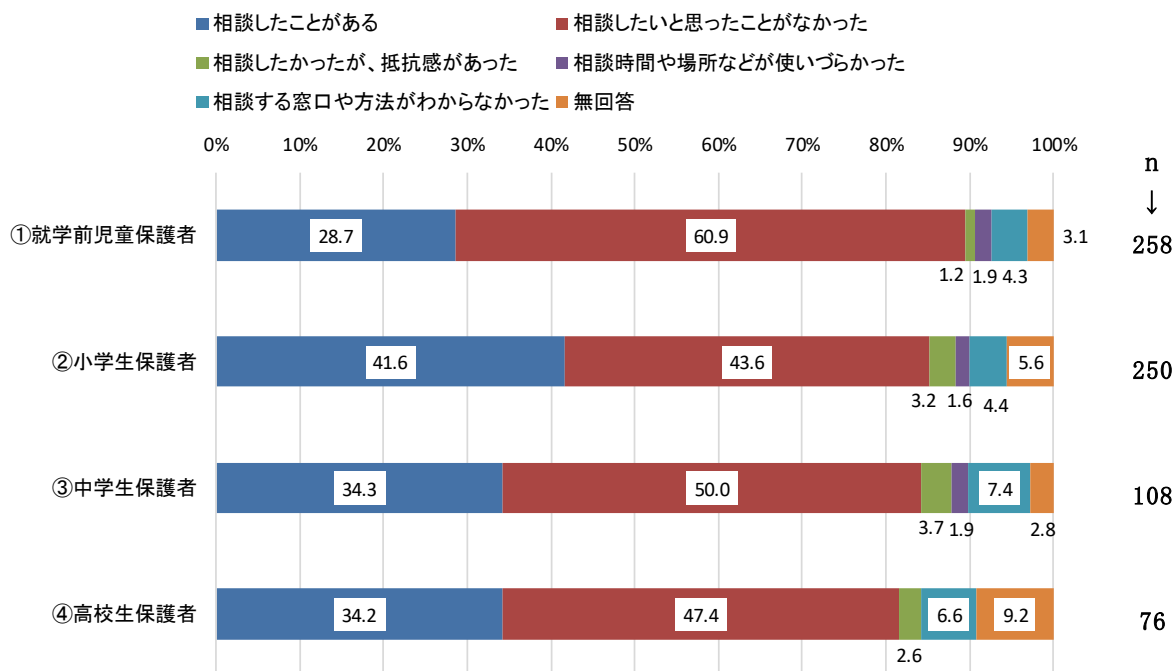
【ハローワーク】

○就学前児童保護者：「相談したいと思ったことがなかった」が60.9%と最も多く、「相談したことがある」が28.7%と続く。

○小学生保護者：「相談したいと思ったことがなかった」が43.6%、「相談したことがある」が41.6%となっている。

○中学生保護者：「相談したいと思ったことがなかった」が50.0%、「相談したことがある」が34.3%となっている。

○高校生保護者：「相談したいと思ったことがなかった」が47.4%、「相談したことがある」が34.2%となっている。

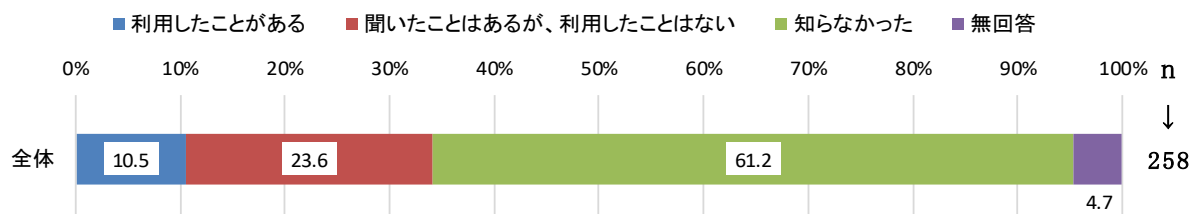


(11)子育て支援施策・子育て環境

問 現在、以下の地域の子ども・子育て支援事業を行っています。これらの取組を知っていましたか。また、利用したことがありますか。(就学前児童保護者)

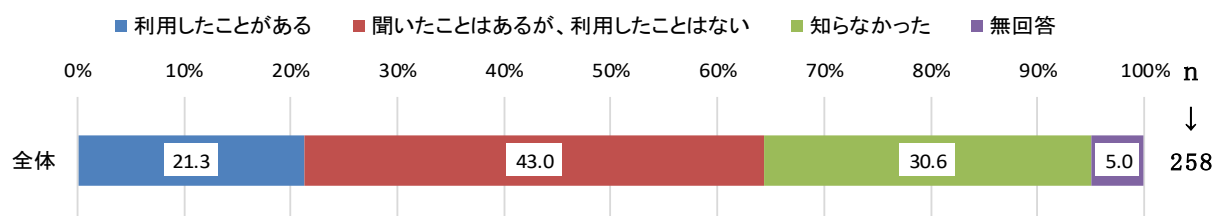
【保育園・幼稚園巡回訪問事業】

「知らなかった」が61.2%と最も多く、「聞いたことはあるが、利用したことはない」が23.6%となっている。



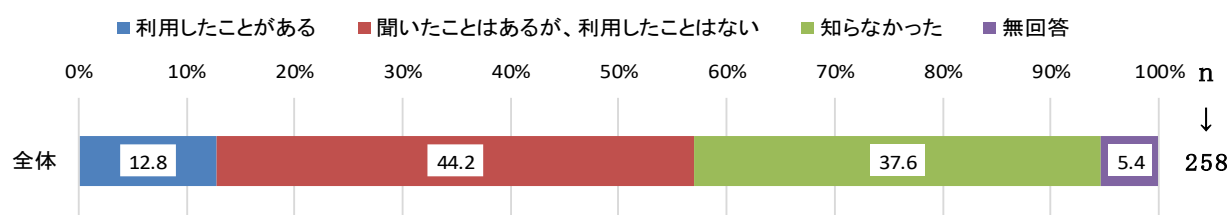
【福祉課・子育て支援センターの情報・相談事業】

「聞いたことはあるが、利用したことはない」が43.0%と最も多く、「知らなかった」が30.6%となっている。



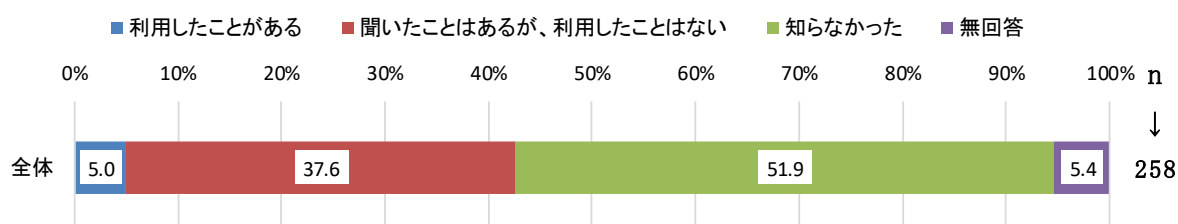
【発達相談】

「聞いたことはあるが、利用したことはない」が44.2%と最も多く、「知らなかった」が37.6%となっている。



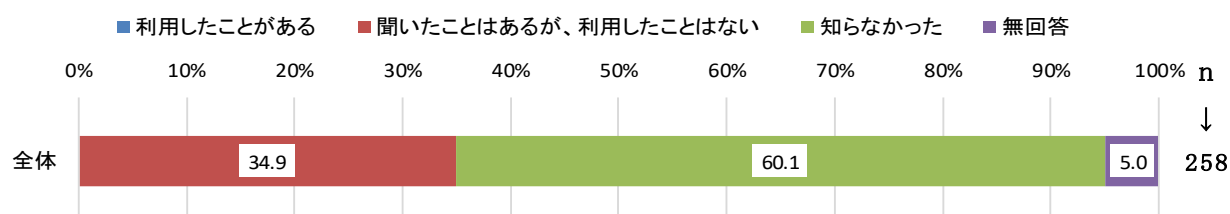
【あんしんサポートブック】

「知らなかった」が51.9%と最も多く、「聞いたことはあるが、利用したことはない」が37.6%となっている。



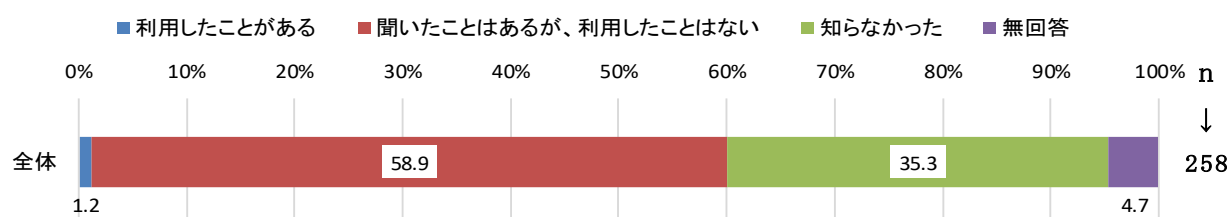
【教育相談事業】

「知らなかった」が60.1%と最も多く、「聞いたことはあるが、利用したことはない」が34.9%となっている。



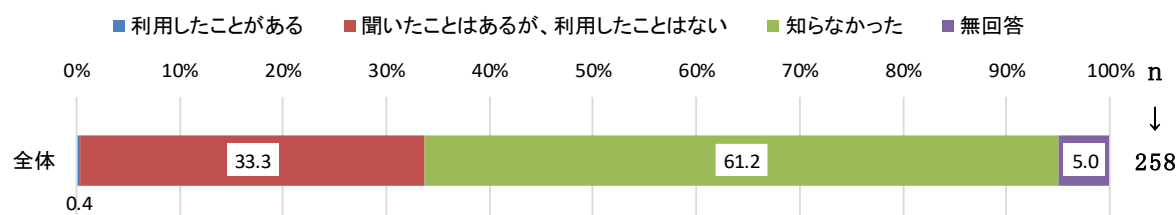
【子ども食堂】

「聞いたことはあるが、利用したことはない」が58.9%と最も多く、「知らなかった」が35.3%となっている。



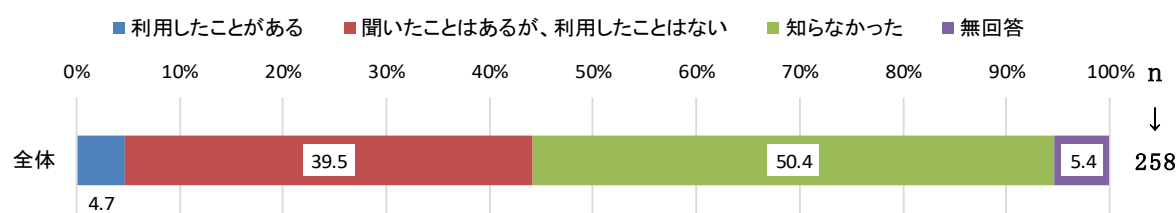
【学習支援事業】

「知らなかった」が61.2%と最も多く、「聞いたことはあるが、利用したことはない」が33.3%となっている。



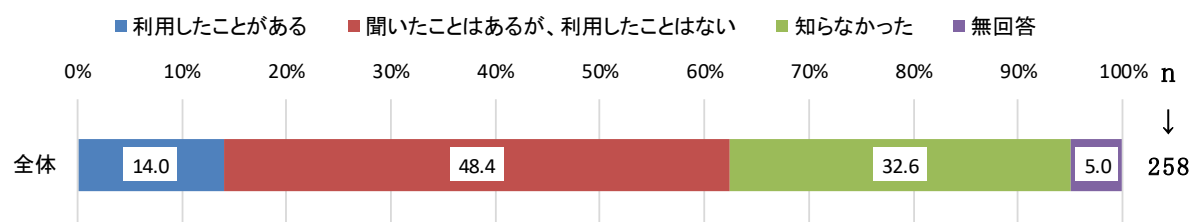
【放課後子ども教室】

「知らなかった」が50.4%と最も多く、「聞いたことはあるが、利用したことはない」が39.5%となっている。



【村広報「にしごう」に記載する子育て支援情報】

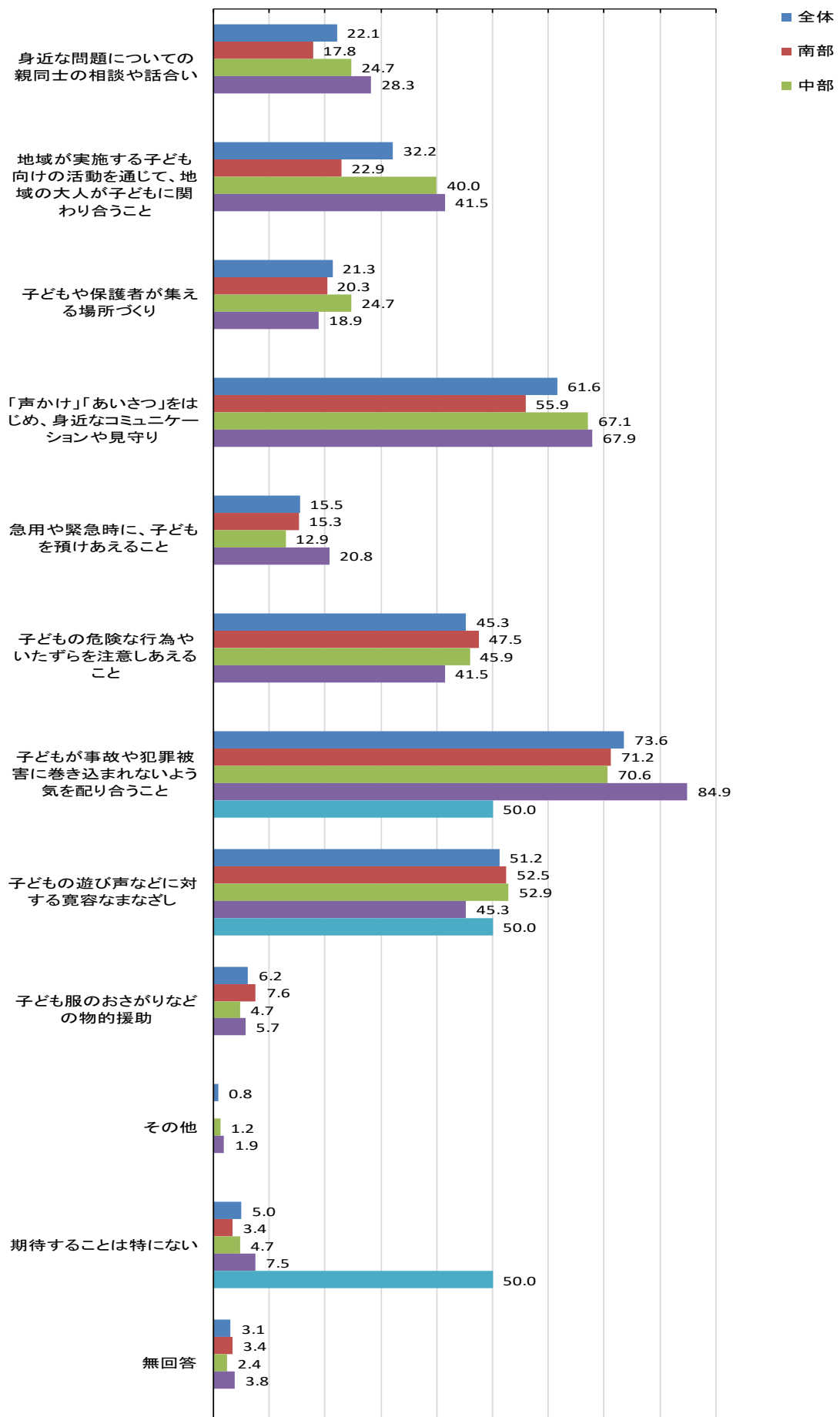
「聞いたことはあるが、利用したことはない」が48.4%と最も多く、「知らなかった」が32.6%となっている。

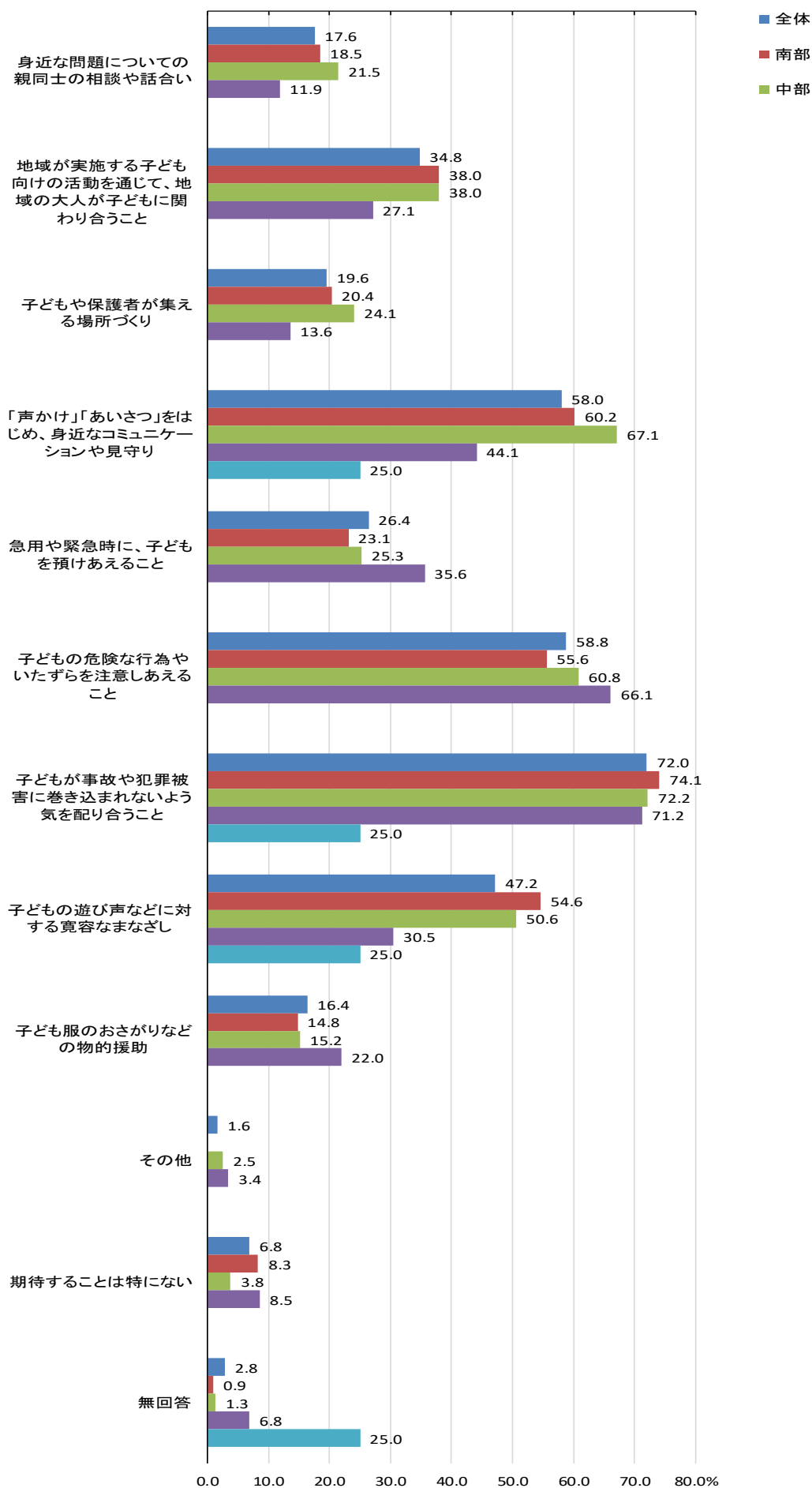


問 子育てをするうえで、ご近所・地域の人々に期待することは何ですか。

○就学前児童保護者：「子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないように気を配り合うこと」が73.6%と最も多く、次いで「“声掛け”“あいさつ”をはじめ、身近なコミュニケーションや見守り」が61.6%、「子どもの遊び声などに対する寛容なまなざし」が51.2%、「子どもの危険な行為やいたずらを注意しあえること」が45.3%となっている。

○小学生保護者：「子どもが事故や犯罪被害に巻き込まれないように気を配り合うこと」が72.0%と最も多く、次いで「子どもの危険な行為やいたずらを注意しあえること」が58.8%、「“声掛け”“あいさつ”をはじめ、身近なコミュニケーションや見守り」が58.0%、「子どもの遊び声などに対する寛容なまなざし」が47.2%となっている。





問 子育てに関する情報をどこから入手していますか。

○就学前児童保護者：「友人や職場の同僚」が58.5%と最も多く、次いで「配偶者」が48.1%、「自分の親」が45.7%、「保育園・幼稚園・学校の先生」が44.6%となっている。

	件数	%
友人や職場の同僚	151	58.5
配偶者	124	48.1
自分の親	118	45.7
保育園・幼稚園・学校の先生	115	44.6
テレビ・インターネットなど	109	42.2
村の広報誌・ホームページなど	104	40.3
SNS	92	35.7
兄弟姉妹・親戚	69	26.7
子育て支援センターや地域子育て支援拠点	43	16.7
雑誌・タウン誌	22	8.5
村などの相談窓口	17	6.6
行政区や民生委員・児童委員など地域の人	5	1.9
その他	0	0.0
必要がないので情報は得ていない	1	0.4
無回答	6	2.3

○小学生保護者：「友人や職場の同僚」が66.8%と最も多く、次いで「テレビ・インターネットなど」が45.2%、「自分の親」が41.6%、「配偶者」と「保育園・幼稚園・学校の先生」がともに38.0%となっている。

	件数	%
友人や職場の同僚	167	66.8
テレビ・インターネットなど	113	45.2
自分の親	104	41.6
配偶者	95	38.0
保育園・幼稚園・学校の先生	95	38.0
兄弟姉妹・親戚	88	35.2
村の広報誌・ホームページ等	79	31.6
SNS	66	26.4
雑誌・タウン誌	29	11.6
子育て支援センターや地域子育て支援拠点	19	7.6
村などの相談窓口	8	3.2
行政区や民生委員・児童委員など地域の人	2	0.8
その他	4	1.6
必要がないので情報は得ていない	4	1.6
無回答	6	2.4

○中学生保護者：「友人や職場の同僚」が 46.3%と最も多く、次いで「村の広報誌・ホームページなど」が 43.5%、「配偶者」と「テレビ・インターネットなど」がともに 35.2%となっている。

	件数	%
友人や職場の同僚	50	46.3
村の広報誌・ホームページなど	47	43.5
配偶者	38	35.2
テレビ・インターネットなど	38	35.2
自分の親	31	28.7
兄弟姉妹・親戚	24	22.2
SNS	20	18.5
保育園・幼稚園・学校の先生	13	12.0
子育て支援センターや地域子育て支援拠点	6	5.6
行政区や民生委員・児童委員など地域の人	5	4.6
雑誌・タウン誌	5	4.6
村などの相談窓口	2	1.9
その他	0	0.0
必要がないので情報は得ていない	1	0.9
無回答	5	4.6

○高校生保護者：「友人や職場の同僚」が 39.5%と最も多く、次いで「テレビ・インターネットなど」が 36.8%、「配偶者」と「村の広報誌・ホームページなど」がともに 27.6%となっている。

	件数	%
友人や職場の同僚	30	39.5
テレビ・インターネットなど	28	36.8
配偶者	21	27.6
村の広報誌・ホームページなど	21	27.6
自分の親	20	26.3
SNS	12	15.8
兄弟姉妹・親戚	10	13.2
保育園・幼稚園・学校の先生	10	13.2
村などの相談窓口	5	6.6
子育て支援センターや地域子育て支援拠点	3	3.9
行政区や民生委員・児童委員など地域の人	1	1.3
雑誌・タウン誌	1	1.3
その他	2	2.6
必要がないので情報は得ていない	4	5.3
無回答	2	2.6

問 村に対し、どのような子育て支援の充実を図ってほしいと期待していますか。

○就学前児童保護者：「保育所や幼稚園、学校にかかる出費負担を軽減してほしい」が57.0%と最も多く、次いで「屋内遊び場の充実」が55.8%、「道路や公園などの生活環境や公共交通機関を整備してほしい」が53.5%、「奨学金など子どもの夢の実現に役立つ金銭的援助を充実してほしい」が42.6%となっている。

	件数	%
保育所や幼稚園、学校にかかる出費負担を軽減してほしい	147	57.0
屋内遊び場の充実	144	55.8
道路や公園などの生活環境や公共交通機関を整備してほしい	138	53.5
奨学金など子どもの夢の実現に役立つ金銭的援助を充実してほしい	110	42.6
誰でも気軽に利用できる一時預かりサービスがほしい	104	40.3
親子が安心して集まれる場や楽しめるイベントを増やしてほしい	92	35.7
残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい	78	30.2
幼稚園や保育所を増やしてほしい	71	27.5
子育てに困った時に相談したり、情報が得られる場を増やしてほしい	56	21.7
安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい	55	21.3
放課後児童クラブを増やしてほしい	51	19.8
子ども食堂など誰でも使える子どもの居場所づくりをしてほしい	25	9.7
その他	10	3.9
特にない	1	0.4
無回答	5	1.9

○小学生保護者：「奨学金など子どもの夢の実現に役立つ金銭的援助を充実してほしい」が56.4%と最も多く、次いで「道路や公園などの生活環境や公共交通機関を整備してほしい」が48.4%、「保育所や幼稚園、学校にかかる出費負担を軽減してほしい」が45.2%、「誰でも気軽に利用できる一時預かりサービスがほしい」と「屋内遊び場の充実」がともに26.4%となっている。

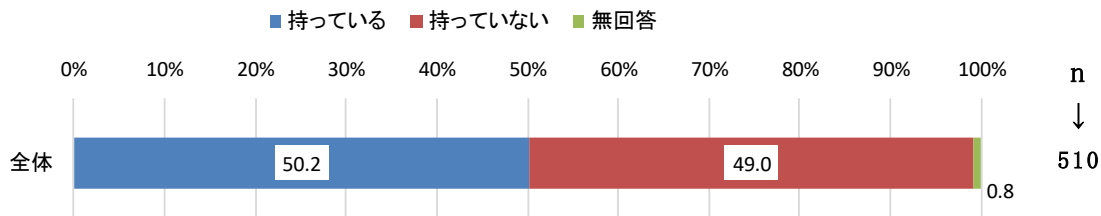
	件数	%
奨学金など子どもの夢の実現に役立つ金銭的援助を充実してほしい	141	56.4
道路や公園などの生活環境や公共交通機関を整備してほしい	121	48.4
保育所や幼稚園、学校にかかる出費負担を軽減してほしい	113	45.2
誰でも気軽に利用できる一時預かりサービスがほしい	66	26.4
屋内遊び場の充実	66	26.4
残業時間の短縮や休暇の取得促進など、企業に対して職場環境の改善を働きかけてほしい	61	24.4
安心して子どもが医療機関にかかる体制を整備してほしい	59	23.6
親子が安心して集まれる身近な場や楽しめるイベントを増やしてほしい	48	19.2
子ども食堂など誰でも使える子どもの居場所づくりをしてほしい	45	18.0
子育てに困った時に相談したり、情報が得られる場を増やしてほしい	38	15.2
幼稚園や保育所を増やしてほしい	16	6.4
放課後児童クラブを増やしてほしい	15	6.0
その他	14	5.6
特にない	12	4.8
無回答	9	3.6

3. 子ども生活状況調査

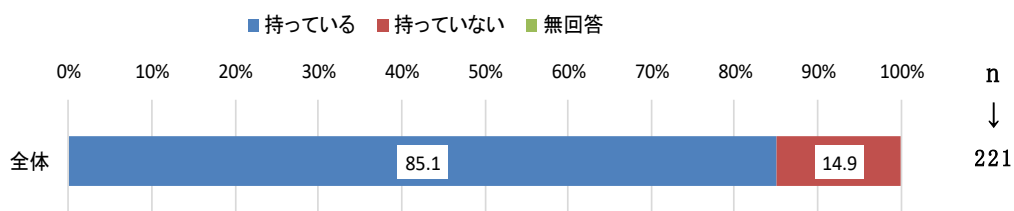
(1)子どもの状況

問 あなたは、スマートフォンを持っていますか。

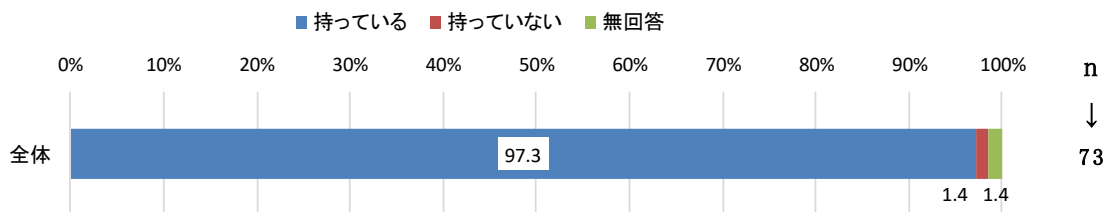
○小学校高学年：「持っている」が50.2%、「持っていない」が49.0%となっている。



○中学1・2年生：「持っている」が85.1%、「持っていない」が14.9%となっている。

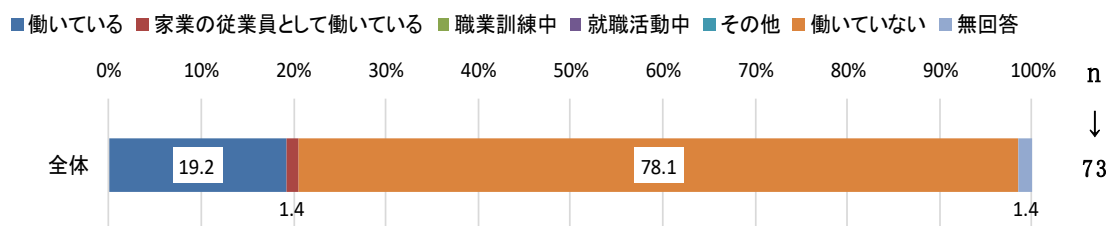


○高校生1・2年：「持っている」が97.3%、「持っていない」が1.4%となっている。



問 あなたは、現在働いていますか。(高校生)

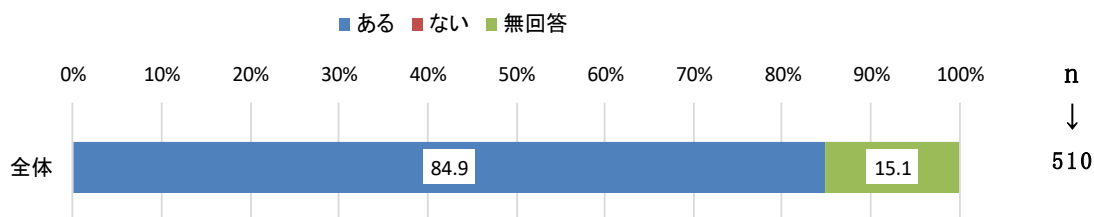
「働いていない」が78.1%、「働いている」が19.2%となっている。



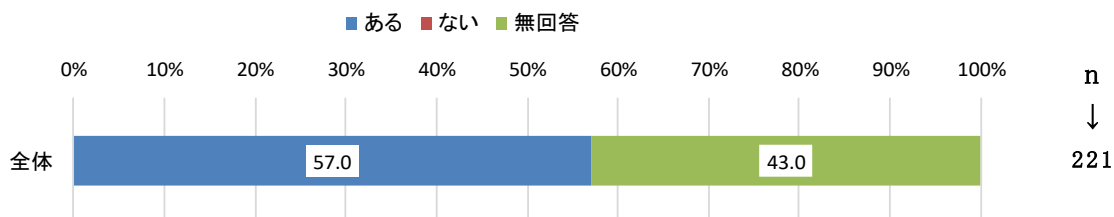
(2)将来のこと・夢

問 あなたは、将来の夢がありますか。

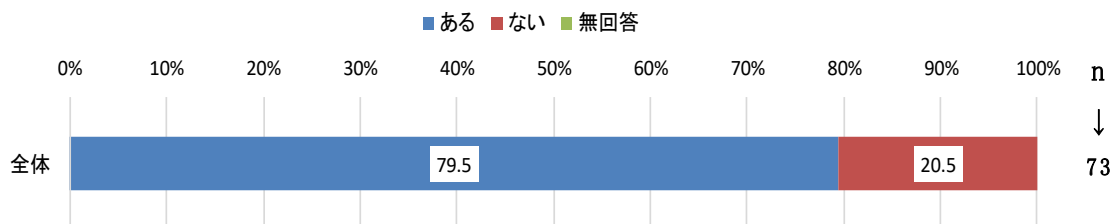
○小学校高学年：「ある」が84.9%となっている。「ない」と回答した人はいなかった。



○中学1・2年生：「ある」が57.0%となっている。「ない」と回答した人はいなかった。

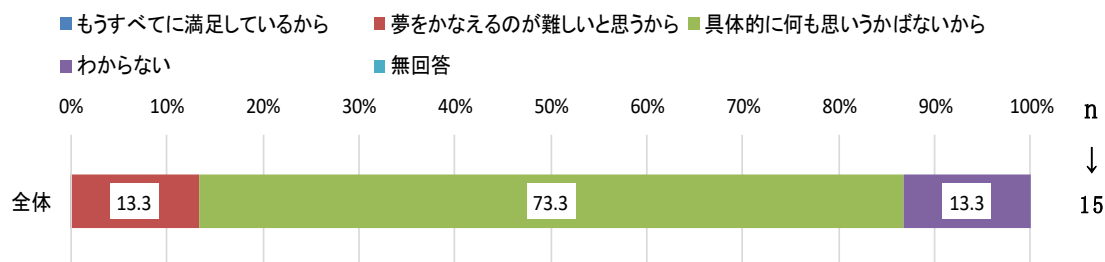


○高校1・2年生：「ある」が79.5%、「ない」が20.5%となっている。



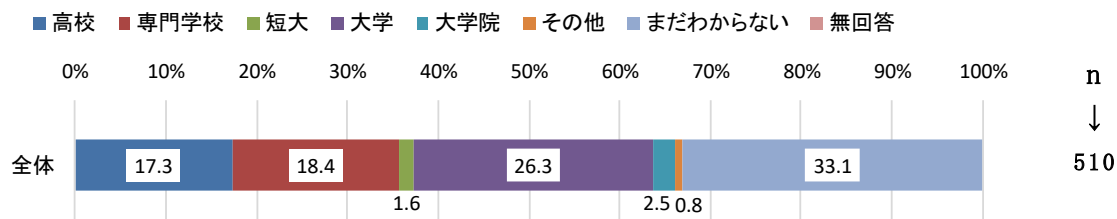
問 (前問で「ない」と答えた人にお聞きします。)夢がない理由は何ですか。

○高校1・2年生では、「具体的に何も思いうかばないから」が73.3%と最も多く、「夢をかなえるのが難しいと思うから」と「わからない」がともに13.3%である。

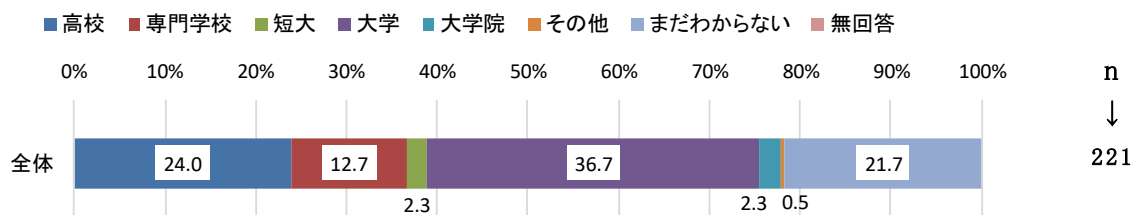


問 あなたは、将来、どの学校まで進みたいですか。

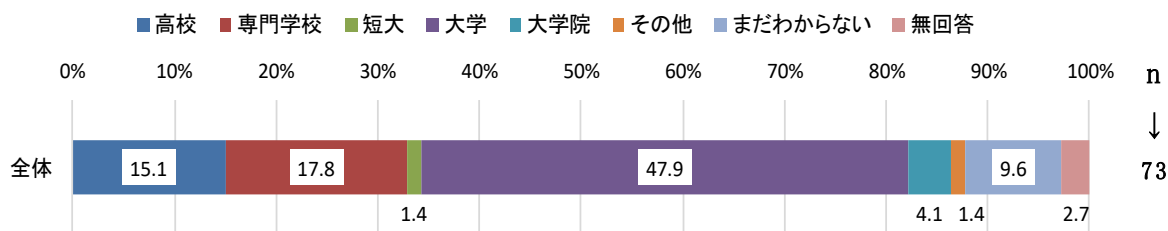
○小学校高学年：「まだわからない」が 33.1%と最も多く、「大学」が 26.3%、「専門学校」が 18.4%、「高校」が 17.3%と続く。



○中学1・2年生：「大学」が 36.7%と最も多く、「高校」が 24.0%、「まだわからない」が 21.7%となっている。



○高校1・2年生：「大学」が 47.9%と最も多く、「専門学校」が 17.8%、「高校」が 15.1%となっている。



問 (前問で「高校」「専門学校」「短大」「大学」「大学院」「その他」と答えた人にお聞きします。)その理由を教えてください。

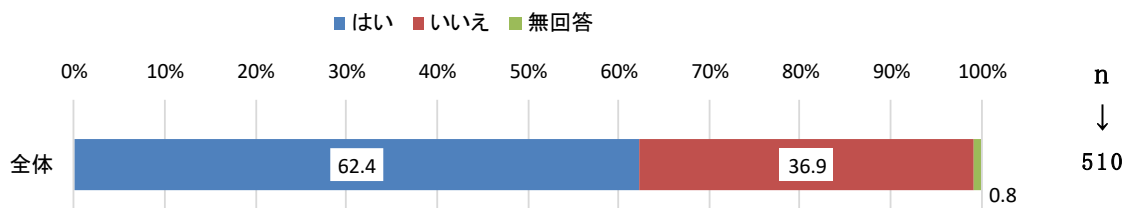
○小学校高学年：「希望する学校や職業があるから」が 59.2%と最も多い。次いで「自分の成績から考えて」が 17.3%、「とくに理由はない」が 15.5%となっている。

○中学1・2年生：「希望する学校や職業があるから」が 50.3%と最も多い。次いで「親がそう言っているから」が 21.4%、「とくに理由はない」が 20.8%となっている。

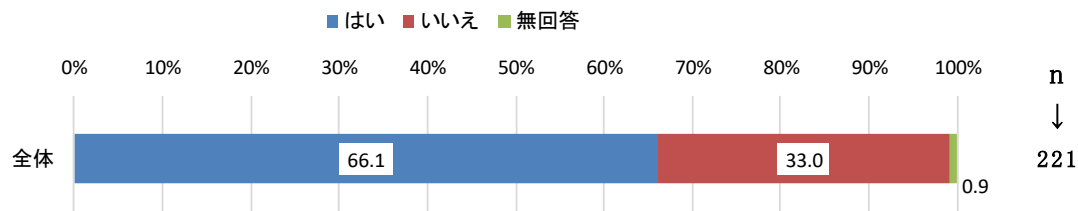
○高校1・2年生：「希望する学校や職業があるから」が 67.2%と最も多い。次いで「自分の成績から考えて」と「特に理由はない」がともに 12.5%、「親がそう言っているから」が 9.4%となっている。

問 あなたは、いつか結婚すると思いますか。

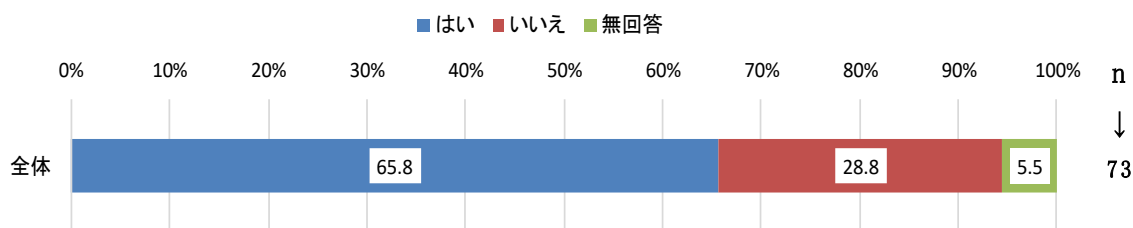
○小学校高学年：「はい」が62.4%、「いいえ」が36.9%となっている。



○中学1・2年生：「はい」が66.1%、「いいえ」が33.0%となっている。

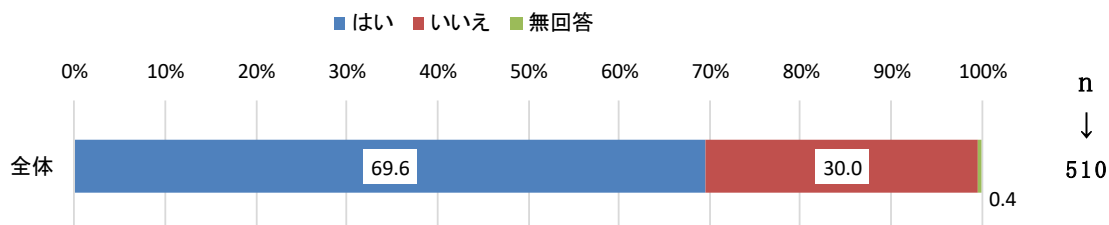


○高校1・2年生：「はい」が65.8%、「いいえ」が28.8%となっている。

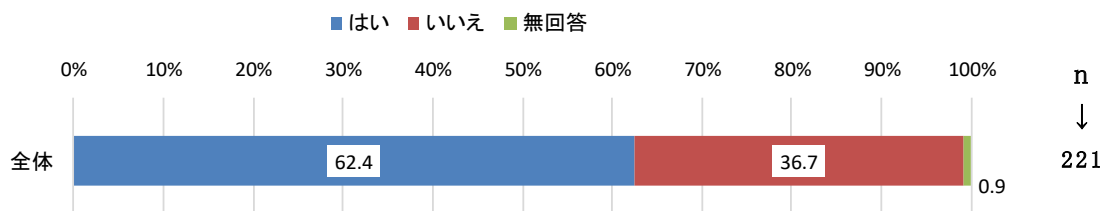


問 あなたは将来、子どもがほしいと思いますか。

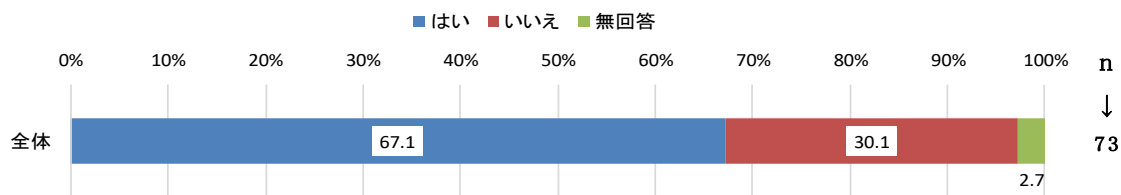
○小学校高学年：「はい」が69.6%、「いいえ」が30.0%となっている。



○中学1・2年生：「はい」が62.4%、「いいえ」が36.7%となっている。



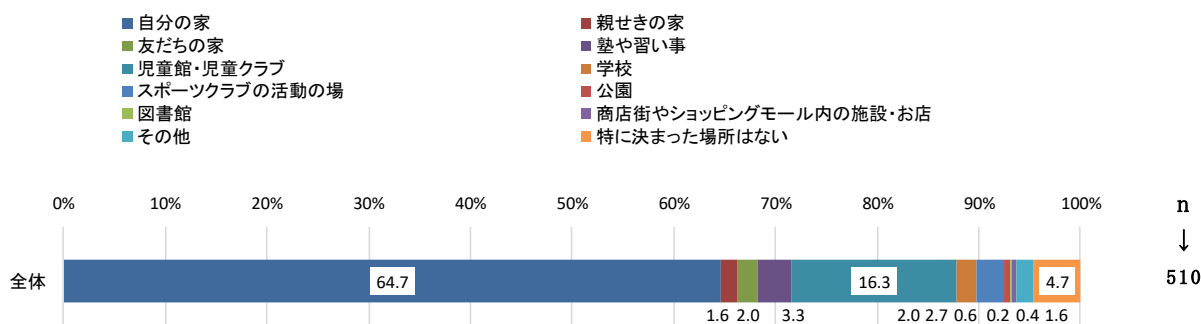
○高校1・2年生：「はい」が67.1%、「いいえ」が30.1%となっている。



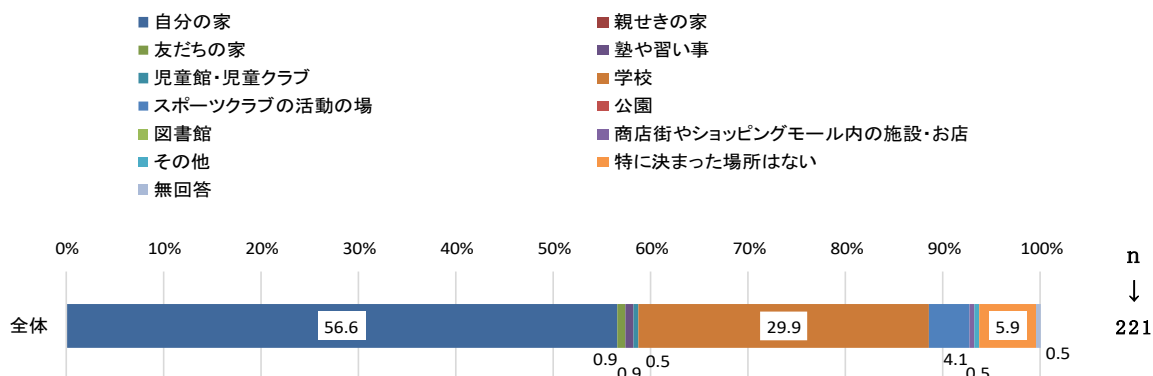
(3)ふだんの生活

問 あなたは、平日(学校に行く日)の放課後は、どこで過ごすことが一番多いですか。

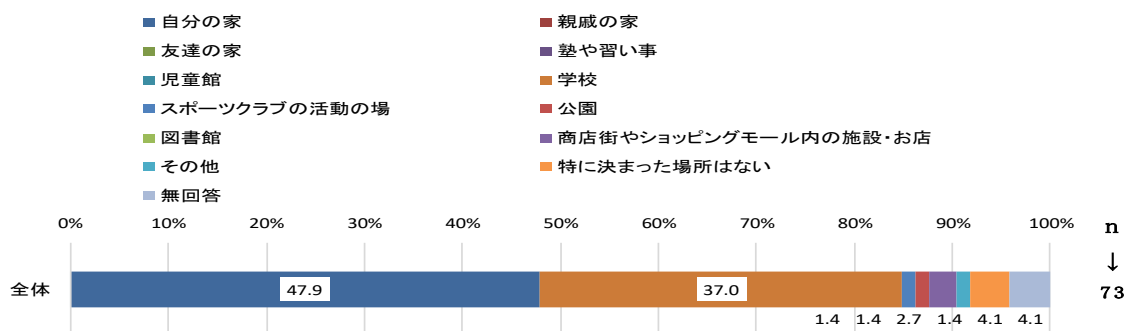
○小学校高学年：「自分の家」が64.7%と最も多くなっている。次いで「児童館・児童クラブ」が16.3%、「特に決まった場所はない」が4.7%である。



○中学1・2年生：「自分の家」が56.6%と最も多くなっている。次いで「学校」が29.9%、「特に決まった場所はない」が5.9%である。

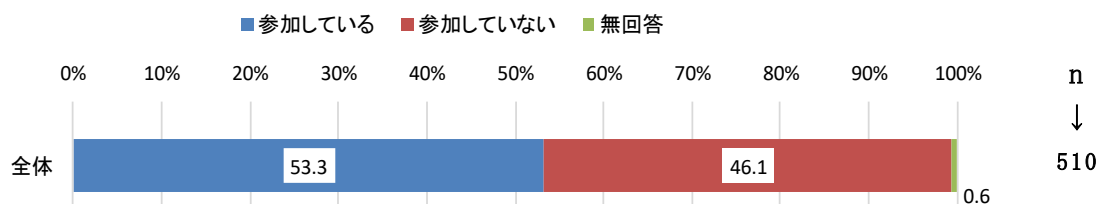


○高校1・2年生：「自分の家」が47.9%と最も多くなっている。次いで「学校」が37.0%である。

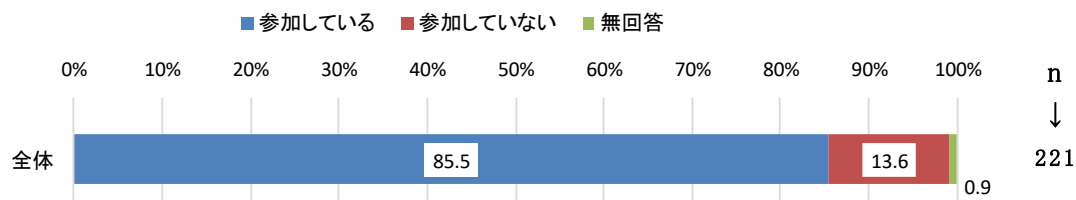


問 あなたは、地域のスポーツクラブや文化クラブ、学校の部活動に参加していますか。

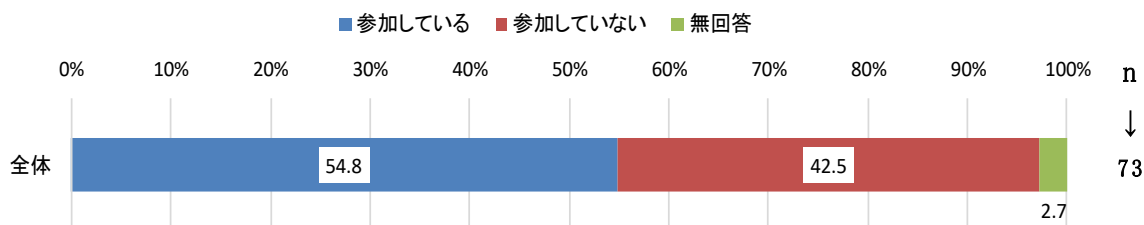
○小学校高学年：「参加している」が 53.3%、「参加していない」が 46.1%となっている。



○中学1・2年生：「参加している」が 85.5%、「参加していない」が 13.6%となっている。



○高校1・2年生：「参加している」が 54.8%、「参加していない」が 42.5%となっている。



問 (「参加していない」と答えた人にお聞きします。)参加していない理由は何ですか。

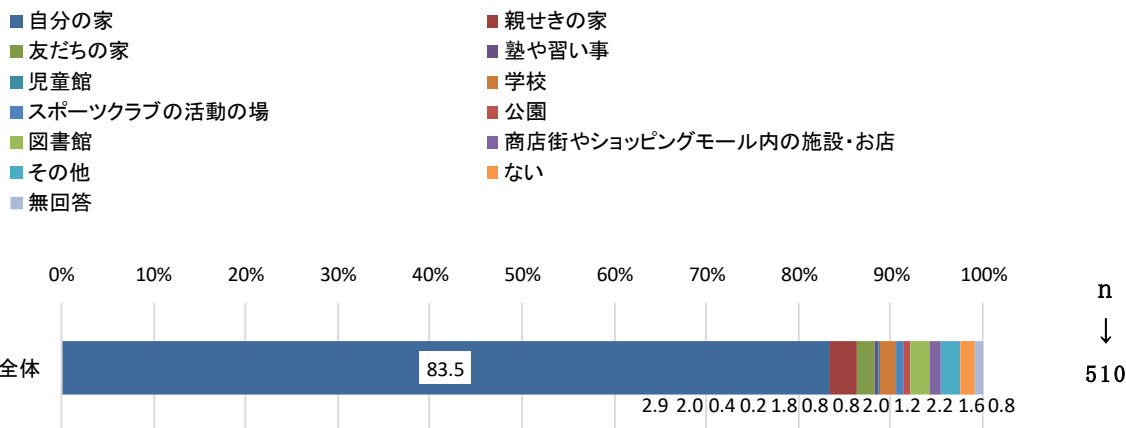
○小学校高学年：「入りたいクラブ・部活動がないから」が 57.9%と最も多い。次いで「塾や習い事が忙しいから」が 23.4%、「その他」が 14.9%、「お金がかかるから」が 11.1%となっている。

○中学1・2年生：「入りたいクラブ・部活動がないから」が 70.0%と最も多い。次いで「塾や習い事が忙しいから」と「一緒に入る友だちがいないから」がともに 26.7%、「お金がかかるから」が 23.3%となっている。

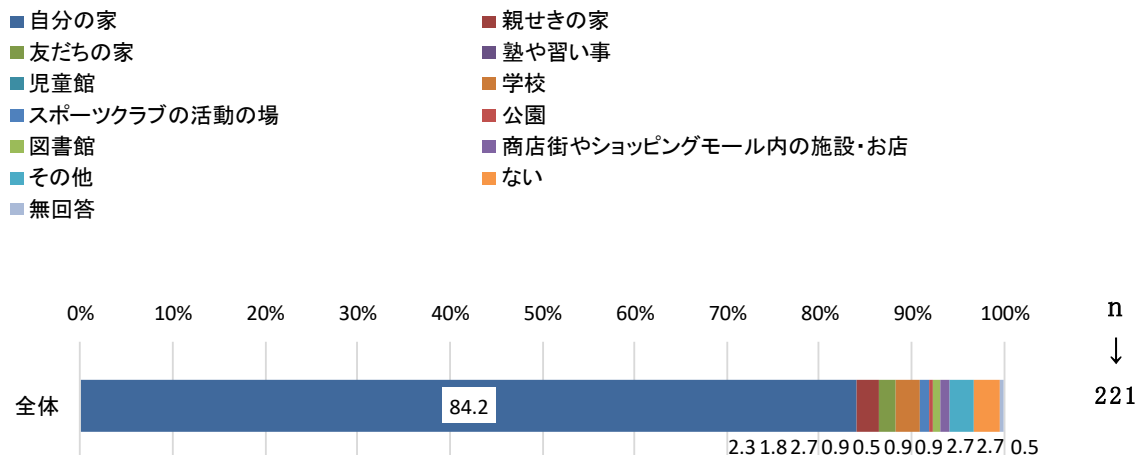
○高校1・2年生：「入りたいクラブ・部活動がないから」が 51.6%と最も多い。次いで「その他」が 29.0%、「お金がかかるから」と「一緒に入る友だちがいないから」がともに 12.9%となっている。

問 あなたにとって、一番ほっとできる居場所はどこですか。

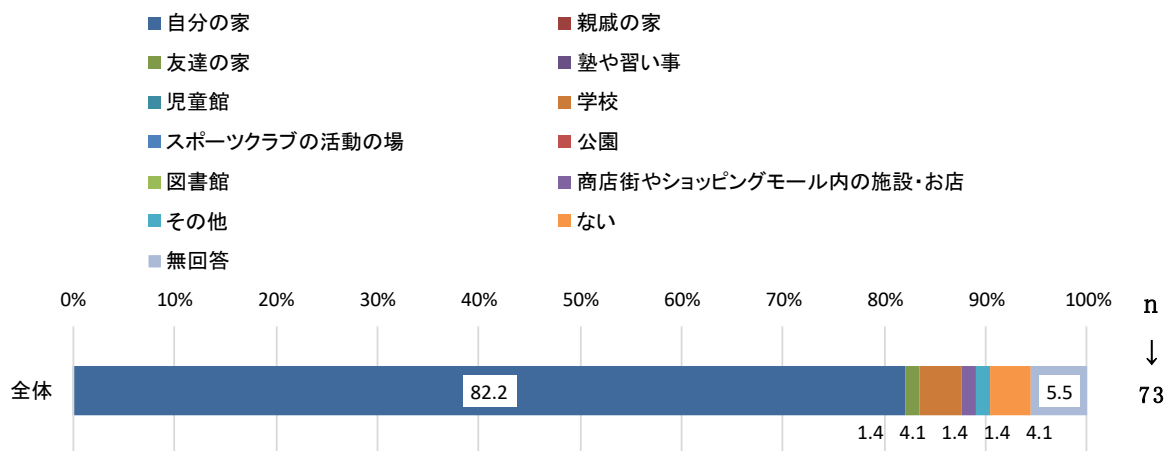
○小学校高学年:「自分の家」が83.5%と最も多くなっている。また「親せきの家」が2.9%、「その他」が2.2%、「友だちの家」と「図書館」がともに2.0%と続く。



○中学1・2年生「自分の家」が84.2%と最も多くなっている。また「学校」「その他」「ない」がいずれも2.7%、「親せきの家」が2.3%となっている。



○高校1・2年生:「自分の家」が82.2%と最も多くなっている。また「学校」と「ない」がともに4.1%となっている。



問 あなたはインターネットを利用して、次のようなトラブルにあったことがありますか。

○小学校高学年：「ない」が96.1%と大半だが、「LINE や X、メールなどでばかにされたりいやがらせを受けたりした」が1.4%となっている。

○中学1・2年生：「ない」が94.6%と大半だが、「LINE や X、メールなどでばかにされたりいやがらせを受けたりした」が2.7%となっている。

○高校1・2年生：「ない」が89.0%と大半だが、「LINE や X、メールなどでばかにされたりいやがらせを受けたりした」が4.1%となっている。

問 あなたは、インターネット上のトラブルにあった時、だれに相談しましたか。

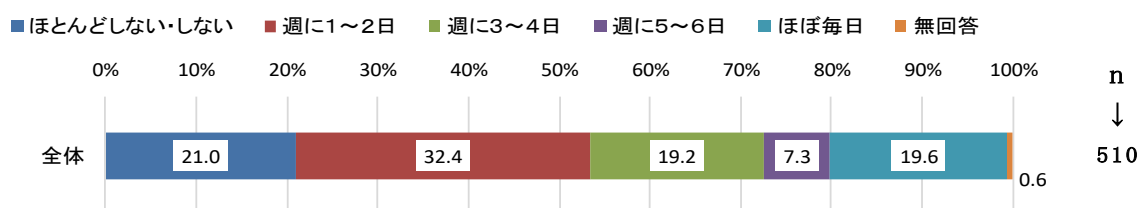
○小学校高学年：「家族」が75.0%と最も多く、次いで「友だちや先輩、後はい」が50.0%、「学校の先生」が33.3%となっている。

○中学1・2年生：「家族」が57.1%、「友だちや先輩、後はい」が42.9%とそれぞれ多くなっている一方、「誰にも相談していない」が28.6%となっている。

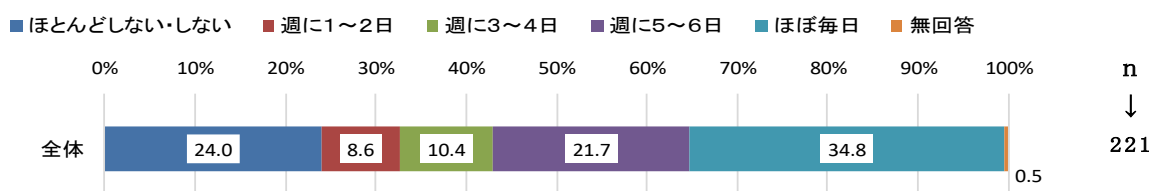
○高校1・2年生：「家族」が83.3%と最も多く、次いで「友達や先輩、後輩」が50.0%、「学校の先生」と「警察」がともに16.7%となっている。

問 あなたは、1週間に授業以外で30分以上運動する日がどれくらいありますか。

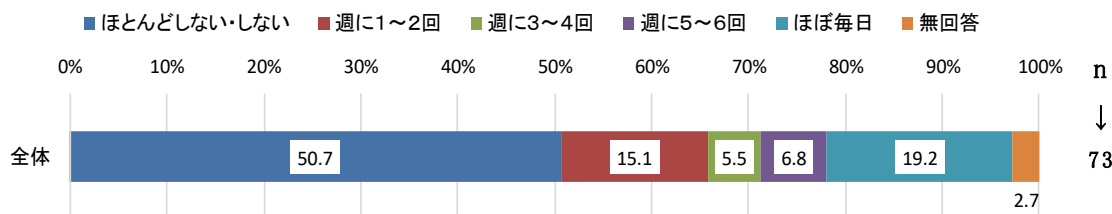
○小学校高学年：「週に1～2日」が32.4%と最も多く、「ほとんどしない・しない」が21.0%、「ほぼ毎日」が19.6%、「週に3～4日」が19.2%と続く。



○中学1・2年生：「ほぼ毎日」が34.8%と最も多く、「ほとんどしない・しない」が24.0%、「週に5～6日」が21.7%と続く。



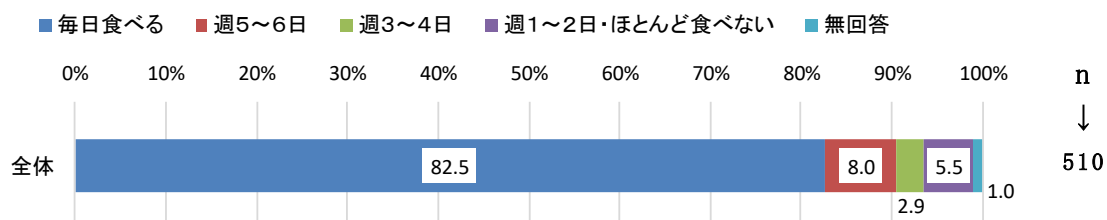
○高校1・2年生：「ほとんどしない・しない」が50.7%と最も多く、「ほぼ毎日」が19.2%、「週に1～2日」が15.1%となっている。



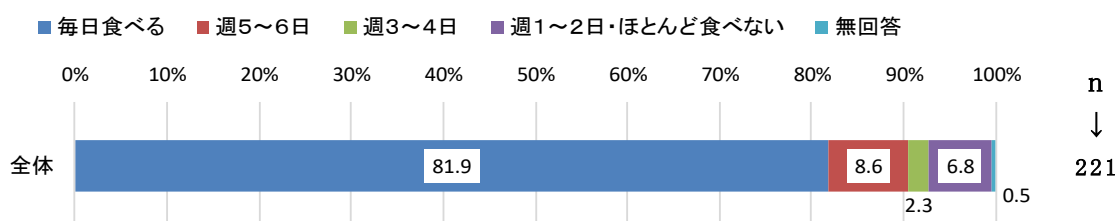
問 あなたは週にどのくらい、食事をしていますか。

【朝食】

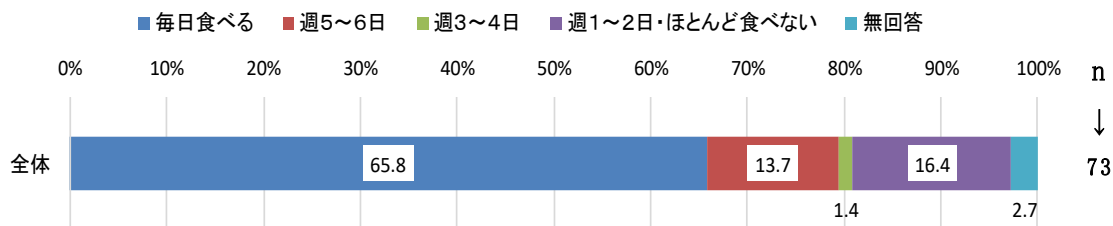
○小学校高学年：「毎日食べる」が82.5%だが、「週1～2日・ほとんど食べない」が5.5%みられる。



○中学1・2年生：「毎日食べる」が81.9%だが、「週1～2日・ほとんど食べない」が6.8%みられる。



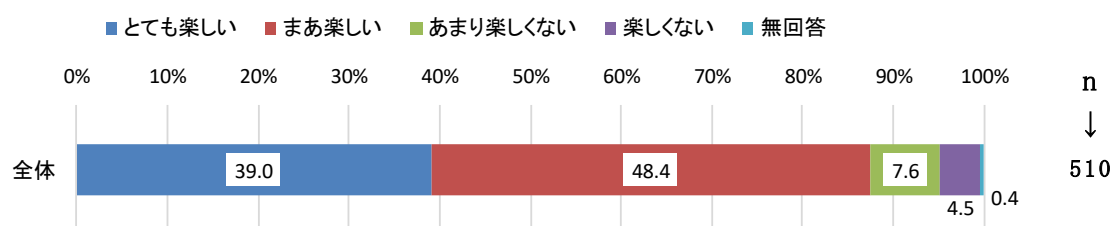
○高校1・2年生：「毎日食べる」が65.8%、「週5～6日」が13.7%となっており、「週1～2日・ほとんど食べない」が16.4%みられる。



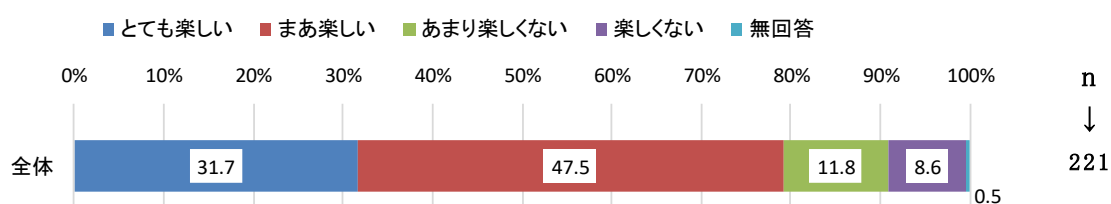
(4) 学校生活や勉強のこと

問 あなたは、学校生活が楽しいですか。

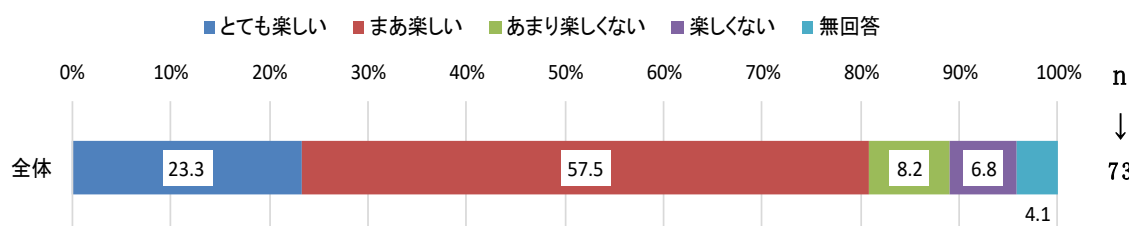
○小学校高学年：「まあ楽しい」が 48.4%、「とても楽しい」が 39.0%といずれも多くなっている。一方、「楽しくない」は 4.5%である。



○中学１・２年生：「まあ楽しい」が 47.5%、「とても楽しい」が 31.7%といずれも多くなっている。一方、「あまり楽しくない」が 11.8%となっている。



○高校１・２年生：「まあ楽しい」が 57.5%、「とても楽しい」が 23.3%といずれも多くなっている。「楽しくない」は 6.8%である。



問 (「あまり楽しくない」「楽しくない」と答えた人にお聞きします。)学校が楽しくない理由は、何ですか。

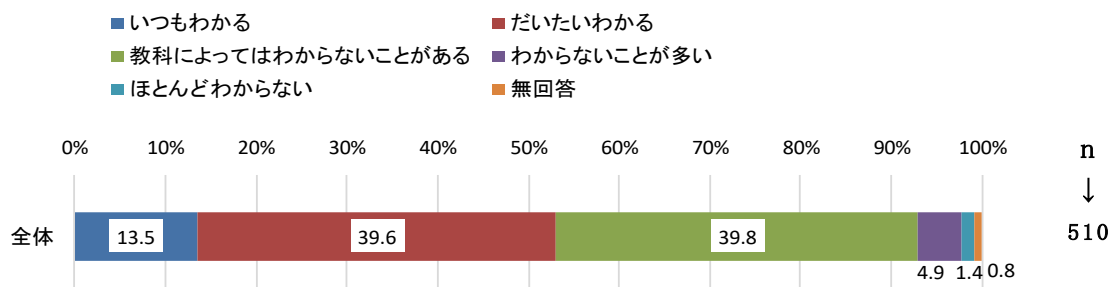
○小学校高学年：「学校に行くのが面倒」が 62.9%と最も多くなっている。また、「勉強がつまらない」が 46.8%、「学校以外で他にやりたいことがある」が 40.3%と続く。

○中学１・２年生：「勉強がつまらない」と「学校に行くのが面倒」がともに 71.1%と最も多くなっている。また、「勉強についていけない」が 42.2%、「学校以外で他にやりたいことがある」が 37.8%となっている。

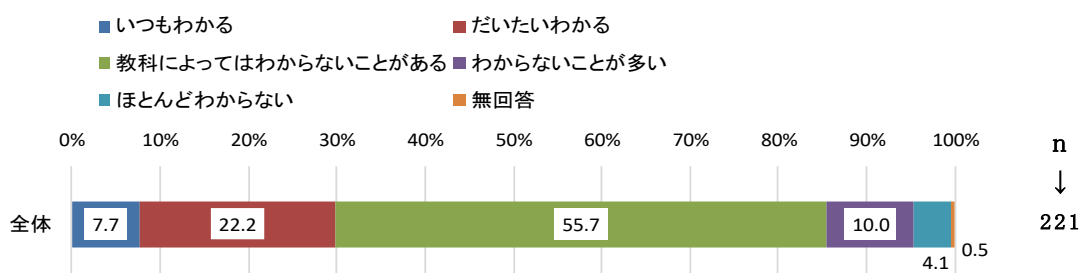
○高校１・２年生：「学校に行くのが面倒」が 54.5%と最も多くなっている。また、「勉強がつまらない」が 45.5%、「勉強についていけない」と「友だちとうまくいかない」がともに 36.4%となっている。

問 あなたは、学校の授業がわからないことがありますか。

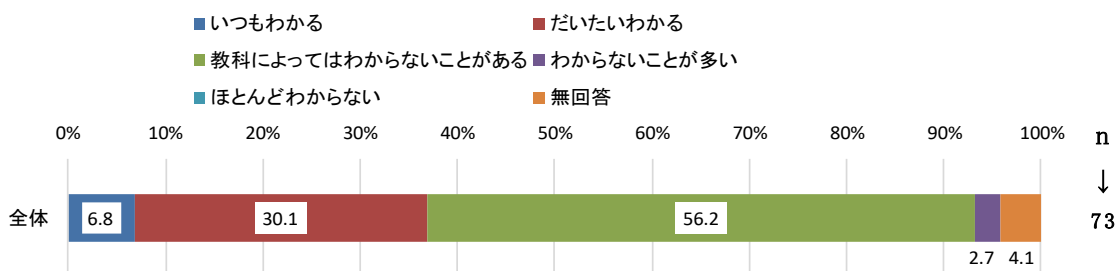
○小学校高学年：「教科によってはわからないことがある」が39.8%、「だいたいわかる」が39.6%とそれぞれ多くなっている。



○中学1・2年生：「教科によってはわからないことがある」が55.7%と最も多くなっている。次いで「だいたいわかる」が22.2%、「わからないことが多い」が10.0%である。

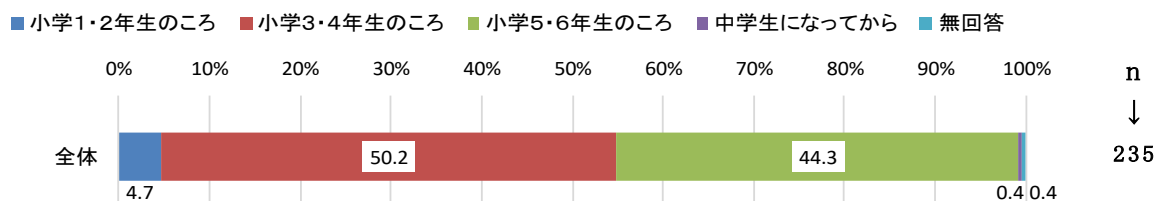


○高校1・2年生：「教科によってはわからないことがある」が56.2%と最も多くなっている。次いで「だいたいわかる」が30.1%、「いつもわかる」が6.8%である。

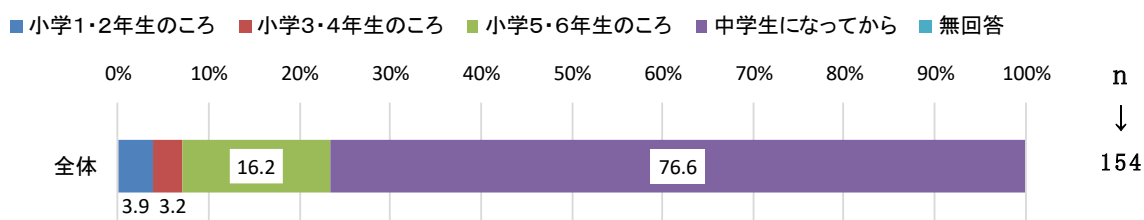


問 (「教科によってはわからないことがある」「わからないことが多い」「ほとんどわからない」と答えた人にお聞きします。)いつごろから、授業がわからないことがあるようになりましたか。

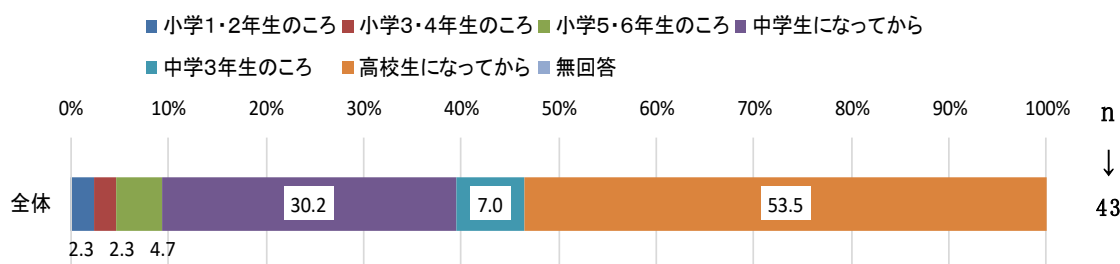
○小学校高学年：「小学3・4年生のころ」が50.2%、「小学5・6年生のころ」が44.3%とそれぞれ多くなっている。



○中学1・2年生：「中学生になってから」が76.6%と最も多く、次いで「小学5・6年生のころ」が16.2%となっている。



○高校1・2年生：「高校生になってから」が53.5%と半数以上を占める。また「中学生になってから」が30.2%となっている。



問 勉強がわからないときは、だれに教えてもらいますか。

○小学校高学年：「親」が71.2%と最も多く、次いで「友だち」が55.9%、「学校の先生」が45.7%となっている。

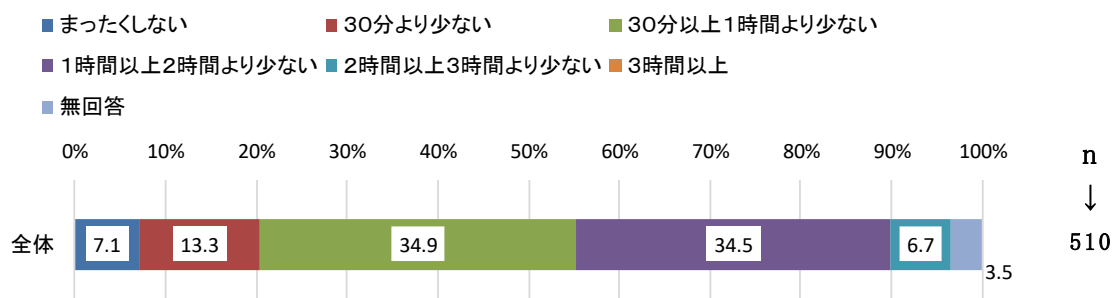
○中学1・2年生：「友だち」が64.3%と最も多く、次いで「学校の先生」が42.1%、「親」が36.7%、「塾や習い事などの先生」が26.2%となっている。

○高校1・2年生：「友達」が65.8%と最も多く、次いで「学校の先生」が39.7%、「塾や習い事などの先生」が16.4%、「親」が15.1%となっている。

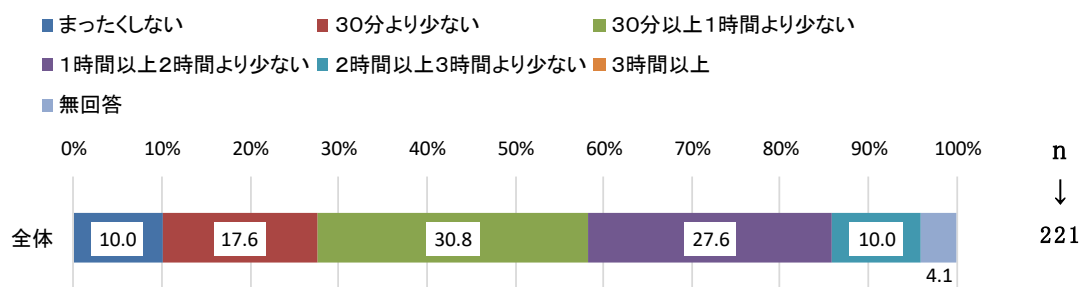
問 あなたは、ふだん学校の授業以外に、1日あたりどれくらいの時間勉強をしますか。学校の宿題をする時間や塾などでの勉強時間もふくみます。

①学校がある日（月～金曜日）

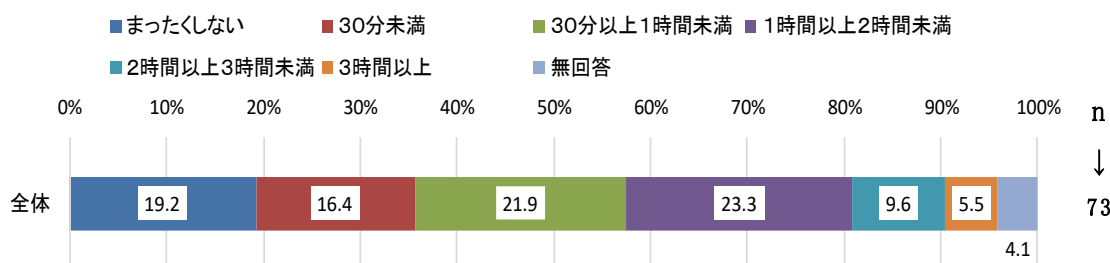
○小学校高学年：「30分以上 1 時間より少ない」が 34.9%、「1 時間以上 2 時間より少ない」が 34.5%とそれぞれ多くなっている。



○中学1・2年生：「30分以上 1 時間より少ない」が 30.8%と最も多く、次いで「1 時間以上 2 時間より少ない」が 27.6%となっている。

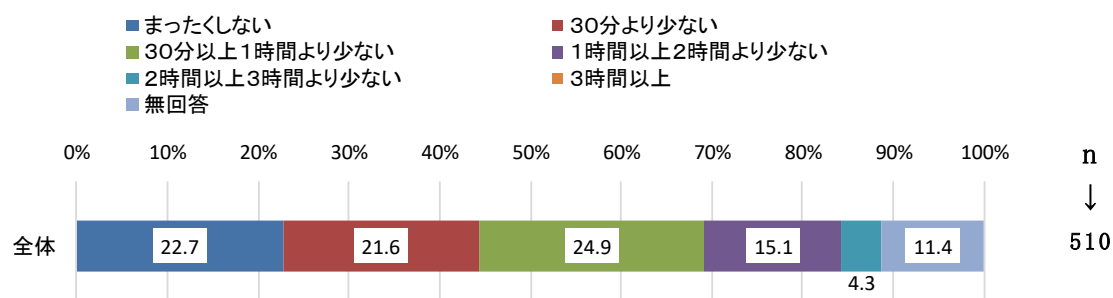


○高校1・2年生：「1 時間以上 2 時間未満」が 23.3%と多く、「30 分以上 1 時間未満」が 21.9%、「まったくしない」が 19.2%と続く。

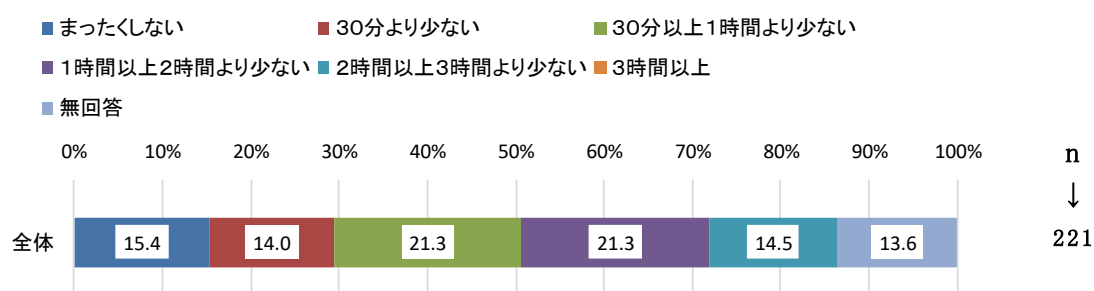


②学校がない日（土・日曜日・祝日）

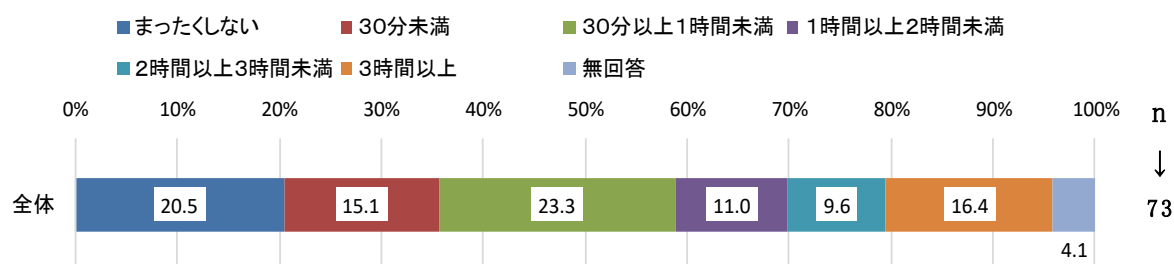
○小学校高学年：「30 分以上 1 時間より少ない」が 24.9%と多く、「まったくしない」が 22.7%、「30 分より少ない」が 21.6%と続く。



○中学1・2年生：「30 分以上 1 時間より少ない」「1 時間以上 2 時間より少ない」がともに 21.3%で最も多く、「まったくしない」が 15.4%と続く。



○高校1・2年生：「30 分以上 1 時間未満」が 23.3%と多く、「まったくしない」が 20.5%、「3 時間以上」が 16.4%と続く。

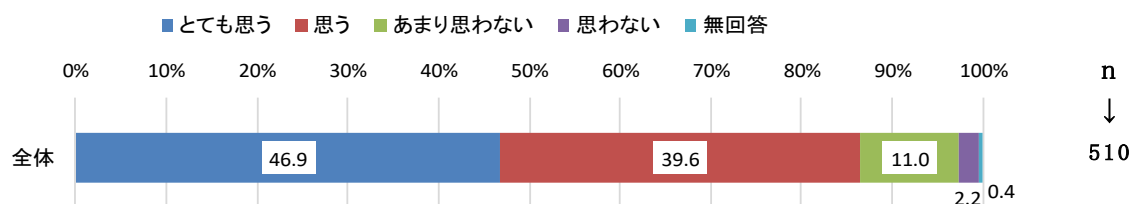


(5)自分の思いや悩み

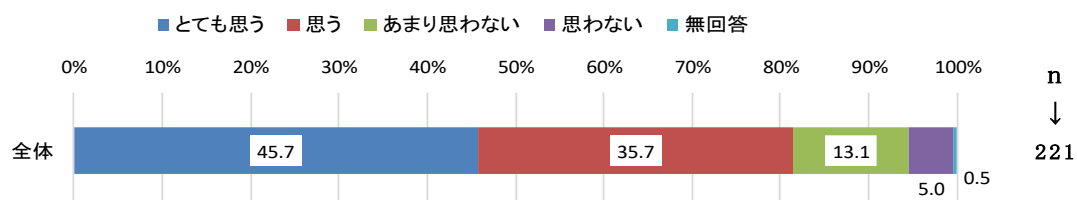
問 あなたの思いや気持ちについて、もっとも近いものを選んでください。

【頑張れば、良い結果が出ると思う】

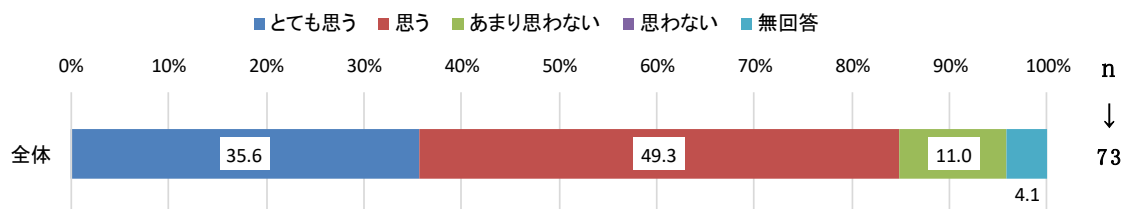
○小学校高学年：「とても思う」が 46.9%、「思う」が 39.6%とそれぞれ多くなっている。



○中学1・2年生：「とても思う」が 45.7%、「思う」が 35.7%とそれぞれ多くなっている。

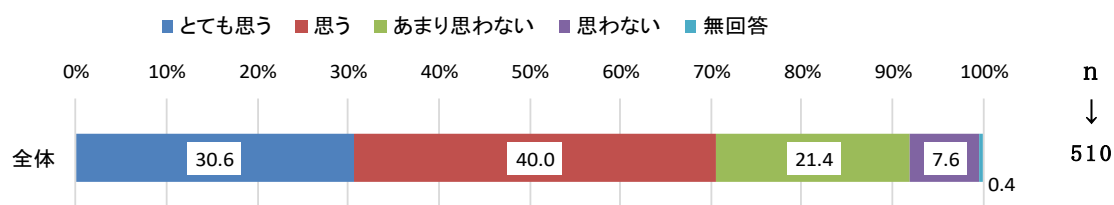


○高校1・2年生：「思う」が 49.3%、「とても思う」が 35.6%とそれぞれ多くなっている。

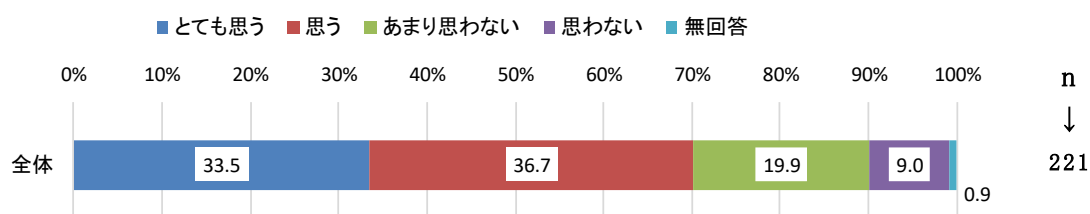


【自分は価値のある人間だと思う】

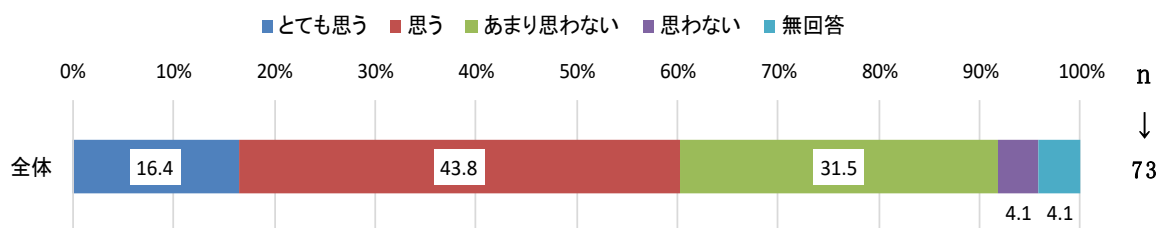
○小学校高学年：「思う」が40.0%、「とても思う」が30.6%と多くなっている一方、「あまり思わない」が21.4%となっている。



○中学1・2年生：「思う」が36.7%、「とても思う」が33.5%と多くなっている一方、「あまり思わない」が19.9%となっている。

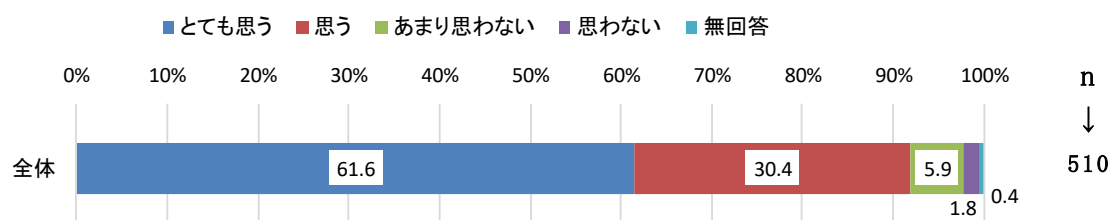


○高校1・2年生：「思う」が43.8%と最も多くなっている。一方、次いで多いのは「あまり思わない」で31.5%である。

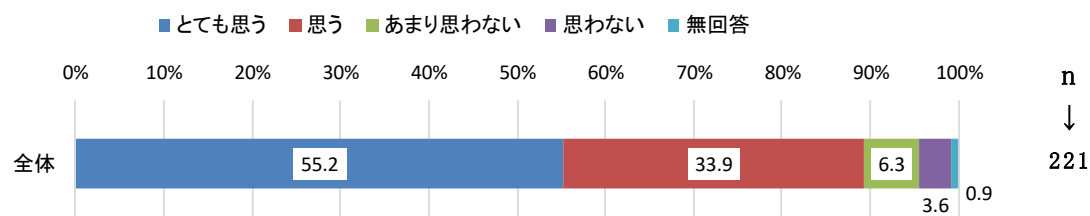


【自分は家族に大切にされていると思う】

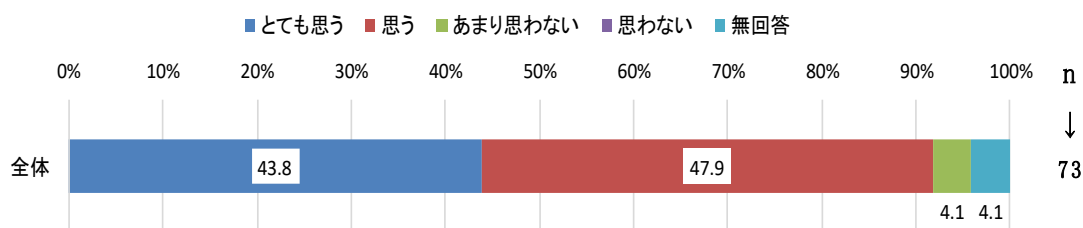
○小学校高学年：「とても思う」が61.6%で最も多く、「思う」が30.4%となっている。



○中学1・2年生：「とても思う」が55.2%と最も多く、「思う」が33.9%となっている。

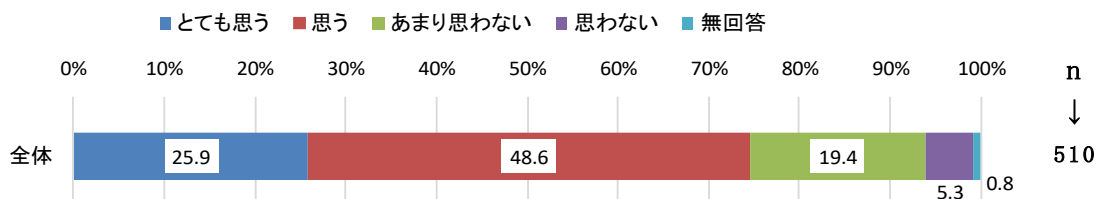


○高校1・2年生：「思う」が47.9%、「とても思う」が43.8%とそれぞれ多くなっている。

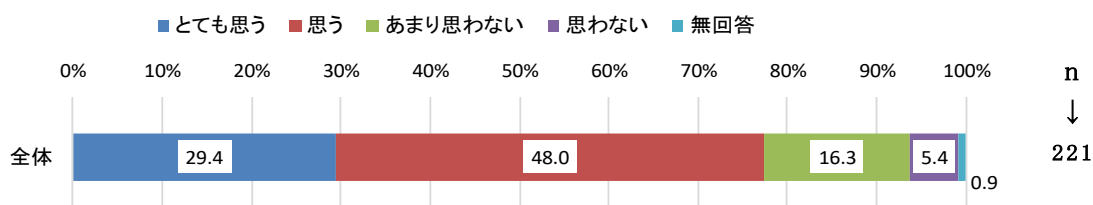


【自分は友だちに好かれていると思う】

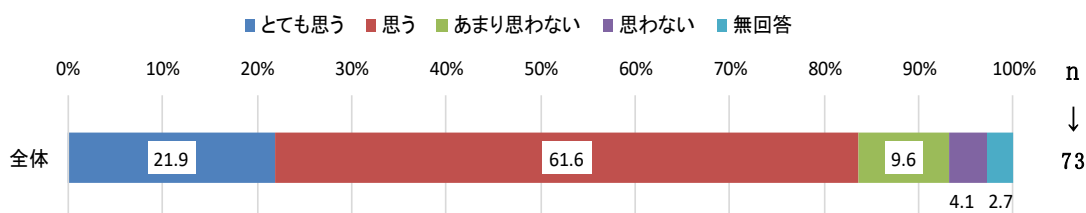
○小学校高学年：「思う」が48.6%と最も多く、「とても思う」が25.9%、「あまり思わない」が19.4%となっている。



○中学1・2年生：「思う」が48.0%と最も多く、「とても思う」が29.4%、「あまり思わない」が16.3%となっている。

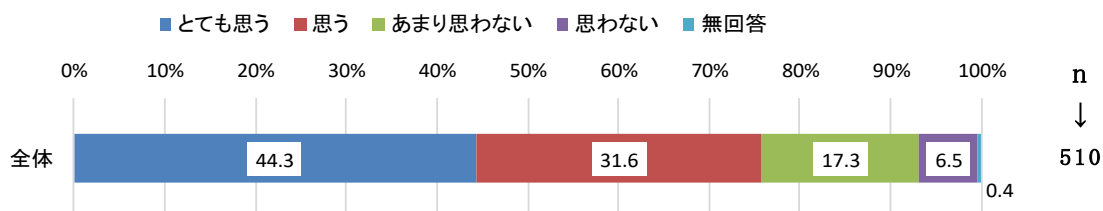


○高校1・2年生：「思う」が61.6%と最も多く、「とても思う」が21.9%となっている。

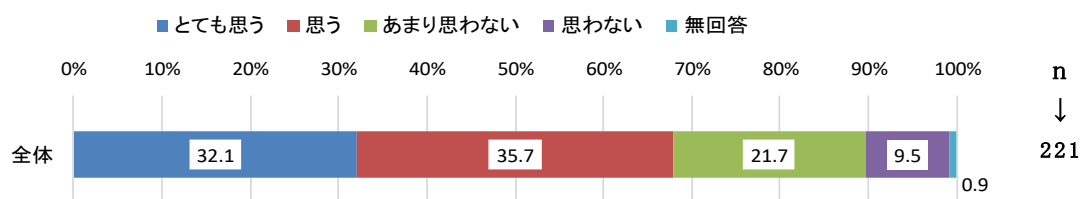


【自分の将来が楽しみだ】

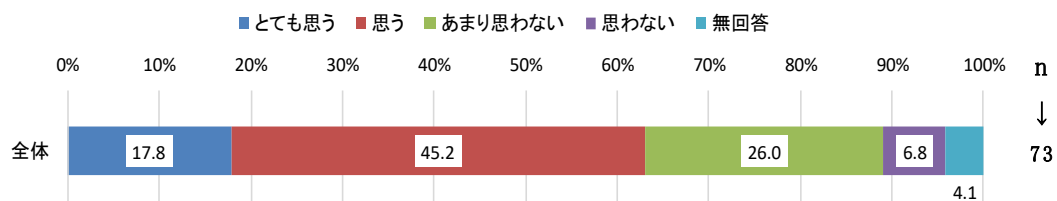
○小学校高学年：「とても思う」が44.3%、「思う」が31.6%とそれぞれ多くなっている。



○中学1・2年生：「思う」が35.7%、「とても思う」が32.1%とそれぞれ多くなっている。

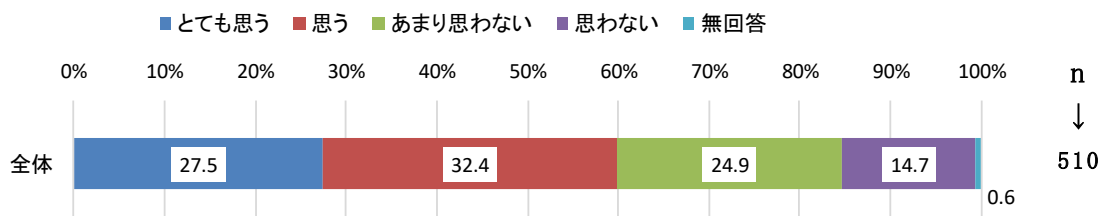


○高校1・2年生：「思う」が45.2%と最も多くなっている。一方、次いで多いのは「あまり思わない」で26.0%である。

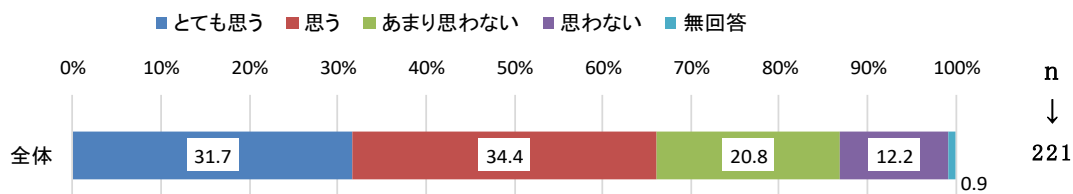


【自分のことが好きだ】

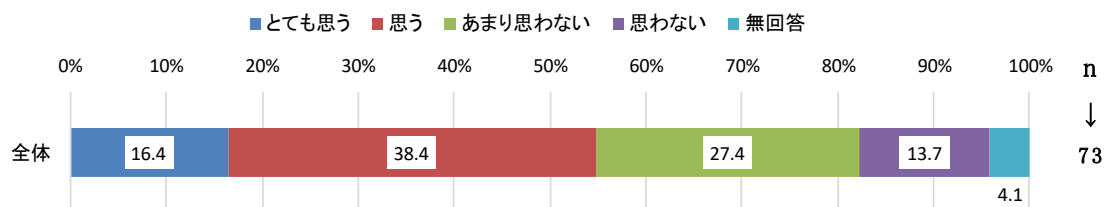
○小学校高学年：「思う」が32.4%と最も多く、「とても思う」が27.5%、「あまり思わない」が24.9%となっている。



○中学1・2年生：「思う」が34.4%と最も多く、「とても思う」が31.7%、「あまり思わない」が20.8%となっている。



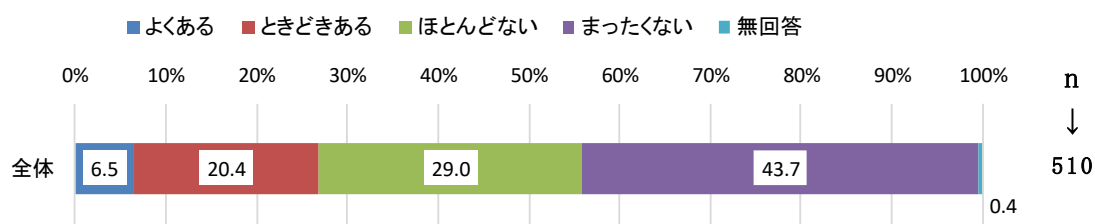
○高校1・2年生：「思う」が38.4%と最も多くなっている。一方、次いで多いのは「あまり思わない」で27.4%である。



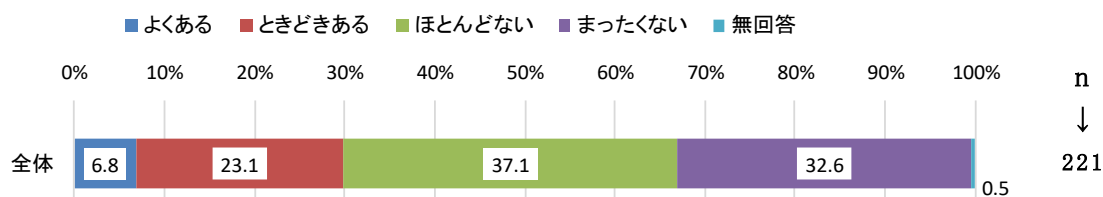
問 あなたは、次のことをどのくらい感じていますか。

【自分には話せる人がいないと感じることがある】

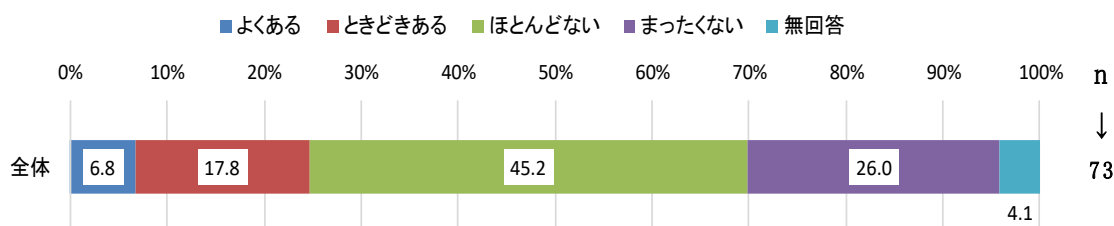
○小学校高学年：「まったくない」が43.7%と最も多く、「ほとんどない」が29.0%、「ときどきある」が20.4%と続く。



○中学1・2年生：「ほとんどない」が37.1%と最も多く、「まったくない」が32.6%、「ときどきある」が23.1%と続く。

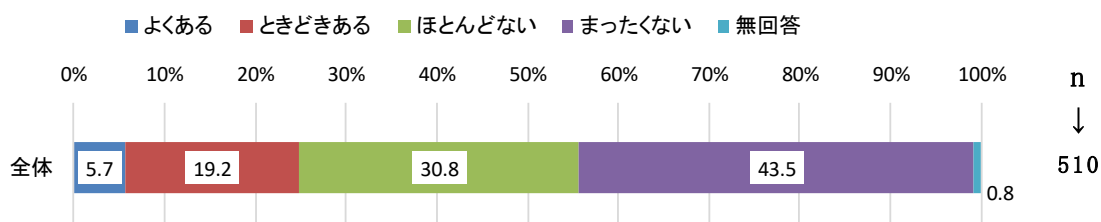


○高校1・2年生：「ほとんどない」が45.2%と最も多く、「まったくない」が26.0%、「ときどきある」が17.8%と続く。

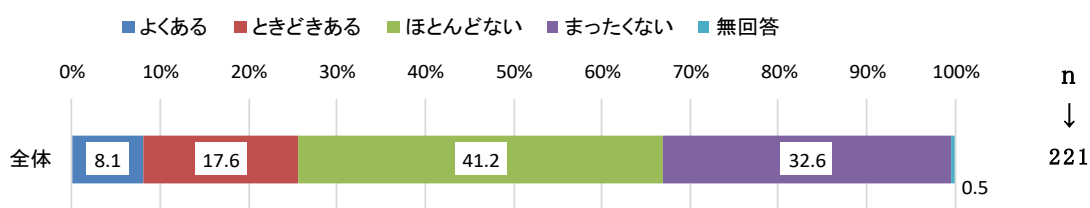


【自分はまわりから取り残されていると感じることがある】

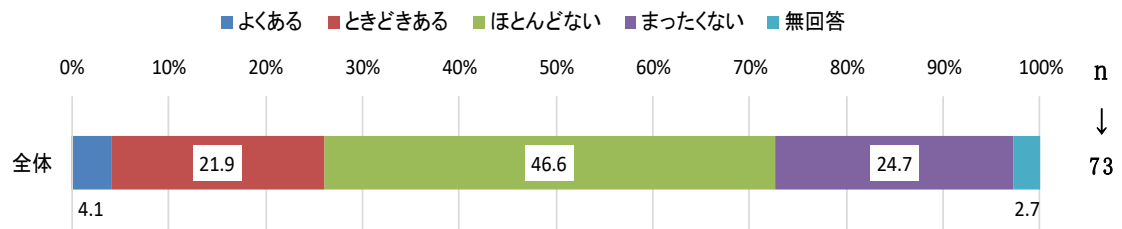
○小学校高学年：「まったくない」が43.5%と最も多く、「ほとんどない」が30.8%、「ときどきある」が19.2%と続く。



○中学1・2年生：「ほとんどない」が41.2%と最も多く「まったくない」が32.6%、「ときどきある」が17.6%と続く。

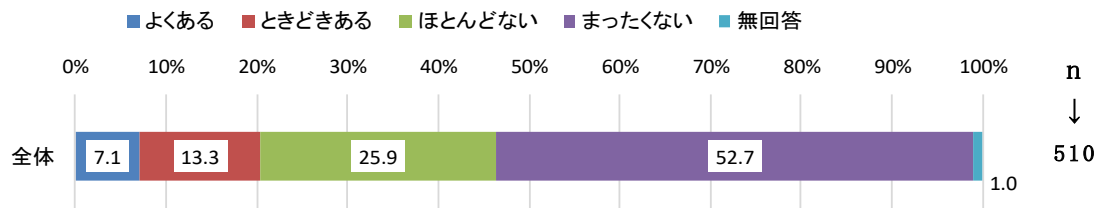


○高校1・2年生：「ほとんどない」が46.6%と最も多く「まったくない」が24.7%、「ときどきある」が21.9%と続く。

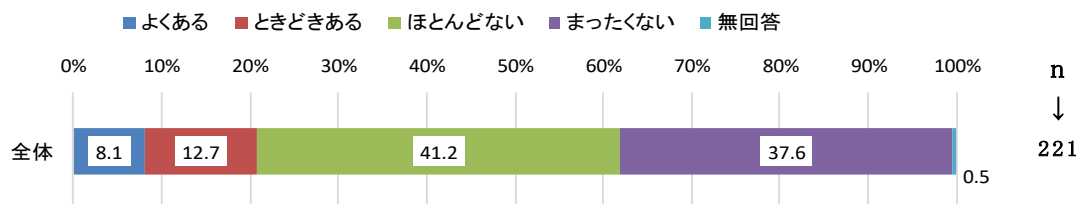


【自分はひとりぼっちだと感じている】

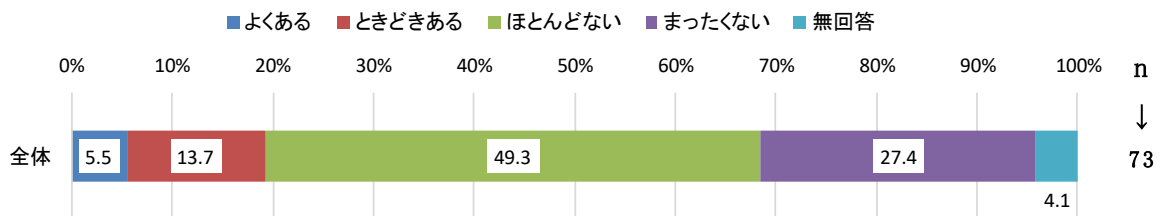
○小学校高学年：「まったくない」が52.7%と最も多く、「ほとんどない」が25.9%となっている。



○中学1・2年生：「ほとんどない」が41.2%と最も多く「まったくない」が37.6%となっている。



○高校1・2年生：「ほとんどない」が49.3%と最も多く「まったくない」が27.4%となっている。



問 あなたは、自分や家族のことで悩みや心配事がありますか。

○小学校高学年:「悩みや心配事はない」が44.7%と最も多く、次いで「勉強のこと」が28.0%となっている。

	件数	%
勉強のこと	143	28.0
自分の性格・顔立ちや体つきのこと	105	20.6
友だちのこと	98	19.2
進学・進路のこと	77	15.1
部活動・クラブ活動のこと	37	7.3
家族内のこと	37	7.3
お金のこと	37	7.3
その他	7	1.4
悩みや心配事はない	228	44.7
無回答	9	1.8

○中学1・2年生:「進学・進路のこと」が45.2%と最も多く、次いで「勉強のこと」が44.8%、「悩みや心配事はない」が31.2%となっている。

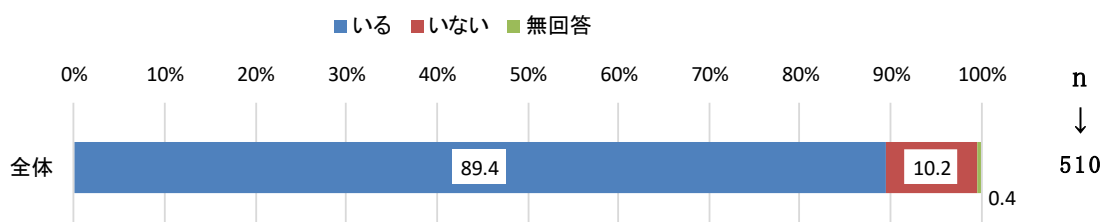
	件数	%
進学・進路のこと	100	45.2
勉強のこと	99	44.8
部活動・クラブ活動のこと	58	26.2
自分の性格・顔立ちや体つきのこと	57	25.8
友だちのこと	37	16.7
お金のこと	34	15.4
家族内のこと	26	11.8
その他	1	0.5
悩みや心配事はない	69	31.2
無回答	2	0.9

○高校1・2年生:「進学・進路のこと」が60.3%と最も多く、次いで「勉強のこと」が31.5%、「自分の性格・顔立ちや体つきのこと」が24.7%となっている。

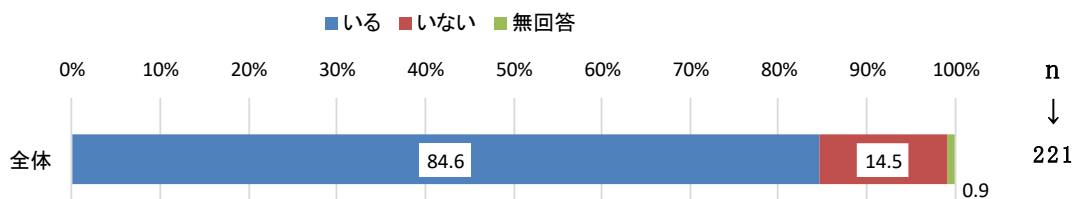
	件数	%
進学・進路のこと	44	60.3
勉強のこと	23	31.5
自分の性格・顔立ちや体つきのこと	18	24.7
友達のこと	15	20.5
お金のこと	15	20.5
部活動のこと	13	17.8
家族内のこと	5	6.8
その他	2	2.7
悩みや心配事はない	15	20.5
無回答	3	4.1

問 あなたは、困ったときに悩みを話せる人がいますか。

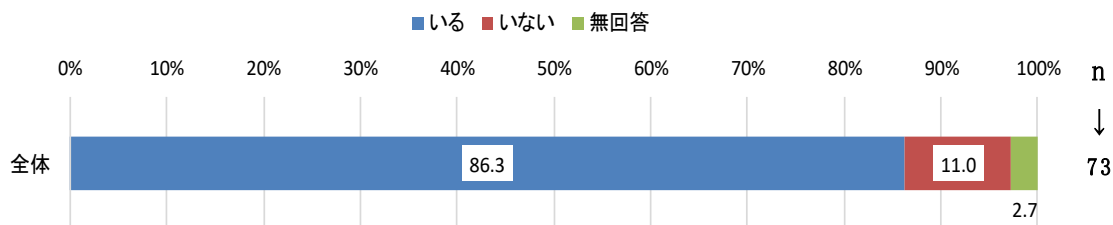
○小学校高学年：「いる」が89.4%で、「いない」が10.2%となっている。



○中学1・2年生：「いる」が84.6%で、「いない」が14.5%となっている。



○高校1・2年生：「いる」が86.3%で、「いない」が11.0%となっている。



問 (前問で「いる」と答えた人にお聞きします。)あなたが悩みを話せる人はだれですか。

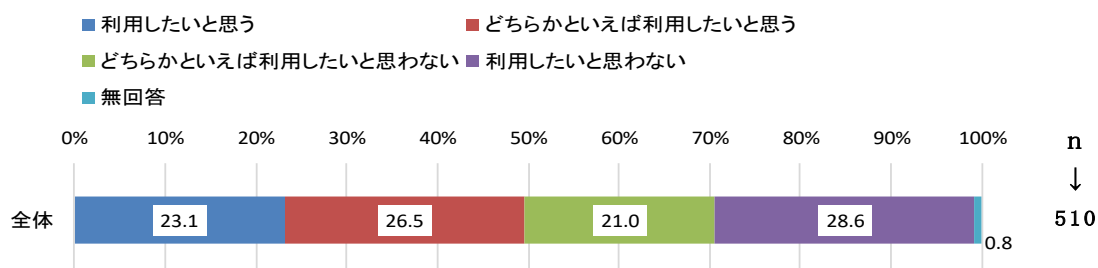
○小学校高学年：「親」が84.2%と最も多く、次いで「学校の友だち」が63.6%となっている。

○中学1・2年生：「学校の友だち」が72.7%、「親」が71.7%とそれぞれ多くなっている。

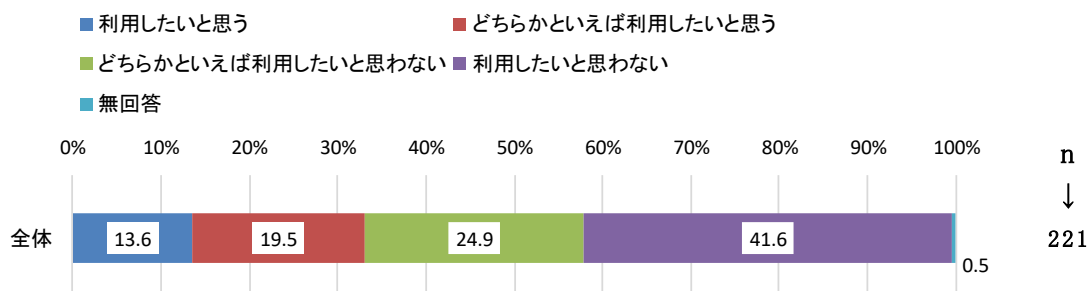
○高校1・2年生：「学校の友達」が76.2%、「親」が74.6%とそれぞれ多くなっている。

問 あなたは、今後、困ったり悩んだりしたとき、家庭や学校以外で悩みや困りごとを相談できる場所を利用したいと思いますか。

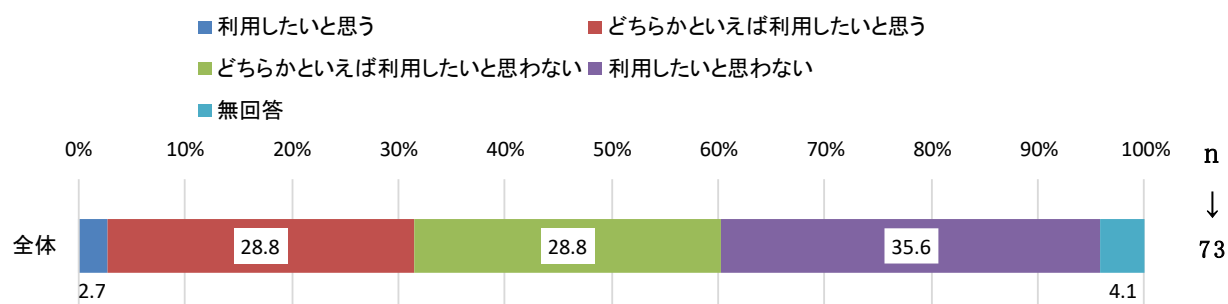
○小学校高学年：「利用したいと思わない」が28.6%と多く、「どちらかといえば利用したいと思う」が26.5%、「利用したいと思う」が23.1%と続く。



○中学1・2年生：「利用したいと思わない」が41.6%と多く、「どちらかといえば利用したいと思わない」が24.9%と続く。



○高校1・2年生：「利用したいと思わない」が35.6%と最も多く、「どちらかといえば利用したいと思う」と「どちらかといえば利用したいと思わない」がともに28.8%である。



問 あなたは、大人から次のようなことをされて、いやな思いやつらい思いをしたことがありますか。

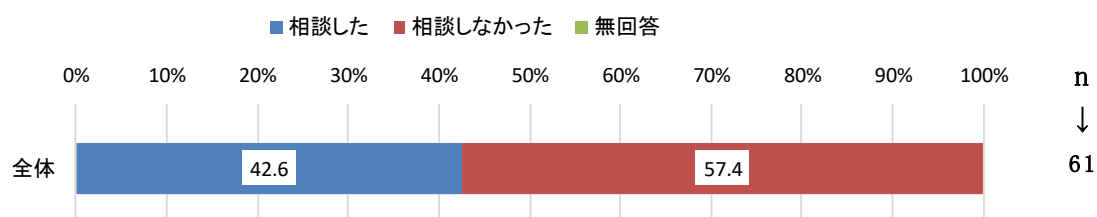
○小学校高学年：「されたことはない」が86.5%と最も多くなっている。一方、「心を傷つけられる言葉を言われる」が7.1%、「たたかれる、なぐられる」が4.3%となっている。

○中学1・2年生：「されたことはない」が80.5%と最も多くなっている。一方、「心を傷つけられる言葉を言われる」が10.0%、「たたかれる、なぐられる」が6.8%となっている。

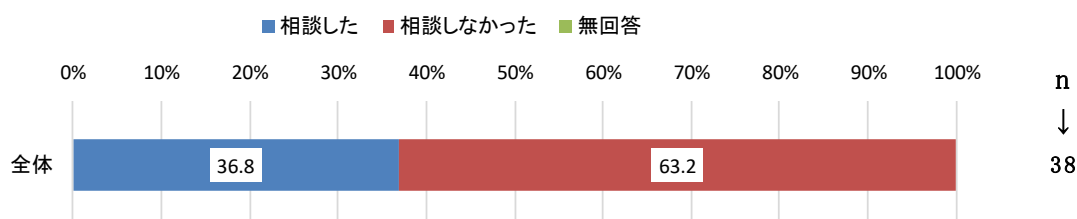
○高校1・2年生：「されたことはない」が76.7%と最も多くなっている。一方、「心を傷つけられる言葉を言われる」が17.8%、「たたかれる、なぐられる」が6.8%となっている。

問 いやな思いをしたときに、だれかに相談しましたか。

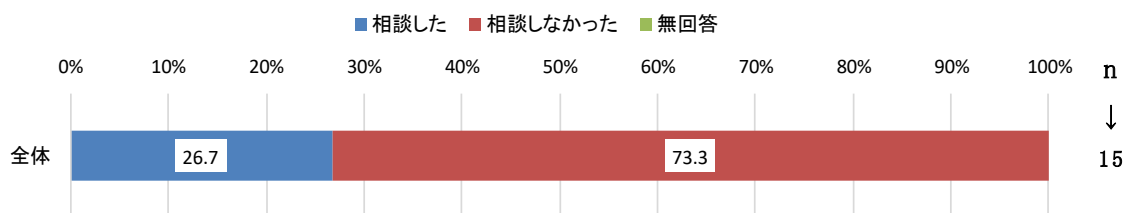
○小学校高学年：「相談しなかった」が57.4%、「相談した」が42.6%となっている。



○中学1・2年生：「相談しなかった」が63.2%、「相談した」が36.8%となっている。

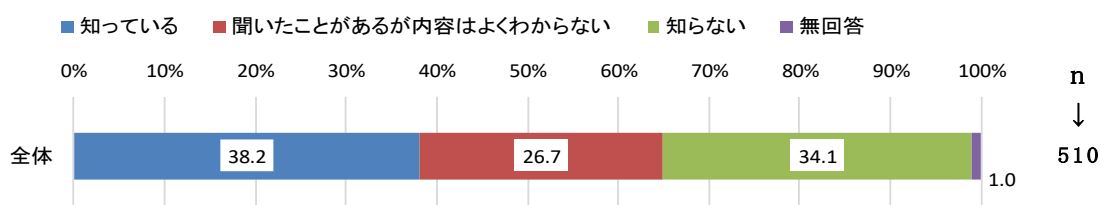


○高校１・２年生：「相談しなかった」が73.3%、「相談した」が26.7%となっている。

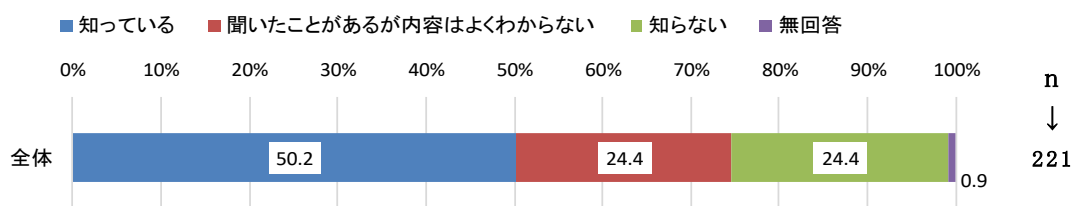


問 あなたは、すべての子どもが、自分の考えや思いを自由に伝えることができるということ（意見を表明する権利）を知っていますか。

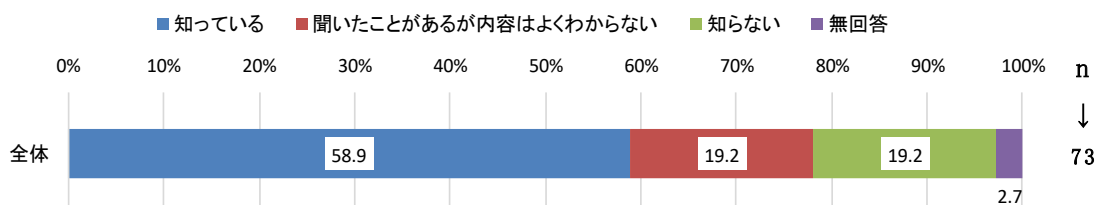
○小学校高学年：「知っている」が38.2%と多く、「知らない」が34.1%、「聞いたことがあるが内容はよくわからない」が26.7%となっている。



○中学１・２年生：「知っている」が50.2%と最も多く、「聞いたことがあるが内容はよくわからない」と「知らない」がともに24.4%となっている。



○高校１・２年生：「知っている」が58.9%と最も多く、「聞いたことがあるが内容はよくわからない」と「知らない」がともに19.2%である。



問 西郷村は、子どものみなさんが自分の意見（思い）を言いやすい方法や場所（環境）をつくりたいと考えています。あなたは、どんな方法や場所があれば、西郷村に対して、自分の意見（思い）を伝えやすいと考えますか。

○小学校高学年：「特にない・わからない」が45.7%と最も多く、「公園や図書館など、ふだん自分がよく利用する場所に意見箱をおき、手紙を入れる」が25.5%、「自分の学校の先生に伝えてもらう」が17.8%と続く。

○中学１・２年生：「特にない・わからない」が40.3%と最も多く、「SNSやメール、村のホームページを活用して伝える」は29.4%、「公園や図書館など、ふだん自分がよく利用する場所に意見箱をおき、手紙を入れる」は26.7%となっている。

○高校１・２年生：「SNSやメール、村のホームページを活用して伝える」が47.9%と最も多く、「公園や図書館など、ふだん自分がよく利用する場所に意見箱をおき、手紙を入れる」と「特にない・わからない」がともに28.8%となっている。